

文政八酉歳中村歌右衛門一世一代之記評ふたゞひこゝにあらす  
右所作事の一世一代口上看板ヲ出ス  
酉正月十一日ヨリ

傾城百萬國

切狂言 日本新玉九尾狐 所作夏

右所作事の内九尾の狐にて石橋の髪あらひする也  
天人 黒主 新中納言 鳥羽繪 浦島 けいせい  
あづき神子 玉藻前 九尾狐 右九化所作事也  
一 當狂言十四日より初日出不怪大入之所右歌右衛門持病差  
起り無是非晦日限りにて相休み其上江戸表にて足をくじき事  
ありて其惱みに時々發り最早永く出勤出來がたく尤兼而五十  
歳になりゆへハ引たきとの存念にて未だ五十歳には一兩年も  
はやけれど病苦にせまり此度の誠の一世一代と治定し二月  
八日より右の趣の口上看板出し全快之上二月十七日より下地  
の狂言その儘にて出勤する尤病後ゆへ前狂言の作十郎役ハ小  
川吉太郎ト市川助十郎ニすけさして二月晦日より又々出勤す  
る大切所作事迄する也

中村歌右衛門一世一代御名殘狂言

壽式三翁 千歳 風流鞞猿 三番叟

右一世一代に付道頓堀川竹の賑ひけしからぬ事也いろは茶屋  
ハそろへののふれん揃への提灯お茶子の揃への前垂表方勘定  
場皆々揃への着物其外樂屋方後見付等の者迄不殘揃へ何れも

梅玉のはりこみと見えたり表の看板ハ當時似顔畫の王春好齋  
并ニよし國兩人の書合せ見事也

義經腰越狀三 彦山權現誓助劔八ッ目九ッ目

一ノ谷嫩軍記二ノ口切 三ノ切

右中途より式三番を抜て姫小松三段目を一場入ル尤當狂言大  
入の所又々病氣重くなり三月十七日より休みに成全快之上四  
月二日より右式三をとつて姫小松を入る尤十一日より出勤當  
芝居けあからぬ大入にて棧敷直段のまし貳兩位ニ相成ゆよし  
棧敷ニかけ出しができるやら花みちせまう成やら誠に前代未  
聞の大入也四月晦日を千秋樂として浪花のぶたい納メそれよ  
り京都へ登り北側にて百萬國ニ出入湊其後九月堺大寺にて千  
本櫻ニ姫小松それより又々霜月にハ京都にて顔見せ伊賀越を  
出すなり  
△中村鶴助事江戸表振付藤開勘十郎悴にて歌右衛門下りしせ  
つに門弟となり文化十四年中の座へ鳥渡出られ夫より荒地御靈  
に七化する哥右衛門生寫しにて大當りをとり夫より新地御靈  
いなりへも出勤し竹田若太夫次に大西にて四五年修行し此度  
師匠の一世一代に付三番叟丈ヶ出勤する引拔にて浦島所作事  
大當り尤此頃大西にて金門ニ五右衛門大炊之介切に茜屋半七  
の出勤なれど朝の開丈ヶ角へ出る也夫より勢州中の地藏名古  
屋邊へ行十一月にハ京都にて顔見世師匠と同座にて伊賀越の  
内記やく師匠との傳授場大評判此時師匠の誹名を貰ひ芝齋と  
改名いたすなりこれより大歌舞妓へ出勤いたす師匠の顔にて  
役者中開大によし大やくをいたす也中村歌右衛門一世一代修

文政九 戊歳顔見世

座本 淺尾與三良

十一月十日ヨリ

梅浪花早咲源氏

此狂言切にて退座

布引瀧白絲

△嵐 橋三良  
△澤村長四郎

大切 舞扇榮松稚

△淺尾國五良  
△三樹松五郎

正月十一日ヨリ二月十一日マテ

けいせい伊達抄

角中同狂言  
○中山新九郎  
○片岡蝶十郎

二月十三日ヨリ

伊呂波假名四谷怪談

出勤

けいせい伊達抄

四ッ目 五ッ目

假名手本忠臣藏

六ッ目

いろはかな四ッ谷怪談

此切狂言ハ江戸の鶴屋南北ノ作ニテ  
此度菊五郎始テ出スお岩幽霊大當り

四月十一日ヨリ

妹春山婦女庭訓

切狂言玉藻前ヲ替て  
忠臣藏 反魂香 姫小松と差替ル

玉藻前 臆 袂

五月五日ヨリ

妹春山婦女庭訓

四月ヨリ一座改

藤川友吉 嵐 橋三郎  
市川秀二良 尾上松助  
藤川友之助 尾上雷助  
淺尾與三良 中山文五郎  
尾上菊二良 澤村長四郎  
中村巳之助 中山文七  
小川彌太郎 三樹松五郎  
嵐 小六 尾上傳三郎  
作 花笠魯助 淺尾國五郎  
金澤芝助 尾上菊五郎  
尾上菊五郎 中村芝翫  
嵐 市川虎藏  
嵐 璃光 尾上雷助  
嵐 三右衛門 淺尾歌四良  
藤川友之助 坂東七五良  
尾上菊二良 中山文七  
淺尾與三郎 嵐 雷芝



假名手本忠臣藏

九ツ目

傾城反魂香

吃ノ段

姫小松子の日遊

三段目

伊賀越道中雙六

碁太平記白石噺

△坂東壽太郎病氣ニ付退座

義臣傳讀切講釋

往古曾根崎村囃

戌九月一座改

座本 嵐吉之助

市川なには 嵐 團八  
中山與三良 尾上傳三良  
藤川友吉 尾上松助

市川友吉 嵐 舍丸  
大谷友右衛門 市川團藏

中村歌六 嵐 橋三郎  
片岡松江 嵐 三五良

嵐 吉之助 大谷紫友  
嵐 富三良 市川虎藏

藤川友吉 中山文七  
市川なにハ 浅尾額十良

嵐 小ひな 坂東壽太良

中村きんし 嵐 來芝

嵐 小六 嵐 團八

坂東國五郎 坂東七五郎  
坂東七五郎 嵐 舍丸  
大谷友右衛門 市川團藏

作 澤嵐納老

文政十

亥歳顔見世

座本 中村以上

十二月朔日ヨリ

源平布引瀧

義經千本櫻

正月十一日ヨリ

増補けいせい遊山櫻

春陽三ツの獅子頭

中村歌右衛門 中村芝瓶 關三

十郎相勤 けい事ニて芝瓶千扁

舞をする 中村歌右衛門再勤之

事ハ中の芝居の部ニ有

表看板嶋臺ニ奈良人偶之釣り看

板見事

右狂言の内二月五日の夜當芝居

より出火ニ付相休み狂言其儘堺

へ行大寺芝居ニてする又四月一

座戻りて堀江芝居ニて興行致ス

七月に芝居普請出來新芝居ニ興

行する座本中村以上なりしを改

名して中村歌女となる初々淺尾

徳三郎又與三郎改此度歌女ニな

澤村國太郎 小川吉太郎 嵐瑠光 浅尾奥山 中村歌路之介 退座

亥七月十八日ヨリ

雙蝶々曲輪日記

夕立ニ二日お

くれて秋の露

八月十日ヨリ

雙蝶々曲輪日記

堂島救入濱

九月十七日ヨリ

伊賀越乘掛合羽

おふさ 重井筒

徳兵衛

十月二日ヨリ切付

嫁入信田妻

大切けい事

亂菊露仇枕

五化 十二ひとへ

中村芝瓶江戸下り名残ニ相勤申し

關三十郎 中村芝瓶 中村歌六

乞狂言致十一月朔日より出立送り人多く甚だ賑はしき事也

雙蝶々切ニて退座

中村歌右衛門備中宮川へ行

市川鯉十郎死去ニ付悴市藏ヲ

當座へ引取歌右衛門の引立に

て切狂言を中途より替へ出入

湊に獄門之庄兵衛役をさす哥

右衛門市藏ヲ引立の口上引合

致ス也

○小川吉太良○市川市藏

○藤川友吉 出勤

駕かき 大盡 おふく

右三人江戸表え罷り下り御暇

中村以上

中村松江

金澤龍玉

歌山芝瓶ニ雙蝶々の役さす故

ニ歌右衛門狂歌ヲ詠す

兄弟のふたつ蝶々踊り盆

我もつかれて心與五郎

梅玉

江戶關 三十郎

浅尾國五郎

澤村國太郎

瀬川路之助

中村まもり

中村おのへ

嵐 瑠光

中村哥治之介

嵐 三右衛門

中村以上

中村松江

金澤龍玉



文政十一 子歳二の替り

座本 中村歌女

七月二座改 座本 澤村音松

正月十八日ヨリ

天満宮花梅櫻松

壬生狂言の場 路之介

けい事夢路の鳥賣

三國一の三味せん大出来

四月十一日ヨリ

秋葉權現巡船嘶

此狂言切一座中ノ芝居ニ替ル

宿無團七時雨傘

△小川吉太郎退座

右狂言仕の處額十郎病氣ニ付四月廿九日切休

又々五月六日より相始十日切ニテ一座上京ス

八月二日ヨリ

大塔宮 曦 鎧

武勇萬歳ハ 村上妻 澤村國太郎 頼員妻 嵐 かなふ 女形ニテ仕ル

粧水絹川堤

市川友吉 中村梅助 中村哥女 市川虎藏 中村哥松 中村歌七 市川なにハ 中山文七 嵐 璃光 嵐 來芝 中村おのへ 淺尾國五郎 嵐 三右衛門 中村元朝 瀬川路之助 中村東藏 中村松江 淺尾内匠 市川重太郎 市川鰻十郎 市川新四郎 中村歌右衛門

男哉女鳴神

○片岡仁左衛門 出勤

九月廿五日ヨリ

源氏物ぐさ太郎

嵐橋三郎 嵐璃寛ト改名ス

雙紋廓錦繪

右狂言仕の處璃寛病氣ニ付十月十四日マで仕ルテ相休ル

作者 澤嵐納老

文政十二 丑歳額見世

座本 片岡嶋丸

十一月廿八日ヨリ額見世狂言

初櫓の紋所ハ福徳の二ツ引

取立の引合ハ縁につながら

鏡山廓寫本

正月十五日ヨリ

花雪歌清水

右狂言切ニテ一座 中の芝居へ行

増補薄雪ハリ合狂言

△市川團藏△市川虎藏 △嵐舍丸△中村歌介 退座

浅草靈驗事記

七化所作事

故人尾上鯉三良三 十三廻忌追善狂言 中村歌右衛門相勤

此度の七化ハ已前のと違ひ見榮

へなく其上扇の手度々扇を落し

たりもひとしめニテ不評其上ニ

日數わづかにて切ヲ仕替茜屋半

七と取替出ス也舞扇閣上ノ卷

芝居の段にて芝居狂言として蝶

花形八ツ目ヲ一場入ル

四月十五日ヨリ切付ル

舞扇 閨 筐

右狂言内ニテ蝶花形名哥 島臺小坂部館段入ル

座本 中村梅松改ル

嵐 璃寛 嵐 三五郎 中村哥助 嵐 吉三郎 中村哥七 淺尾國五郎 片岡蝶十郎 澤村長四郎 中村芝猿 大谷友右衛門 片岡仁左衛門 井筒一齋 澤嵐納老 市川琴車 中村哥助 市川重太郎 市川虎藏 澤村にしき 中山新九良 中村三光 中山文七 中村哥女 中村哥右衛門 中村松江 淺尾國五良 中村元朝



右狂言も不評にて四月十八日切  
ニて相林一座上京スルなり七月  
ニ下坂して左ノ狂言ヲ出ス一座  
改ル

七月廿一日ヨリ

碁太平記白石噺

嵐 璃寛 嵐 三五良  
片岡仁左衛門 澤村長四郎  
嵐 かのふ 三樹松五郎  
右六人出勤するなり

七月ヨリ出勤役者

作 金澤芝治 中村東藏  
金澤龍玉 中村芝藏  
嵐 舎丸 市川鯉十郎  
市川團藏

八月朔日ヨリ  
源平布引瀧

△嵐加納 △嵐來芝  
△嵐加納 中途より退座  
嘉平治女房 浅尾額十郎 光秀妻 瀬川路之助  
加納役妻柵 中村まもり 又平女房 澤村國太郎

嵐 富三郎 片岡仁左衛門  
中村まもり 嵐 三五良  
澤村にしき 嵐 來芝  
中村哥松 三樹松五郎  
嵐 かのふ 澤村長四郎  
中村三光 中村歌右衛門  
澤村其答 浅尾額十郎  
中村哥女 浅尾國五郎  
瀬川路之介 中山新九郎  
中村松江 中山文七  
小川吉太良  
中村元朝  
中村東藏  
市川鯉十郎

九月十八日ヨリ  
松下嘉平次連歌評判  
けいせい反魂香

此狂言之中中村松江中途より奈  
良の芝居へ行右替り役に

來 芝 森蘭丸  
中山新九郎 左馬五郎  
新九郎替り 芝猿  
右狂言十月十八日切上京ス

作 金澤芝治 中村東藏  
金澤龍玉 中村芝藏  
嵐 舎丸 市川鯉十郎  
市川團藏

天保元 寅歳二の替り

座本 中村歌女

正月十三日ヨリ

けいせい雪月花

此狂言丸で二段目  
享和元年元祖ノ爲  
十郎のせし忍逢淵  
ヲ少々、入テ有  
又幸四郎白猿中ノ  
座へ看板出則傾城  
鐘の稻妻といふ外  
題成しがいやう  
の譯合なるや止メ  
成當座へ出勤ス

嵐 璃寛 小川吉太良  
片岡島丸 中村梅助  
中山新九郎 中村哥七  
中山文七

三月九日ヨリ

假名手本忠臣藏

嵐吉之介改 中村花曉ト成  
市川瀧十郎改名鯉十郎ト成  
市川團藏△嵐舎丸 出勤  
忠臣藏切△松本幸四郎△市川白猿  
△市川高麗藏 江戸へ歸ル退座  
大塔宮切△中村松江△嵐富三郎  
△中山新九郎 退座

澤村國太郎 中山文七  
瀬川路之助 松本幸四郎  
嵐 吉之助 市川白猿  
嵐 富三良 片岡仁左衛門  
市川錦車 市川瀧十郎  
中村三光 浅尾奥山  
中村哥女 中村東藏  
中村松江 三樹松五郎  
市川高麗藏  
澤村長四郎  
中村元朝  
浅尾國五郎  
中村歌右衛門

四月十七日ヨリ  
伊勢音頭戀寐劔

大塔宮 臆 鏡

おかげにて伊勢参り大はづみ芝居ハ不入いせおんどにて  
相の山の段座中残らず思ひ／＼のおかげ参りする

作 金澤一洗 中村元朝  
金澤龍玉 浅尾國五郎  
中村歌右衛門

九月十八日ヨリ  
芦屋道満大内鑑

切 染模様妹脊門松

右狂言廿七日切相林み八月ニ中芝居へ引越九月ニ戻り又々興行左之通狂言する也  
芦屋道満二幕目ハ龍玉ノ増補アリ 道満館ノ段ハナシ  
○嵐璃寛○坂東彦三郎○市川虎藏○嵐三五郎○嵐璃光  
○三樹松五郎○澤村長四郎 右七人出勤  
嵐璃寛お染奇妙にかわゆらしく大出来町中大評判にて誠に此度ハお染にて入ヲ取  
尾上菊五郎中途より這入千本櫻付尤切狂言也 千本櫻より○尾上菊五郎○中村松江出勤  
當狂言十月廿八日切ニて一座不殘上京ス  
當歳春三月ヨリ御影参ニて諸芝居不入

作 金澤一洗 中村元朝  
金澤龍玉 浅尾國五郎  
中村歌右衛門



天保一一卯歳二の替り

座本 嵐 徳三良

正月十一日ヨリ

けいせい廓亭環

東土産稻妻艸紙

二月十日ヨリ切替ル

傾城廓亭環

隅田川續係

戀衣花寫繪

右狂言二月廿五日切ニテ伊勢行

三月十五日ヨリ

競伊勢物語

戀娘昔八丈

京鹿子娘道成寺

三月ヨリ一座改 座本 中村梅花

乍憚口上 一祖中村富十郎父中村のしほ當月年廻正當ニ相成哥右衛門様御披露の通追善  
出して代々相勤置道成寺所作事ヲ歌右衛門様御披露被下みじく成私永々多病ニて身退  
所達而年廻旁出勤仕被仰下其御詞にすかり所作の一手追善御阿りもかへり見す相勤申  
間何卒賑々敷御來駕之程奉希  
中村のしほ

- 尾上菊五良 嵐 璃寛
- 中山南枝 市川新四良
- 嵐 徳三良 嵐 三五良
- 坂東玉三良 市川助十良
- 浅尾勇枝 片岡仁左衛門
- 嵐 璃光 浅尾爲十郎
- 藤川友之介 三樹松五郎
- 尾上菊枝 澤村長四郎
- 浅尾勇二郎 中村友三
- 藤川友吉 浅尾與六
- 浅尾額十郎
- 澤村國太郎 市川團藏
- 中村梅花 小川吉太良
- 瀬川路之助 嵐 吉三良
- 中村花曉 山村友右衛門
- 嵐 璃光 市川虎藏
- 中村のしほ 中村哥七
- 澤村にしき 中山文七
- 坂東榮次郎 坂東壽太郎

吉原細見圖

中途ヨリ切狂言替り四月二日ヨリ付

右之通口上書看板出ス

中村富十郎五十廻忌追善 娘道成寺 中村のしほ 中村哥右衛門 兩人ニて相勤  
中村のしほ右之通口上看板差出し所免角病氣にて興行も延引ニ相成る右中村のしほハ  
二代目ニて文化四歳中の芝居奴請狀ヲ岡玉がせし時より其後ハ濱芝居へおりのしほ  
のしほと請よく坂十が始て金子した時娘おやそを致たハ此のしほ也其後天神の芝居へ出  
たり後にハ旅へ出られとふノ人知らんよふに也此度梅玉のせわにて慶子五十廻  
忌蘭耕卅三廻忌の追善として道成寺初の舞の手ヲのしほニさして後出より梅玉勤る筈の  
所初日ヨリのしほ急病にて初日も延引なれど段々病氣重ふ成是非なく初日出て前後とも  
所作事梅玉相勤一日丈ケのしほ舞臺へ肩にすかり出梅玉右の譯の口上を述へるのしほハ  
夫切終に四月十三日ニ死去す行年五十歳 妙徳慶守金照信士と云也

- 嵐 三右衛門 浅尾國五郎
- 中村哥女 中村東藏
- 中村松江 坂東國五郎
- 西澤一鳳 坂東七五郎
- 金澤一洗 嵐 舍丸
- 市川鰻十郎 中村歌右衛門

五月十七日ヨリ

義經千本櫻

娘中景清八島日記

曉切烏祇園調

座本 中村梅花

太夫 豊竹此太夫

座本 吉田新十郎

一此度梅玉思ひ付ニて千本櫻ト娘景清ト操り哥舞妓打交り興行尤表へ梅玉の口上書と此  
太夫の口上并ニ吉田千四の口上書出す尤此趣向ハ寛政三亥年角丸の芝居にて鹽町政太夫  
君太夫越太夫太夫人形ハ先の吉田冠藏岩五郎三吾役者ハ谷村楯八芳龜吉之介鐘九郎菊  
松也一此菊松事後に龜ヤ〜と鳴らしたる楯八の事也是等の座組にて狂言ハ千本 彦山

- 豊竹此太夫 中村歌右衛門
- 竹本組太夫 澤村國太郎
- 豊竹時太夫 中村松江
- 竹本錦太夫 市川鰻十郎
- 豊竹吾太夫 嵐 吉三郎
- 竹本濱太夫 小川吉太良
- 竹本達太夫 中山文七
- 竹本照太夫 嵐 璃光
- 竹本其太夫 中村哥七
- 吉田千四 中村東藏



極彩色也 一此度の趣向初段ハ哥舞妓にて序切ハ人形二段目銀平内の段口明より知盛行  
所迄ハ人形にして後知盛戻る所より道具替リ哥舞妓三ノ口まの木の段人形にて小金吾  
取巻の所より哥舞妓又すしや場人形にて口此太夫おく時太夫所甚不評ゆへ此太夫口切ニ  
出て急ニ梶原の出より歌舞妓ニ成權太役を梅玉する也八島日記ハ花菱屋の段ハ一ト通に  
て島の段ハ首振にてすべてあやつりのかゝりにて梅玉景清やく人形のこしらへ千四出つ  
かひのすがたにてうしろより遣ふ淨るりの當時評判のあい玉組太夫語る景清のち之出か  
ら人形のすがたなれど千四ハなしにて出る爰にて絲漣やく松江佐次役銀十郎みなく首  
ふりなりすべて此度ハ役者ハ人形でし人形ハ歌舞妓の思ひ入にてする也

七月廿八日ヨリ

近江源氏先陣館

座本 嵐徳三郎

名切 籠曙

桂川 連理 柵

忠孝 譽二 街

○此狂言より中山みよし 出勤

吉田新吾 嵐 舎丸  
豊松東十郎 浅尾國五郎  
藤井彌三郎 瀬川路之助  
吉田三吾 中村仲介  
吉田熊藏 中村梅花  
豊松猪三郎 中村翫十良  
吉田喜十郎 嵐 三右衛門  
鶴澤勇造 中村花曉  
鶴澤寛治 中村鶴十郎  
鶴澤時造 澤村にしき  
鶴澤燕三 中村まもり  
鶴澤正五良 中村歌五郎  
鶴澤東五良 中村津多右衛門  
豊竹駒太夫 中村哥藏  
澤村龜吉

嵐 璃光 嵐 璃寛  
坂東玉三郎 嵐 三五郎  
嵐 徳三郎 澤村長四郎  
嵐 かのふ 大谷門藏  
あらし璃友 市川助十郎  
中村哥女 三樹松五郎  
藤川友吉 中村友三  
浅尾内匠  
作 近松政橋 片岡仁左衛門

天保三 辰歳

座本 澤村門太郎

二月十六日ヨリ

妹脊山婦女庭訓

潤色女 鴈金

須磨都源平躑躅

額十郎病氣ニ付退座ス

芝六役梅玉勤 求女役小川勤

國太郎病氣ニ付替り役梅花勤

四月十一日ヨリ

接合北國梅

嫩戀の黒舟

△岩井紫若 退座大西へ行

切狂言黒舟ハ文化六年九月中ノ

座ニて岡玉ノ仕たる東詞廓色靴

トいふ外題也尤此度ハ少々増補

アリ

八月五日ヨリ

豊歳潤會我

高臺橋諍勝負附

大踊浪花賑

八月廿日ヨリ

柵自來也談

八月ヨリ退座役者△坂東壽太郎△坂東榮治郎

九月廿四日ヨリ

戀女房染分手綱

八陣守護本城

行平儀馴松

大切 常盤秋月歌

中村梅玉 中村松江 相勤

十一月六日 中村花曉 死去

江戸辰リ  
○中村歌六出勤  
○市川團藏  
○市川虎藏  
○浅尾爲十良  
○澤村國太郎 出勤  
岩井紫若 浅尾額十郎  
中山南枝 小川吉太郎  
中山哥門 あらし小七  
中村花曉 中村仲助  
嵐 三右衛門 坂東七五良  
中村松江 中村哥七  
中村まもり 浅尾爲十郎  
坂東榮二郎 坂東壽太郎  
中村梅花 浅尾國五郎  
嵐 かのふ 山村友右衛門  
澤村國太郎 中山文七  
西澤一鳳 坂東國五郎  
中村東藏  
大谷友右衛門  
中村歌右衛門



天保四

巳歳顔見世

右極り附出来れ得共顔見世不出來

閏十一月十五日ヨリ

日蓮聖人御法海

隅田春妓女容性

正月十八日ヨリ

けいせい 稚兒淵

ちごかふち切△山村友右衛門

△坂東國五郎△坂東十太郎

△片岡仁左衛門△藤川友吉

△淺尾爲十良△中山文七

△坂東七五良 退座

五月十三日ヨリ

國性 翁合戦

座本 中村玉之助

○嵐橋五良○嵐璃寛

○中村友三○淺尾工左衛門 出勤

藍桔 梗 鷹 金 小 紋

右狂言六月八日切にて京都へ行

座本 中村梅松

嵐 璃光 小川吉太郎

中村三光 中村歌七

中村熊太郎 中村仲助

中村梅花 山村友右衛門

中村歌門 中山新九良

中村松江 中山文七

井筒一齋 坂東國五良

近松嘉造 坂東七五良

坂東壽太郎 中村東藏

淺尾爲十良 淺尾爲十良

中村東藏 坂東壽太郎

坂東壽太郎 坂東壽太郎

小川吉太郎 小川吉太郎

中村歌七 中村歌七

中村仲助 中村仲助

山村友右衛門 山村友右衛門

中村歌七 中村歌七

片岡仁左衛門 片岡仁左衛門

中山文七 中山文七

大谷友右衛門 大谷友右衛門

坂東國五郎 坂東國五郎

中村東藏 中村東藏

淺尾爲十郎 淺尾爲十郎

中村歌右衛門 中村歌右衛門

天保五

午歳顔見世

座本 中村鶴之助

十二月二日ヨリ

一 谷 嫩 軍 記 翁

目見(狂言) 七重 膝 希八重 桐

正月十三日ヨリ

天満宮 愛梅 櫻 松

大切 六 歌 仙 容 粉

三月十五日ヨリ

金 門 五 三 桐

關 取 二 代 鑑

澤村國太郎 追善 淺澤紫

十七廻忌追善 春月尼庵ノ段

大切十八番 鳴 神 櫻

狂言之内 鳴 神 櫻

市川海老藏 相つとめ申比

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

寛保元歳酉ノ年二代目團十郎

中村歌十郎

三番 中村歌右衛門

三社 瀬川瀧江

實川勇二良 中山よしを

○中村鶴介 出勤

○中村蘭九郎

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介

○中村鶴介



五月十七日ヨリ

太平記 兜 競

夏祭 浪花 鑑

此狂言ハ近江源氏ヲ八ッ目迄して九ッ目ヲ取て三代記ヲ入ル  
○嵐璃光○片岡市藏 出勤  
△市川海老藏△中村哥六 退座

八月十七日ヨリ

色 競 九 重 錦

江戸岩井杜若罷り出相勤い  
スケ

増 補 月 桂 川

道行 仇 結 縷 子 帶

中村歌右衛門 相勤い  
岩井杜若

十月十四日ヨリ

男 哉 婦 女 將 門

傾 城 反 魂 香 筒

景事 大津土産所作 哀

中村芝翫 中村鶴助 中村歌十良

中村梅花 中村富十良 相勤申い

右狂言十月廿八日切相休み一座上京

此狂言ハ將門ヲ女形にてスル也先年江戸ニテ岩井半四郎此狂言ヲ初テ出ス西澤一鳳ノ新作也  
△片岡市藏△岩井杜若  
△中村歌右衛門 退座  
○市川虎藏出勤  
岩井杜若 哀  
岩井半四郎ヲ悴余三郎ニ譲リ隠居シテ樂ノ身也此度諸方見物ニ登りてはからず浪花に來り歌右衛門ニすゝめられスケニて出勤ス桂川ニおはん役又辻君役ハ御家の狂言先年ノおそめにも見まさりておはんのかあいらしき事きハ妙々なりおしい哉一芝居勤て直ニ江戸へ歸る也今一兩年大坂の興行有度ものなりと皆々いふ也

中村歌六 中村芝翫  
中村梅花 中村鶴助  
瀬川路之助 中村仲介  
中村松助 浅尾國五良  
嵐 璃光 中村歌十郎  
嵐 かのふ 中村歌右衛門  
中山よしを 中村歌七  
瀬川瀧江 中村東藏  
中村鶴之介 中村芝藏  
中村富十郎 中村蘭九郎  
江戸 片岡市藏  
市川海老藏

天保六

未歲二の替り

正月廿三日ヨリ

けいせい入相 櫻

戀 袂 二人道成 寺

白拍子衣手 中村芝翫

あふつ坊 浅尾與六 相勤

白拍子連理 中村富十郎

三月十五日ヨリ

復讐 二 嶋 英 勇 記

此切ニテ左七人退座ス

△中村富十良△中村鶴助△中村歌七△浅尾與六△市川虎藏△中村歌十良△山下金作

△中村歌右衛門中途より退座

いせ行

堂 島 救 入 濱

開七月十九日ヨリ

源 平 布 引 瀧

大 塔 宮 臆 鏡

拳 禪 廓 大 通

座本 中村鶴之助

○實川額十郎 ○中山南枝

○浅尾工左衛門 ○嵐璃光

○中村蘭九郎 右五人出勤ス

九月十三日ヨリ

梅 梶 黄 鳥 墳

△額十郎病氣ニ付相休み

中村梅玉角中兩座かけ持にて出勤ス

讀 賣 ち よ ん か れ 節

中村歌右衛門中の芝居斗出勤仕

神 靈 矢 口 渡

十月五日ヨリ

太 平 記 士 鑑

けい事

同 計 略 花 吉 野 山

角中同狂言ハリ合ニテ致ス也

中村芝翫七役相勤ム

けい事 中村芝翫 小川吉太良

浅尾工左衛門 中山南枝 相勤

中村梅花 哀

中村松江

中山よしを

中村熊太良

中村芝喜之助

山下金作

嵐 かのふ

中村鶴之助

中村かほよ

瀬川路之助

中村富十郎

作 西澤一鳳

金澤龍玉

中村歌十郎

中村東藏

浅尾與六

中村歌右衛門

中村芝翫

小川吉太郎

中村壽良

中村翫十良

市川虎藏

中村歌十郎

中村哥七

中村鶴助

中村芝藏

中村蘭九良

中村東藏

浅尾與六

中村歌右衛門

作者西澤一鳳 哀改 綺語堂

奈河本助改 二役目金澤龍玉ニナル

正月十九日 浅尾國五郎死去 六十八歳

十一月四日 實川額十郎死去 五十四歳

額妙院延若日壽信士



天保七 申歲

額見世興行看板出シテ不出來

正月十九日ヨリ

けいせい 青陽鶴

錦の 蔦かつら

けい事 中村玉助 中村歌右衛門

門 中村芝翫 中村梅花 相勤

此狂言切ニテ△中山よしを△中

山新九良△浅尾工左衛門 退座

三月吉日ヨリ

伊賀越道 中雙六

駒縁本町文粹

右看板出シ共不仕

三月廿八日ヨリ

伊賀越道 中雙六

關取千兩幟

△市川助十郎 退座

座本 中村梅藏

五月吉日ヨリ

秋葉權現廻船咄

極彩色娘扇

右看板出シ得共不仕

八月吉日ヨリ

軍法富士見西行

和田合戦女舞鶴

清和源氏

山伏攝待

右看板出シ得共不仕

十月廿日ヨリ

芦屋道満大内鑑

容競出入湊

右狂言モメ合出来興行なし北の新地へゆき興行すなり  
都而此夏よりたび／＼かんばん出しながら興行なし宛  
角人氣にはまらず世間ふけいきにて芝居はやらすゆへ  
ニかんばん出したり入れたり甚だみともなき事なり  
浪花の芝居にこれまでかよなる事ハなき事ナリと  
くところへて出スへき事也是を思へば岡玉はきまりよし

中村芝翫改

中村歌右衛門

中村鶴介改

中村芝翫

中村壽良

浅尾友藏

中山よしを

中村鶴十良

中山新九良

小川吉太良

中村歌七

瀨川路之助

市川助十良

中村かほよ

中村芝藏

中村梅花

中村蘭九郎

中村東藏

浅尾工左衛門

中村玉助

天保八 酉歲二の替り

座本 嵐三津橘

正月廿八日ヨリ

けいせい 小倉色紙 大入大當り

右狂言仕所二月天満より出火ニ付市中大ニ騷動ニ相成人氣さだかならずゆへに諸芝居  
一向はやらす只此節柄の噂のみばかりにて芝居見物所でなき程の混雜前代未聞なる事共  
也ゆへニ諸芝居共休み五月ヨリ筑後の芝居へ引こし興行いたすなり

○三月朔日片岡仁左衛門死去 行年八十三歳 快翁院義教日耀信士 片岡仁左衛門  
誠ニ此人ハ七十年來芝居中ニ病氣で引るといふ事ハ稀にて舞臺でふきけるといふ事な  
く古今の稀人なるべし惜べし

△浅尾大吉事ハ先工左衛門の弟子始ハ浅尾虎吉といふ是迄始終京宮芝居を勤近比當地濱  
芝居へもでらるゝ事有此度本座へ上る

○六月十三日嵐璃寛死去 釋教順 行年五十歳 俗名嵐璃寛  
當五月筑後に幼稚子敵討ト戀深川役ハ前ニ民谷源八切に出村新兵衛ヲ勤ム不惟大入ノ

所中途より病氣にて橋五郎替りを勤程なく仕舞此狂言ヲ生涯の名残りとして死去ス本葬  
ハ七月三日誠ニびゞ敷事也角中の表方六七十人きびらの帷子ニ橋の紋付テ揃ヘノ警固送  
り人ハ嵐家のこらず外ニ與六工左衛門すべて大部屋稻荷丁ニいたるまでおくりしなり右

見物の山をなし羣集ハいわん方なし誠ニ先岡嶋屋玉の葬禮此かたの賑ひであつた併シマ  
ア十四五年も置たい人也又此よふな花のある地藝のよひ立役ハ容易ニ出来る事じやない  
と嗚呼惜むべし／＼それゆへ芝居もふいにてしか／＼できずよふ／＼九月頃より芝居  
興行なるべし

西十一月廿六日ヨリ

敵討崇禪寺馬場

座本 中村歌松

西十一月廿六日ヨリ

敵討崇禪寺馬場

座本 中村歌松



大切 山 姥

右之看板出れへども出来ず其儘  
十二日程立て看板引也是切にて  
當年興行なし

中山よしを 中村芝翫  
中村巴丈 小川吉太良  
中山一とく 中村壽良  
瀬川路之助 中村翫十良  
嵐 璃光 浅尾友藏  
中村歌六 中村哥七  
嵐かのふ 中村東藏  
中村哥門 中村蘭九良  
實川勇二郎 中村芝藏  
山下金作 浅尾與六  
中村歌右衛門  
中村富十良

天保九戌歳二の替り狂言の口上

戌正月吉日ヨリ

けいせい廓船諷

右狂言此度中村玉助工夫もつて惣一座兩芝居掛持となへ前狂言中の芝居へ出勤の衆  
中ハ角の芝居の切狂言出勤かくのごとく兩座かわりふかけ持ニ任り并ニ兩座の仕内談  
合場となへ角平むかひ濱側茶屋のあき家にて仕内衆中寄合尤表看板縁緋縮緬十二月大  
小四季の縫兩座同様にまつらひ看板差出し近日初日も出し申込所中村哥右衛門火急ニ江  
戸おもてへ罷り下り申込に付無據右の趣向もやめニ相成中の座狂言かわり廿日開興行當  
座ハ狂言其儘初日差出し申込中村玉助義病氣につきにわかに出勤無之それゆゑ彼是延引  
ニ相成申玉介ハ退座いたす

天保九 戌歳二の替り

座本 中村梅藏

正月廿五日ヨリ

けいせい廓船諷

鏡山 舊錦繪

右狂言切にて中の芝居へ行

十二月七日ヨリ

荇萱桑門 筑紫轢

姫小松子の日遊

宵座 附引合

翁 中村巴丈 千歳 可 雛助

三番叟 中村富十郎

切付ル 渡 始 錦 帶 橋

坂東三津五良 亥江戸表ニ而始終病氣故苦勞のない  
役廻り斗り勤て居られ此度保養かたの登りゆ  
へ立居自由ならず藝中後ロより助添へ付て出る是  
切にて此後ハ出勤なく長崎の方へゆかれしとき  
おしいかなあつたら役者を遊して置も病氣故也  
非なし

中村玉助病氣ニ付替り役  
長崎四郎左衛門 坂東壽太郎  
富十郎役おのへ 三樹源之助

十二月一座改

江戶 坂東三津 五良  
三樹松五良  
浅尾工左衛門  
三樹源之助

中山よしを 可 雛助  
藤川花友 小川吉太良  
嵐 三右衛門 中村慶十良  
山下金作 嵐 冠十良  
嵐かのふ 中村翫十良  
瀬川路之助 中村蘭九良  
中村巴丈 中村東藏  
中村歌六 浅尾與六  
中村富十良

中山よしを 中村芝翫  
實川勇次良 小川吉太良  
中山一とく 中村慶十良  
三樹大五良 浅尾友藏  
嵐かのふ 中村蘭九良  
藤川勝三良 中村鶴十良  
中村かほよ 中村亦十良  
瀬川路之助 中村歌十良  
中村富十郎 坂東壽太良  
浅尾大 浅尾大 中村翫十良  
中村東藏 中村壽郎  
浅尾與六 三樹源之助  
中村玉助



天保十 亥歳二の替り

座本 中村富菊

正月十九日ヨリ

けいせい 濱真砂

此狂言ハ女形五右衛門也江戸表  
テ杜若が致せし事有夫ヲ増補シ  
三段目ハ朝顔ノ祐仙ヲ書直シた  
る狂言ニテ友三役平ノ平平ト云  
チヤリ慶子のお瀧ニ惚る狂言丸  
で西澤一鳳が書直シト見へたり  
又慶子事諸國修行の思ひ立ある  
故切狂言の政岡ヲ當年中名残と  
して勤る也慶子名残狂言致した  
れど再勤の口上書ヲ出すなり

伽羅 先代萩

△嵐吉三郎看板ニのせしへ共江  
戸行 替り役我童勤  
△坂東三津五良看板にあれ共出  
勤なし  
先代萩切ニテ△可雛助 退座

三月十日ヨリ

妹香山婦女庭訓

小栗判官車街道

福在 原系圖

攝板斗 不出

合邦辻

廊文章

箱根靈驗 覺仇討

紅色 女團七

嶋原染七種模様

梶原平三紅梅鞆

復讐 高音鼓

九月十九日ヨリ

箱根山切ニテ△嵐璃瑠△中村哥十郎△三樹松五郎  
△中村芝藏△浅尾國五郎△中村勝三郎 退座

此狂言切ニテ  
芝居休み  
○市川新十郎

○同千之介

○同蘭九良

○市川助十郎

○嵐 來芝

○市川助十郎

○中村芝翫

○同蘭九良

○同四郎兵衛

○同千之介

○市川新十郎

○同蘭九良

○市川助十郎

○嵐 來芝

○市川助十郎

江戸へ下ル

中村巴丈 嵐 吉三郎

中村哥保世 片岡我童

中村菊三郎 中村壽郎

中村富三郎 中村慶十良

片岡あやめ 中村菊五郎

嵐 璃光 中村勝三郎

中村哥七

小川吉太郎

嵐 璃瑠

司 雛助

中村哥十郎

中村芝藏

中村新十郎

浅尾友藏

柴崎臺藏

三樹松五郎

浅尾國五郎

中村友三

浅尾工左衛門

中村富十郎

天保十一 子歳顔見世

座本 市川三河藏

正月ヨリ改 座本市川市河藏

十一月十五日ヨリ

鬼一法眼三略卷

檀浦兜軍記

桂川連理柵

道行戀のゑがらみ

正月十八日ヨリ

けいせい 青陽鶴

假名手本忠臣藏

平家女護 寫

右狂言四月五日切ニテ堺へ行  
實川延三郎病氣ニ付替り中村壽  
良勤  
△中村芝翫△嵐璃瑠△市川助十  
郎△中村芝藏△浅尾工左衛門△  
中村歌六 右六人退座  
○浅尾與六○中村東藏○市川市  
紅○嵐冠十郎○尾上多見藏 出  
勤

中村芝翫

中村壽良

市川新四良

市川助十良

中村蘭九良

市川友藏

市川友三

市川團藏

作市岡和七

藤川花友

市川紅若

中村哥柳

尾上松之丞

中村源之助

瀬川路之助

嵐 かのふ

左ハ看板斗ニテ不仕仕

柵 自來也談

伽羅 先代萩

大湊 戀憶當

伽羅 先代萩

重扇 榮松朝

此狂言ハ天保三辰春二ノかはり  
けいせい雪月花三段目梅玉のせ  
し三二五郎七ノ藝ヲ松朝斐ゆひ  
綱五郎役ニテする慶子の役ハ中  
山よしを璃寛の役ハ與六ナリ芝  
居不入にて日數わづかにてしま  
ふナリ

十月五日ヨリ

柵 自來也談

伽羅 先代萩

右狂言切ニテ一座上京ス

中村歌六 市川團藏

中山よしを 市川助十郎

嵐 かのふ 中村芝翫

藤川花友 浅尾工左衛門

中山一とく 嵐 璃瑠

瀬川路之助 實川延三郎

中村哥菊 中村友三

中村かなめ 中村蘭九郎

中村哥蝶 市川虎藏

中村哥二郎 浅尾友藏

尾上松之丞 市川新四郎

中村歌柳 中村壽郎

嵐 紋之助

市川新十郎

市川惠美藏

中村駒十郎

實川新平

澤風納老

金澤菊助

奈河新平

辰岡万作

木村寶助



天保十一 丑歳

當開正月晦日文恭院様御薨御ニ付二月五日ヨリ五十日開御停止也 諸芝居休ム

座本 中村梅花

四月十九日ヨリ

梅初春五十三驛

五月十日ヨリ付

重扇萩伊達染

右狂言切ニテ一座大西へ行興行スルナリ

八月一座改

敵討崇禪寺馬場

戀女房染分手綱

右の看板斗ニて不仕仕

八月八日ヨリ

敵討崇禪寺馬場

大踊一座不殘

九月廿四日ヨリ

けいせい櫻城砦

右狂言三幕目金神長五郎内ノ段口幕とも此度書入ル市岡和七作也

大切いつく島の寫繪

市川團藏 市川市藏 中村歌六 子役市藏ハ尾上多見藏悴也此兄ヲ和市といふ當時子供の花方ナリ

三樹源之助

尾上松助

三樹他人

木場新猿

大谷門藏

三樹松五良

中村芝藏

淺尾與六

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

尾上菊五郎

天保十三 寅歳二の替り

座本 市川團二良

正月廿六日ヨリ

けいせい櫻城砦

物出来る事いかなる因縁やら大師ノ所爲也とて大師染ト號ス住吉勝間北在共外諸所ニテ布木綿杯ヲもつて染ニ行是ヲ此度狂言ニ取組中村友三染の井源五郎役ニテチャリ場ノ小幕ヲ書入ル妙也

三月十六日ヨリ

けいせい染分手綱

此狂言ハ先年梅玉又瑠寛のせし通ノ上へ三幕目鳥羽戀家ノ場ヲ入ル也とハのお染役よしを友三丹波屋與作役 哥十郎奴逸平役ノ狂言ナリ丸で先代萩の二九屋源右衛門書直し也

四月中旬ヨリ御改革ニ付嚴重ノ御觸出ニ付當盆ヨリ役者衣裝皆木綿物棧敷場代引下ケノ事中ノ卷ニ委敷記ス

△當四月ニ江戸市川海老藏身分不相應ノ衣類又ハ結構成器物杯を常々持扱其上成田不動開帳のみぎり見事ノ燈籠ヲ寄附致シたる事杯凡テ奢侈トテ至ニ付御答ヲ蒙リ江戸十里四方追放仰付られしナリ

八月十九日ヨリ

紅楓いろは文庫

名作切籠曙

九月十七日ヨリ

敵討浦朝霧

○可難助急ニ出勤ス

多見藏事風邪ニテ音聲痛メシ故時頼

○可難助急ニ出勤ス

音聲痛メシ故時頼

此狂言ハ遊山櫻也先年角中同狂言ノ時此芝居出火なれハ此度外題替て出ス一昨年冬ノ頃近在ノ畑井戸ニテ染

○山下金作 出勤 △中村哥六 退座

中山よしを 嵐 璃珪

中山一とく 市川玉藏

中村かなめ 市川荒五良

中村千之介 中村壽郎

中村梅葉 市川友藏

中村哥門 中村歌十郎

藤川花友 片岡市藏

中村歌六 實川延三良

中山竹藏 中村蘭九良

柴崙臺藏 市川宗十良

中山文七 中村新十良

市岡和七 淺尾工左衛門

市岡和七 市川團藏

山下金作 尾上松朝

淺尾彌太郎 中村慶十郎

中村哥きく 中村桂車

中村かほよ 尾上登龍

中村巴丈 中山新九良



北條時頼 記

記城之介ヲ急ニ司  
玉豐姫嫁ノ段  
鎌介ヲ入テスケサ

中村梅花  
瀨川路之助  
中村慶子  
淺尾與六  
中山文七  
柴寄臺藏

十月改  
座本  
中村富助  
嵐徳三良  
中村歌七  
中村慶車

右前狂言ハ序ヲせずニ段目スル切狂言ハ玉豐姫嫁ノ段丈  
ケニテ女鉢木ハせず玉豐姫嫁ノ段ハ天明四辰年ニ先ノ團  
藏ト先ノいろハトせしより此方出ス珍ら敷物也此度ハ別  
テそれノ役割よくはまり尤狂言ハ昔モノナリ面白シク  
△淺尾與六△中山新九郎△山下金作 退座  
尾上松朝事江戸へ下ル

三榎松五良  
中山文五良  
淺尾工左衛門  
中村富十良

十月廿日ヨリ

繪合太功 記

此狂言仕所  
富十良衣裳ノ  
義ニ付御答有  
之十月廿八日  
切ニテ相休ム

出村新兵衛  
八重きり  
久よし  
中村甚之介

中村巴丈  
中村梅花  
淺尾彌太良  
中村哥保世  
藤川八太郎  
瀨川路之助

比翼鳥部山

此狂言仕所  
富十良衣裳ノ  
義ニ付御答有  
之十月廿八日  
切ニテ相休ム

久よし  
中村甚之介

中村高助  
中山文五郎  
藤川鐘九郎  
中山美男  
柴寄臺藏  
淺尾工左衛門  
片岡市藏  
中村富十郎

十二月十二日ヨリ子供芝居興行ス

繪合太功 記

此狂言仕所  
富十良衣裳ノ  
義ニ付御答有  
之十月廿八日  
切ニテ相休ム

光秀 熊谷  
九十郎  
つゝみ軍二  
玉や新兵衛  
田葉こや源七  
十二郎  
義經らん丸  
みだらん丸  
忠のり  
信長  
尾上龜太郎

中村高助  
中山文五郎  
藤川鐘九郎  
中山美男  
柴寄臺藏  
淺尾工左衛門  
片岡市藏  
中村富十郎

一の谷嫩軍記

此狂言仕所  
富十良衣裳ノ  
義ニ付御答有  
之十月廿八日  
切ニテ相休ム

つゝみ軍二  
玉や新兵衛  
田葉こや源七  
十二郎  
義經らん丸  
みだらん丸  
忠のり  
信長  
尾上龜太郎

中村高助  
中山文五郎  
藤川鐘九郎  
中山美男  
柴寄臺藏  
淺尾工左衛門  
片岡市藏  
中村富十郎

東訛戀深川

此狂言仕所  
富十良衣裳ノ  
義ニ付御答有  
之十月廿八日  
切ニテ相休ム

つゝみ軍二  
玉や新兵衛  
田葉こや源七  
十二郎  
義經らん丸  
みだらん丸  
忠のり  
信長  
尾上龜太郎

中村高助  
中山文五郎  
藤川鐘九郎  
中山美男  
柴寄臺藏  
淺尾工左衛門  
片岡市藏  
中村富十郎

大切姫山姥

此狂言仕所  
富十良衣裳ノ  
義ニ付御答有  
之十月廿八日  
切ニテ相休ム

つゝみ軍二  
玉や新兵衛  
田葉こや源七  
十二郎  
義經らん丸  
みだらん丸  
忠のり  
信長  
尾上龜太郎

中村高助  
中山文五郎  
藤川鐘九郎  
中山美男  
柴寄臺藏  
淺尾工左衛門  
片岡市藏  
中村富十郎

天保十四

卯歳ニの替リ

座本

正月

けいせい花大樹

大切けい事

右看板斗ニて不仕也

嵐徳三郎  
中村歌七  
坂東八五郎  
嵐橋治郎  
中山美男  
大谷大作  
中村慶十郎  
三榎松五郎  
中山文七  
嵐冠十良  
藤川我笑  
中村駒十良  
淺尾友藏  
藤川鐘九良  
中山文五良  
大谷友右衛門  
片岡市藏  
揚羽蝶三  
近松亮助

二月五日ヨリ

松朝霞彩色

もちちとり

右看板斗ニて不仕也

嵐徳三郎  
中村歌七  
坂東八五郎  
嵐橋治郎  
中山美男  
大谷大作  
中村慶十郎  
三榎松五郎  
中山文七  
嵐冠十良  
藤川我笑  
中村駒十良  
淺尾友藏  
藤川鐘九良  
中山文五良  
大谷友右衛門  
片岡市藏  
揚羽蝶三  
近松亮助

座本 尾上和市

勝鬨芋源氏

雙蝶々曲輪日記

女鉢木

敵討巖流島

釜淵雙級巴

五月

敵討殿下茶屋聚

宿無團七時雨傘

右看板ニ嵐璃寛染の井ト切ニ女郎とみト役あれとも出ス  
與六事少シモメ合有テ中途より退座致ス

市川鯉十良

右看板斗ニて不仕也

嵐徳三郎  
中村歌七  
坂東八五郎  
嵐橋治郎  
中山美男  
大谷大作  
中村慶十郎  
三榎松五郎  
中山文七  
嵐冠十良  
藤川我笑  
中村駒十良  
淺尾友藏  
藤川鐘九良  
中山文五良  
大谷友右衛門  
片岡市藏  
揚羽蝶三  
近松亮助

市川鯉十良



卯九月ヨリ

有職鎌倉山 三段目

苜萱桑門筑紫轢

義臣傳讀切講釋

中村巴丈中ノ座カケ持尤切狂言丈ケ出勤スル  
當芝居大序ヨリ御越被成比御見物ニ直段五百  
文にて御覽入可申上ト書付ヲ出スナリ

十一月廿一日ヨリ

菅原傳授手習鑑

市川米十良

江戸登リ市川眼玉 相勤

切狂言 海老藏門人

月景清鑑樓の茶湯 檀浦兜軍記 トナリ此度

南都大佛供養 初舞臺也

市川眼玉 中途ヨリ名前ヲ御めしニ付市川海

老藏ニテ出勤する故ニ切狂言外題ヲ替ルナリ

御惠月景清 乞食茶湯之段 大佛供養之段

右ノ狂言ハ安永五申年江戸市村座ニテ外題冠言葉會我由縁其時之役割に

一非人景清 五代目市川海老藏 島山重忠 松本幸四郎

六代ござん 市川吉五良 人丸ひめ 市川團三良

右之通ニ仕比尤芝居大入大當り此時が始メナリ當芝居初日二日棧敷金壹歩

二百文場六百元ニて見せる

座本 市川友之介

中村歌十良

中村哥七

浅尾與作

あらしとく松

大谷馬若

中村富助

尾上春五郎

中村哥四郎

中村桂花

中村桂車

浅尾彌太良

中村巴丈

浅尾與六

十一月改

座本

市川友之助

市川米十良

市川米五良

市川富助

中村富助

風三十良

大谷大作

市川男女藏

中山美男

市川美男

市川松五良

中山文五良

大谷友右衛門

市川海老藏

金澤蝶三

實井辰助

東坡東助

天保十五 辰歳二の替り

座本 市川友之助

正月十八日ヨリ

けいぜい石川染

國性爺合戦

風璃寛番附ニ始テ記ス

此石川染仕言ハ序ハ雪月花 二ノ口右同斷 切ハ稚兒淵

能場ノ通り 三ハ花ノ山崎名前斗かわる 四ハ稚兒淵ナリ

市川米十郎改名小團次トナル

大谷大作改名大谷友九郎トナリ初舞臺ナリ

此政元役ヲ早枝政右衛門ニテ市川銀十郎相勤ム又細川政元二段目ハ堀尾帶刀ニテ可難介

相勤ム切狂言きんせふ女も替り難介勤中ノ芝居大切丈ケ市川團藏かけ持ゆへ前狂言志摩

外記左衛門内ノ段切ニテそれより國せんや三ノ口切此奥茶屋場切へ廻ス正月十八日より

二月廿七日日數四十日開相勤ム大入にて當り前狂言岩城やノ段ハ不出中途より三右衛門

病氣ニ而替り璃光勤ム

三月十一日ヨリ四月廿六日迄

假名手本忠臣藏

魁源平躑躅

可難助初日二日迄出申ハ處急病ニ付替り足利直よし代り中山文七玉折姫山下金作

又四

當狂言三月十一日ヨリ四月廿六日迄四十日開大入

三月廿八日ニ阿蘭陀商人唐人二人當芝居見物する東場不殘買切也

市川海老藏

市川猿藏

市川養助

浅尾奥次良

市川團三郎

市川小團次

中山美男

中山文七

市川團七良

中村桂車

市川友藏

中山文五良

大谷友右衛門

市川團藏

細川 政元

市中途より退座

京都へゆく

眞表十一段返シ

當芝居一枚看板城渡シの釣かんばし由良之助の人形ニ

すべき所御趣意ニ付木の彫物ニて顔にせ也此看板至極

宜敷大珍事也

是切ニテ一座上京

役風璃寛相勤ム

中山文七玉折姫山下金作

又四

早利直よし代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り

早の勘平代り



角の芝居口上看板

座本 市川市松

乍 憚 口 上

一 殘暑之砌御町中御且那樣方益能御機嫌被遊御座恐惶至極ニ奉存ハ隨而私儀當芝居ニテ三の替リ狂言裏表忠臣藏御覽ニ入奉ハ殊の外御意ニ叶ハ哉古今稀成大入繁昌仕段如何斗歟難有仕合ニ奉存ハ續而五月ニハ上京仕是又大入繁昌仕ハ全く御當地御最良様の御餘光ト有難奉存ハ扱盆替リハ何哉珍敷狂言差出し度彼是ト相談ニ及ハ處祇園祭禮信仰記大序より金閣寺迄仕り次ニ私親共松本幸四郎義當年七廻忌ニ相當リ申ハ付則追善と致し先年御當地ニ於て故人幸四郎相勤ハ光秀役饗應の場より大切迄相勤切狂言ハ當一座の内より一兩人めし連中の芝居へ出勤仕ハ尤中の芝居よりも一兩人當芝居へ相替リ則花角力蝶々紋日四幕切狂言ニ付御覽ニ入奉ハ開何卒被仰合當芝居ハ元より中の芝居兩座共御見物御入來之程偏ニ奉希上ハ己上

市川海老藏

八月七日ヨリ九月朔日迄

祇園祭 禮信仰記

故人松本幸四郎 七廻忌追善

中ノ芝居掛持役者

東の片ヤハ八幡村放生會賑ひに縁を引舟 引窓の血筋にからまる甘酒屋の昔囃 濡髪色の大關 放駒戀の關脇 花角力蝶々紋日 西の片ヤハ山崎の月のすゝきがたゞれか 千種にすだく蟲の音ハ姉のおせきが異見囃

市川海老藏 市川鰻十良 市川小團次 中山よしを 小川吉太郎 中山文五郎 瀬川路之介 淺尾與六

山下金作 市川鰻十郎 淺尾與六 市川米十郎 市川高十郎 小川鬼雀 嵐三十郎 市川小團次 中山文七 瀨川路之介 市川文五郎 藤川八太良 中山文五郎 中村梅花 市川桂車 中村梅子 市川松五良 松本七藏 淺尾與一兵衛 中山よしを 市川猿藏 市川海老藏 淺尾三六 大谷友右衛門 淺尾與六 嵐 璃 寛

弘化二 巳歳二の替り

正月十八日ヨリ

けいせい玉手綱 景事 松朝霧彩色

三月七日ヨリ

一 谷 嫩 軍 記

小野道風青柳硯

此狂言切ニテ △片岡我童 退座 中ノ芝居へ行

福 在 原 系 圖

七月十七日ヨリ

けいせい廓船諷 尊有吾妻土産

此狂言ヨリ ○中山南枝 ○實川延三良 出勤

右切狂言ハ菊五郎致せし狂言ろくろ首也此度ハ少シ書入致シ 是迄のトハ増補すなり當芝居不入之所此切狂言ニテ持こたへル多見藏の働キナリ 右狂言切ニテ一座上京致ス

中村巴丈 市川團三郎 中村千之介 中村歌十郎 山下里菊 小川吉太郎 片岡愛之介 片岡蝶十郎 嵐 三右衛門 大谷徳治 尾上松光 坂東大八 中村菊三郎 中村歌四郎 片岡あやめ 市川玉藏 山下金作 市川仲藏 尾上多見藏



弘化三年歳

座本市川猿松

舊冬末ニ嵐吉三郎江戸表より歸り早速約束之上ニの替り狂言取極り出来ぬニ付  
看板差出し又海老藏の口上書いだし右吉三郎ハ故橋三良之 なれば故人松本幸  
四郎ハ海老藏實父也故橋三良ト又松本幸四郎トハ兄弟分なるゆへ吉三郎ハ海老  
藏トモ又一かたならぬよし口上書長々と海老藏より看板出ス也

正月十三日ヨリ

三月四日ヨリ

花雪歌清水

裏表 假名手本忠臣藏  
廿二段返

江戸 嵐吉三良  
江戸 澤村源之助

熊坂物見松

八陣守護城

中村巴丈  
市川芳三良

江戸歸り新参 嵐吉三良目見エ  
狂言  
○江戸市川清十郎改澤村源之助  
○江戸市川壽美之丞 罷出相勤  
申也

柵自來也談  
八陣守護城

中村かなめ  
市川白二良  
市川冠十良

一の谷嫩軍記

四月十七日ヨリ  
敵討崇禪寺馬場

可 雛助  
市川壽美之丞  
市川鯉十良

助六由縁江戸櫻

五月五日ヨリ  
敵討崇禪寺馬場

市川九藏事市川三猿  
澤村源之助

右狂言大入大當ニて御座ぬ所二  
月廿二日ヨリ御ニて此日相休  
其後又々相始メ古今の大入也尤  
吉三良の手柄と相見へ申也一の  
谷狂言六彌太陣屋段ニて流しの  
枝といふ哥相方ニ入ル尤も西澤  
の調新哥也市中流行す

關取千兩職  
關取千兩職

右狂言ヨリ  
三樹大五郎  
三樹徳次郎  
嵐 與市  
罷出相勤申也

作 嶺琴舍菊  
松鱸亭助

午七月ヨリ盆替り一座改

座本市川猿松

前富士 内百番富士太鼓

後怨靈 かさねか淵戀柵

續おちよ 世話料理八百屋獻立

市川三猿 檀の浦兜軍記

目見エ狂言 影猿七尺

大切所作事 御ひいきの 影猿七尺

十一月五日ヨリ 姉妹 達大礎

義經 腰越状

紙の國屋小春 延紙書置

右切狂言河庄奥座敷ニて手打三  
番叟座附右狂言ニ仕組奉御覽入

七變化  
市川小團次相勤申也

客座  
南枝 猿藏  
源之助 猿助  
勇二良 壽珪  
富三良 大十郎



一筆  
玻璃 珪  
美五良 米五良  
鬼雀 伊太良  
仲藏 海老藏

市川九藏事市川三猿  
澤村源之助  
可 雛助  
中村梅花  
中村哥二郎  
中村琴三郎  
市川三すし  
市川白之介  
中村かなめ  
中村歌六

市川高麗藏  
あらし玉之介  
市川鯉十郎  
市川鯉まつ  
あらし玉之介  
嵐 璃珪  
市川高麗藏  
あらし玉之介  
市川米五郎  
中山百藏  
市川百藏  
市川小團治  
市川三藏  
あらし冠八  
中山文五良  
市川海老藏



弘化四 未正月吉日ヨリ

座本 市川猿松

前 けいせい飛馬始

後 神靈矢口渡

兵庫館之段 渡し場之段

二月九日ヨリ右切へ付

近江源氏先陣館

鹽賣八ツ目 九ツ目口切

義經千本櫻

道行 忠のぶ 小團次 御殿之段 ちづか 璃 珪

三月十日ヨリ

前 繪合太功記

後 關取二代鑑

切 おそめ 松色 讀 販

江戸下り名殘狂言ニ 市川小團次 七役相勤申

市川小團次江戸表え罷下り御名殘狂言ニ仕ひあかし芝居不入ニて 殘念也嵐吉三郎此狂言中休み兎角中風邪はやり諸芝居とも不入なり 此頃はやる難波新地の見せもの類風邪焼いもの辻賣此三ツなり 兎角世間ハにきわしき事相不替といへとも時節柄にて賣買ハ不景氣なりあかし錢いらすの花見ハはなはだにきわしき事也

未九月吉日ヨリ

けいせい花大樹

卅三開堂棟由來

九月ヨリ一座改

坂東壽太良

尾上梅鶴

市川新十良

市川紅粉介

中山美男

嵐大十良

市川團五郎

小川吉太良

嵐儀三良

坂東八五郎

あらし三壽

嵐吉三郎

嵐三右衛門

嵐かのふ

片岡愛之介

中村哥二郎

山下金作

嵐富三良

中村梅花

中村琴三良

中村かなめ

坂東花升

中村歌六

あらし三かつ

山下菊之介

山下金作

市川紅粉介

中山文七

市川高麗藏

嵐栢藏

嵐儀三良

中山よしほ

市川米五良

市川義助

中山伊太郎

姉川仲藏事 淺尾工左衛門

市川蝦十郎改 坂東壽太郎

市川海老藏

嵐璃珪

嵐吉三良

市川小團次

澤村源之助

中山文五良

中村桂車

嵐壽珪

市川團五良

嵐大十良

市川甚葉

市川紅粉介

中山文七

市川高麗藏

嵐栢藏

嵐儀三良

中山よしほ

市川米五良

市川義助

中山伊太郎

姉川仲藏事 淺尾工左衛門

市川蝦十郎改 坂東壽太郎

市川海老藏

嵐璃珪

嘉永元 申正月吉日ヨリ

座本 嵐珪之助

前 けいせい忍術池

後 楠昔 嘶

みならふて 大切景事 人眞似するや 春興惠曙

三月吉日ヨリ

前 敵討 巖流島

後 染模様妹脊門松

申五月吉日ヨリ

子供座 座本 嵐珪之介

伊賀越乗掛合羽

須磨都源平躑躅

極彩色娘扇

大切 景事 嬬山 姥

申八月吉日ヨリ

座本 市川猿松

此狂言切ニて △坂東壽太郎△嵐吉三郎 退座

五化 嵐璃珪相勤申

けそう文寶 傀らい師 江口のきみ 大當り

どんどこふね舟頭 石橋本げう

此狂言ヨリ

○淺尾與作○嵐馬太郎○嵐芳三郎

江戸岩井盛紫 罷出相勤

中村玉七 三樹稻丸

中村政二良 中村芝太良

市川巳之介 尾上鶴松

中村梅藏 市川猿藏

此時北邊去ル連中ヨリ中村玉七へ

大挑灯五張り出來ル尤印ニ大ナル

△駒ナリ

二の替りより一座改

嵐吉三郎

中山一徳

實川勇枝

あらし加納

中山登み三

片岡愛之介

嵐三かつ

山下里紅

山下金作

市川市十良

市川紅粉介

小川吉太郎

嵐大十郎

嵐儀三郎

市川八升

嵐栢藏

嵐壽珪

中山伊太郎

坂東八五郎

姉川新四郎

淺尾與六

坂東壽太良

嵐璃珪



前三國大市川對戀

切碁太平記白石咄

此度江戸表ヨリ尾上菊五郎罷登り大川橋藏といふ名前  
ニテ出勤致ス尤角の芝居中の芝居兩方かけ持に相勤角  
の芝居へハ前狂言だけ中之芝居へハ切狂言斗り相勤ハ  
所菊五郎俄ニ急病發リ右ニ付角中兩方共急ニ狂言一場  
差加へけいこなしニ相勤ル角の芝居ハ忠臣講釋ハツ目  
口切中の芝居ハ千本櫻すしや場致スすなわち役割左之  
通

矢間十太郎 海老藏 おりへ 三右衛門  
喜多八 現十郎 矢間喜内 助十郎  
喜内女房 文七 乳貫親二 同人  
右之通けいこなしに致ス中も右同斷也中の卷ニ記ス  
なり 急ニ付尤けいこなしニ致ス

太平記忠臣講釋 八ッ目口切

九月吉日ヨリ

前彦山權現誓助劍

後菅原傳授手習鑑

切雙蝶々曲輪日記

九月吉日ヨリ

あらし和三郎 市川市紅  
市川壽美之丞 市川玉藏  
市川かほよ 市川三藏  
市川梅花 市川助五良  
中村梅光 中村桂車  
嵐 橋蝶 中山文七  
嵐 三右衛門 市川海老藏  
中山現十良  
市川猿藏  
市川助六  
坂東三之助  
あらし橋登  
市川紅雀  
市川新十郎  
市川寛右衛門  
大谷廣右衛門  
市川助壽良

申八月一座改メ

嵐 璃寛  
市川市紅  
市川三光  
中村かほよ 坂東三之介  
嵐 璃光 市川玉藏  
尾上榮三郎 あらし橋登  
あらし橋蝶 市川森之介  
嵐 三右衛門 市川海老藏  
大川橋藏  
中山現十良  
中山文七  
市川猿藏  
市川三藏  
市川助五良  
市川助六  
小川紅雀  
大川水鳥  
生島寛右衛門  
市川新十郎  
中村桂車  
大谷廣右衛門  
市川助壽郎

大切ニ加る  
ひらかな盛衰記

申十一月吉日ヨリ子供一座ニテ顔見世

前伽羅先代萩

後義經腰越状

切鬼一法眼三略卷

大切 夕ぎり 廊文章

右吉田屋座敷ニテ手打三番叟座  
附狂言ニ仕組御覽ニ入申し

市川猿藏 市川米藏  
中村雀之介 中村政二良  
尾上鶴松 市川巳之介  
市川高麗猿 市川猿松  
中村梅藏 三樹稻丸



嘉永二歳 酉正月吉日ヨリ

座本 市川龜太良

前花 雪 歌 清 水

此狂言切退座

後契 情 青 陽 鶴

△大川橋藏△淺尾與六△大川三朝△姉川新四郎  
△淺尾與作△三樹五郎兵衛△岩井盛紫

切尾 上岩 藤 後 日 話

尾上菊五郎岩藤ぼうこん役大當り 後狂言青陽鶴  
ニ三七のぶ高役大評判 大和橋之段とり手立者役

者出る中ノ芝居も同斷也はり合ニ致スのぶ高角の方へうち上る 取手役人ニ璃寛  
助十郎與六市紅吉太郎與作新四郎寛右衛門三朝右之通おも役者出勤する中の芝居も  
右ニ同じ中の卷ニ記ス也

四月吉日ヨリ

假名手 本 忠 臣 藏

五月吉日ヨリ子供芝居

同七月吉日ヨリ

娘 景 清 八 島 日 記

基 太 平 記 白 石 噺

ひ ら か な 盛 衰 記

容 競 出 入 湊

小 野 道 風 青 柳 硯

夏 祭 浪 花 鑑

○尾上松緑○大谷廣右衛門  
○小川吉太良 出勤仕

右盆替り子供一座

御 所 櫻 堀 川 夜 討

和 田 合 戦 女 舞 鶴

柴岩林左衛門  
三樹五良兵衛  
坂東榮三郎  
淺尾與作  
大川三朝

酉九月吉日ヨリ

座本 市川玉藏

前狂言 越前 三國 夫婦 塚

尾上多見藏事江戸より

後狂言 梶原 平三 紅梅 鞆

登リ尾張ニ而興行致シ  
又々京都にても相勤此

切狂言 世話料理 八百屋 獻立

度歸り新參御目見え仕  
此切ニて熊谷次郎土産

御目見 須磨 都源 平 躑躅

狂言

九月ヨリ改

生嶋寛右衛門  
姉川新四郎  
淺尾與六  
大川橋藏

酉十一月吉日ヨリ子供一座

座本 市川玉藏

敵 討 巖 流 嶋

重井筒座敷ニテ  
重見せ狂言手打

見 徳兵衛 重 井 筒

役者ヲ御覽ニ入  
申以上

世 松山 千 種 亂 咲

申以上

其 昔 四 谷 怪 談

一 谷 嫩 軍 記

翁 中村仲市 千歳 實川延之助  
三番叟 尾上鶴松

市川猿藏

市川喜代三郎  
中村玉七

市川海老藏



嘉永三 戊正月吉日ヨリ

座本 市川玉猿

二ノ替リ

けいせい遊山櫻

けいせい詠吉野

一谷嫩軍記

雙蝶々曲輪日記

木下蔭挾閉合戦

戊八月吉日ヨリ

座本 市川龜太郎

敵討兄弟標

色時雨浮名朧夜

大切事彩巴松水勢

尾上多見藏 相勤申也

兄弟標ヨリ

○嵐璃寛○三樹梅舎○中山文七

此文七事始メ中山甚吉ト申いなりニ居所此度文七ト改名致し哥舞妓初テ出る也中山文七事中山百藏と改名ス

市川海老藏 嵐璃瑯

浅尾與六 市川市紅

市川海老藏 尾上和市

浅尾與六 市川猿藏

市川海老藏 尾上多磨藏

中村かほよ 尾上多見十郎

尾上松光 浅尾玉六

浅尾勇枝 中山文七

山下里紅 小川吉太郎

山下梅枝 浅尾内匠

山下金作 柴寄林左衛門

尾山松丸 市川徳之介

市川徳之介 市川三藏

尾上多丸 中村桂車

大谷廣右衛門 尾上多見藏

戊十一月吉日ヨリ

座本 市川龜太郎

前菅原傳授手習鑑

切ひらかな盛衰記

右千歳屋座敷ニて手打三番叟座附引合狂言ニ仕組御覽奉入也

嘉永四 亥正月吉日ヨリ

姫競雙葉繪艸紙

唐金茂右衛門 三波茂右衛門 筑笠茂右衛門

當世八文字

此狂言ヨリ  
○片岡我童○片岡市藏○嵐壽瑤 罷出相勤申也  
○中村大吉○中村梅花○中村かほよ○片岡愛之介○藤川八太郎  
○ふじ川八藏○中村琴三郎○中村歌六 罷出相勤申也  
○浅尾爲十郎○片岡蝶十郎○片岡市九郎○中山百藏○片岡我童 罷出相勤申也

可 橋 壽 嵐 璃 寛  
あらし三勝 浅尾内匠  
尾上松之丞 市川新十良  
山下里紅 市川助太良  
山下金枝 尾上多イ藏  
嵐和三郎 浅尾市松  
中村千之助 尾上松丸  
山下金作 尾上多見十良  
あらし徳松  
中山百花  
浅尾與六  
市川助壽良  
市川助六  
嵐大十郎  
市川和十良  
市川助五郎  
あらし才介  
大谷廣右衛門  
尾上多見藏

四月吉日ヨリ子供一座

前妹春山婦女庭訓  
後東海道四谷怪談  
切小野道風青柳硯  
大切夕きり伊左衛門廓文章

玉七 米藏  
和三郎 鶴松  
松太良 雀之助  
巳之介 嶋之介  
猿之介 猿之丞  
一座也



嘉永五 子三月吉日ヨリ

座本 中村雀太郎

けいせい稚兒淵

花雲 佐倉曙

大切翻蝶潤彩色 藤川友吉 中村玉七  
けい事 嵐瑠瑠 相勤申也

當春中の芝居二の替り狂言中程ニテ中村歌右衛門病氣ニ付二三日相休所日ニ増病氣お  
もり二月十七日ニ死去致しニ付一座ノ者當惑致し所玉七ヲ以て替り役清盛切ニ喜撰法師  
文屋安康相勤させ外役ハ一座の内より助させて相勤其後芝居相休み替り狂言差出ス相談  
の所玉七ニ付少々一座モメ合出来ハニ付替り狂言看板出し段々延引ニ成りいかゞの事にや助十郎一座と  
セリ合みなし子の玉七友吉連而退座致スは大五郎始メ玉七へ役付の事について退座する也助十郎玉七引  
立の爲角の芝居で興行致ス相談の所何分甚不座の事故當惑致居所京都より嵐瑠瑠罷り下りハニ付是ヲ  
頼み大座之中とはり合ニ興行致ス尤此度少々もめ合の事故一座相談の上瑠瑠新狂言工風致し切狂言ニ差  
加ヘル也扱此度の事市中一統評判高く玉七ヲ大五郎見放したると沙汰是あり角の芝居ニひいきが付大五  
郎を初め中の芝居一座をにくみ居申所角の芝居初日ヨリ前後切迄市中の受よく大入大あたり別て佐倉  
宗五郎新狂言ゆへ目新らしく怪談事豊島屋の骨折ニテ中の大座ハ甚だ不入角の芝居へうち上ハ一座  
のほまれ別而玉七の仕合也町方にては只中の役者を悪ふ言れて此度めいわくの一番ハ片岡我童也大座の  
上へ這入芝居ハ不入何もあらぬ我童迄町方の請悪く中程ニテ相休み又々相始得共一向不入故半芝居持  
兼仕舞也當時此事町中取沙汰色々のはんこ見立番附出ル也大五郎の致し方悪敷ゆへと皆々にくみて芝居  
不入也然ル所角の芝居東隣より出火ニ付芝居類焼致しぜひなく相休み上京ス全く此度の不入ハ角の不座  
え人氣よる也かつは一座の骨折なるべし中の芝居も類焼ニ付是も上京ス角の一座ハ北 中ノ座ハ南側や  
はりはり合ニ興行致スなれとも玉七瑠瑠ニうち上り大坂同様の事也豊嶋屋の骨折故也誠ニ小手柄也

中村玉七 嵐瑠瑠  
中村梅花 嵐芳三良  
あらし冠之介 嵐瑠瑠  
市川勝三郎 嵐瑠瑠  
尾上當朝 嵐瑠瑠  
嵐瑠瑠 嵐瑠瑠  
中村かほよ 嵐瑠瑠  
藤川友吉 嵐瑠瑠

中村玉七 嵐瑠瑠  
中村梅花 嵐芳三良  
あらし冠之介 嵐瑠瑠  
市川勝三郎 嵐瑠瑠  
尾上當朝 嵐瑠瑠  
嵐瑠瑠 嵐瑠瑠  
中村かほよ 嵐瑠瑠  
藤川友吉 嵐瑠瑠

當時かよふの役ハ此人にとゞめたり京都にては此度の評判大入大當りの瑠瑠働と皆人々評判する也それ  
ゆへ色々の見立はんこ出るナリ  
子十月吉日ヨリ芝居普請出来看板差出ス也尤新芝居の事故三番叟中村玉七相勤る又江戸表より市川九藏  
罷登り久々に御目見へ致ス尤此度改名致シ市川團藏の名跡相續致スよしの口上看板出ル也狂言ハ安部  
仲丸入唐記也後狂言ニ團藏御目見え狂言物艸太郎仕也

新芝居

座本 市川龜太郎

式 三 番 叟 翁 市川白藏 千歳 坂東玉三良  
三番叟 中村玉七

安部仲丸 吉備大臣 金烏玉兔倭入船  
御目見十帖 物ぐさ太郎 業平吾妻下り  
え狂言源氏 關寺小町 江戸下り名残  
後狂言 御羅先代萩 布さらし女 嵐瑠瑠  
所作 花桶新古置土産 上るりごみ太夫 嵐瑠瑠  
大切 嵐瑠瑠此度江戸表へ罷り下り御名残狂言として相勤ム尤春京都  
ニテ名残狂言致スよし申出得共段々延引ニ付急ニ下ルナリ

碁 太平記 白石噺 右差加へ御覽入也

藤川友吉 嵐瑠瑠  
中村梅花 市川白藏  
尾上梅枝 市川白藏  
山下金枝 市川白藏  
嵐三右衛門 市川白藏  
嵐瑠瑠 市川白藏  
坂東玉三良 市川白藏  
中村かほよ 市川白藏  
山下金作 市川白藏

市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠  
市川助十郎 嵐瑠瑠



嘉永六 丑正月吉日ヨリ

座本 中村玉三良

景清曾我賑富士

中村玉七  
中村翫雀  
市川團藏  
罷出相勤申

片岡我童  
三樹梅舍  
市川白藏

一 此度市川海老藏事舊冬罷登りし管之所段々延引ニ相成よふ  
春早々罷り登り申しニ付二の替り延引相なり申段斷り招き看板口上  
看板出ヌ又中村翫雀此度江戸表より罷登り哥右衛門養子と也出勤致  
ス口上ヲ海老藏引合口上言也  
二の替り切△藤川友吉△中村雀右衛門△中村翫雀△中村梅花△中村  
桂車 退座 中の芝居へ行 相勤申

三月吉日ヨリ

裏表廿五段  
返し幕なし

此狂言ヨリ

假名手本忠臣藏

返し幕なし  
角力場之段 米屋之段  
道ゆき

○尾上多見藏  
○尾上いろは  
○浅尾爲十良  
○尾上多見十良

右狂言切ニて一座上京致ス七月廿五日に看板差出所  
尤甚不座多見藏一枚ニて仕口上書水薬の一世一代の  
よし申し折ふし御停止ニて看板隠し有之町々自身番嚴  
重ニ致ス事也其中ニイキリス舟の取沙汰世間騒が敷色  
々の取沙汰有九月廿一日ヨリ鳴物ゆりるゆニ芝居興  
行の拵へ諸芝居とも致ス近々看板出すよし噂ある也誠

八月廿二日ニ出立致ス  
片岡我童 江戸表へ下ル  
中村玉七  
角中かけ持ニ出勤仕

藤川友吉  
市川勝三郎  
山下金作  
藤川勝二郎  
中村ともへ  
藤川花曉  
中村哥保世  
中村大吉  
中村鷺助  
中村玉七  
市川海老藏

市川鯉十郎  
市川市藏  
尾上松之丞  
尾上多見十良  
藤川八藏  
尾上多イ藏  
中村哥次郎  
嵐 大十良  
中村友きく  
尾上當朝  
尾上當朝  
尾上いろは  
市川巳之介  
尾上多磨藏  
中村玉七  
大谷廣右衛門  
嵐 舍丸  
中村壽郎  
笠谷丸國  
中村芝丸  
市川市勝  
中村雀四郎  
大谷馬十  
中村雀右衛門  
尾上多見藏

市川勝三郎  
浅尾爲右衛門  
市川新十郎  
市川三藏  
市川助五郎  
片岡松太郎  
中村壽郎

大谷廣右衛門  
大谷廣右衛門  
市川三藏  
市川助五郎  
片岡松太郎  
中村壽郎

市川勝三郎  
市川白藏  
市川助五郎  
市川三藏  
市川助五郎  
市川團藏

ニ久敷御てらうじにて市中一統甚さひしき事也川竹の甚こまり芝居がりのもの大ニこまる  
事也此節片岡我童江戸表へ罷下りし様子噂あり八月廿二日ごろに出立致しよし

丑九月吉日ヨリ

座本 中山小樂

花櫓千本詠

秀吟七章

梶原平三紅梅鞆

星合寺之段  
中村玉七

相勤申

染模様妹春門松

行道 惠咲室梅曆

中村玉七  
市川市藏  
相勤申

名にあふ敵ハ  
大てきに恐  
れぬハ軍慮の  
手柄ニ敵とて  
あなとられぬ  
ハ御ヒイキノ  
御惠 中村芝  
翫追善狂言



大歌舞妓外題年鑑

中之卷

享保元

中歳ヨリ

座本 嵐三五郎

享保二

酉顔見世

座本 嵐大三郎

十一月二日ヨリ顔見世  
萬代池鶴龜

音羽治郎三  
春山源七

十一月朔日ヨリ  
吾妻造大臺所

小野川卯源治  
市川佐十郎

正月五日ヨリ  
けいせい響の灘

山村歌右衛門  
姉川新四郎

十二月廿五日ヨリ  
蝶花形三國聳入

坂東又三郎  
山中橋右衛門

五月五日ヨリ  
清和源氏懷中筆

桐野谷權十郎  
嵐三十郎

三月十五日ヨリ  
國性爺合戰

金崎茂右衛門  
大嶋道右衛門

七月七日ヨリ  
榮種暮蝶の戦

山下金作  
上村吉彌

五月十二日ヨリ  
假名手本忠臣藏

竹嶋幸右衛門

九月十一日ヨリ  
忍妻浪花色揚

雲浪瀧江

七月廿八日ヨリ  
萬屋助六廓通

佐野川花妻  
嵐大三郎  
尾上左近  
宮崎佐馬五郎  
芳澤玉妻  
萩野八重桐



享保三 戊類見世 座本 澤村長十郎

十一月二日ヨリ  
稻荷屋敷大黒柱  
正月七日ヨリ  
けいせい浅間嶽  
三月十三日ヨリ  
女房の若衆女郎  
大和屋市之丞  
御所長右衛門 大坂心中始  
男ハ吳服金尺  
七月廿五日ヨリ  
相模入道千疋犬

竹嶋幸左衛門  
嵐勘四郎  
市山助五郎  
櫻山四郎三郎  
佐川文藏  
市川宗三郎  
澤村長十郎  
佐野川萬菊  
雲浪和歌野  
山下金作  
金子吉右衛門  
岩井源七  
嵐金三郎

享保四 亥類見世 座本 竹嶋幸左衛門

十一月十一日ヨリ  
住吉延生石  
五月五日ヨリ  
金時三輪車  
五月十三日ヨリ  
八百屋於七戀緋櫻  
七月廿四日ヨリ  
楠三代男士  
八月十日ヨリ  
柳女九重錦

民谷四郎五郎  
櫻山四郎三郎  
佐渡嶋長五郎  
中村新五郎  
藤川十良左衛門  
中村城右衛門  
大嶋道右衛門  
竹嶋幸左衛門  
森島兵太郎  
澤村玉妻  
あらし金三郎  
中村玉柏  
竹中左源太  
嵐三良四郎

享保五 子類見世 座本 竹嶋幸左衛門

十一月十三日  
女大名伊呂波帯  
正月二十五日ヨリ  
平家女護嶋  
七月九日ヨリ  
中將姫  
九月十三日ヨリ  
敵討松山話

姉川新四郎  
民谷四郎五郎  
市山助五郎  
中村城右衛門  
大嶋道右衛門  
竹嶋幸左衛門  
松嶋兵太郎  
袖崎源吾  
山下龜之丞  
大松百助  
百人一首源三郎

享保六 丑類見世 座本 竹嶋幸左衛門

十一月十二日ヨリ  
蓬萊山旭藪  
正月十八日ヨリ  
大大名錦艸摺  
五月六日ヨリ  
鬼嶽千人手綱  
七月七日ヨリ  
契情八棟造  
九月二十八日ヨリ  
攝津國夫婦池

大和山甚右衛門  
櫻山四郎三郎  
中村新五郎  
市山助五郎  
澤村音右衛門  
篠塚十左衛門  
姉川文藏  
竹嶋幸左衛門  
佐の川花妻  
澤村玉妻  
泉川仙之助  
十木萬吉  
山本作彌  
佐の川萬菊  
大松百助



享保七 寅顔見世 座本 竹嶋幸左衛門

十一月朔日ヨリ  
女源氏武者雙六  
正月八日ヨリ  
信劬川中嶋合戦  
三月七日ヨリ  
新板宵庚申  
八月十二日ヨリ  
國性爺合戦  
九月二日ヨリ  
金屋金五郎心中

坂東彦三郎  
櫻山四良三郎  
金子吉右衛門  
市山助五郎  
民谷四良五郎  
篠塚十左衛門  
澤村音右衛門  
坂東又十郎  
竹嶋幸右衛門  
松嶋兵太郎  
藤井若松  
芳澤玉柏  
淺尾十治郎

享保八 卯顔見世 竹嶋幸左衛門

十一月十一日ヨリ  
稻荷山踊 布 袋  
白狐筆  
正月十三日ヨリ  
都鳥伊勢物語  
三月三日ヨリ  
傳法院 錐鑽不動開帳  
根來寺  
四月十八日ヨリ  
高野山女人堂  
七月廿四日ヨリ  
當世仙代袖  
九月十日ヨリ  
庚申の縁記

澤村長十郎  
歌流佐和右衛門  
佐渡嶋長五郎  
金子吉右衛門  
成川十右衛門  
澤村音右衛門  
佐の川花妻  
藤井若松  
芳澤玉柏  
芳澤千代  
山下金作

享保九 辰顔見世 座本 松嶋兵太郎

十一月十二日ヨリ  
忠臣雙葉松  
正月十日ヨリ  
大塔宮 臈 鎧  
三月三日ヨリ  
頼政追善芝  
七月十六日ヨリ  
九劬與治兵衛灘  
九月朔日ヨリ  
夕霧伊左衛門

桐野谷權十郎  
佐渡嶋長五郎  
澤村政五郎  
中山新九郎  
金子吉右衛門  
櫻山四良三郎  
鎌倉平九郎  
篠塚宗三郎  
嵐勘四郎  
澤村長十郎  
松嶋兵太郎  
藤井花松  
芳澤玉妻  
市村玉柏  
花桐豊松  
大和山仙助

享保十一 午顔見世 座本 山本京四郎

十一月十二日ヨリ  
寶來山 姁 松  
十二月廿日ヨリ  
氷腹帶命要  
三月十四日ヨリ  
佛母摩耶山開帳  
七月廿七日ヨリ  
敵討勘助嶋  
九月七日ヨリ  
容競出入湊

中山新九郎  
中村四良五郎  
市村民五郎  
中村勘十郎  
山本彦四郎  
宮崎義平治  
市の川彦四郎  
山本京四郎  
山下龜之丞  
嵐金三郎  
富岡政太郎  
山下松三郎  
芳澤長之助  
芳澤玉妻

〔享保十 巳歳〕

今年大坂大火にて芝居ことくく類焼ニ付休



享保十二 未顔見世 座本 金子吉右衛門

十一月二日ヨリ  
 稻荷館 箱入 大黒銀  
 十二月廿二日ヨリ  
 男 作 五 人 組  
 三月廿日ヨリ  
 東山時 代連 小袖  
 五月廿五日ヨリ  
 北 條 時 頼 記  
 七月十五日ヨリ  
 艶 姿 當 世 模 様  
 東山時代ヨリ  
 座本 大和山仙助ニ替ル

澤村晋右衛門  
 中山十藏  
 杉山勘三郎  
 宮崎儀平治  
 中村藏右衛門  
 中村源左衛門  
 中村四郎五郎  
 桐の谷權十郎  
 芳澤崎之助  
 市村三代之助  
 松山小式部  
 市村玉柏

享保十三 申顔見世 座本 山本京四郎

十一月朔日ヨリ  
 焮 神 相 生 二 葉 山  
 正月五日ヨリ  
 將 棊 軍 法 龍 虎 卷  
 五月十二日ヨリ  
 工 藤 左 衛 門 富 士 日 記  
 七月廿九日ヨリ  
 勢 笏 龜 山 敵 討  
 九月廿日ヨリ  
 相 生 枕 鏡 男

神山小四郎  
 神山四良太郎  
 山本彦四郎  
 山村儀右衛門  
 勝山善五郎  
 藤川半三郎  
 山本京四郎  
 姉川新四郎  
 芳澤玉妻  
 泉川仙之助  
 山本松三郎  
 富澤紋太郎  
 淺尾元五郎  
 佐の川花妻  
 大和山仙助

享保十四 酉顔見世 座本 竹嶋幸左衛門

十一月二日ヨリ  
 君 御 國 大 嶋 臺  
 正月二日ヨリ  
 若 竹 大 江 の 岸  
 五月六日ヨリ  
 丹 笏 爺 打 栗  
 七月廿九日ヨリ  
 おさん  
 茂兵衛 色 曆 浮 名 年 越  
 九月十三日ヨリ  
 本 町 絲 屋 娘

龜谷重治郎  
 竹嶋幸左衛門  
 佐の川榮藏  
 宮崎義平治  
 市川三甫右衛門  
 村山磯五郎  
 大嶋道右衛門  
 晋羽治郎三  
 萩野梅之助  
 かいらき常世  
 淺尾元五郎  
 芳澤玉妻

享保十五 戌顔見世 座本 姉川新四郎

十一月二日ヨリ  
 大 名 館 萬 寶 藏 入  
 十二月廿五日ヨリ  
 山 城 國 糺 會 合  
 五月五日ヨリ  
 柳 ケ 浦 平 氏 合 戦  
 七月廿二日ヨリ  
 伊 勢 日 向 物 語  
 大 切 踊 岬 の 賑

民谷四良五郎  
 岩井半四郎  
 中村四良五郎  
 勝山善五郎  
 宮崎儀平治  
 篠塚嘉右衛門  
 姉川新四郎  
 淺尾元五郎  
 袖岡笹尾  
 尾上菊三郎  
 浪江かるも  
 花桐豊松  
 大和山仙助



享保十六 亥顔見世 座本 岩井半四郎

十一月朔日ヨリ  
陰陽藏 和合中富  
正月十四日ヨリ  
武智十兵衛都錦  
五月十三日ヨリ  
黒船忠右衛門出入湊  
七月二十八日ヨリ  
文月恨切子  
九月十五日ヨリ  
平家女護嶋

姉川新四郎  
嵐三十郎  
岩井半四郎  
中山新九郎  
櫻山四郎三郎  
鳴尾小源太  
桐の谷藤九郎  
桐野谷權十郎  
佐の川花妻  
花桐豊松  
泉川仙之助  
山下金作

享保十七 子顔見世 座本 岩井半四郎

十二月二日ヨリ  
大日本國和合槌  
十二月ヨリ二ノ替リ  
女家老洗髮 河筋内助淵  
三國傾城買  
五月替リ  
昔はなし 楠柯旗上  
七月十五日ヨリ  
夫婦塚薄女郎花  
九月十四日ヨリ  
鬼一法眼三略卷

中山新九郎  
嵐三十郎  
岩井半四郎  
櫻山四良三郎  
藤川半三郎  
三保垣八郎助  
藤川平九郎  
嵐三五郎  
佐の川花妻  
泉川仙之助  
花桐豊松  
豊松竹之丞  
大和山仙助  
山下金作

享保十八 丑顔見世 座本 岩井半四郎

十一月七日ヨリ  
敷島和合鼓  
正月四日ヨリ  
一體分身曾我  
七月一日ヨリ  
益月血汐帷子  
八月五日ヨリ  
八百屋於七戀緋櫻  
九月十五日ヨリ  
三日 日 太平記

嵐三五郎  
櫻山四良三郎  
岩井半四郎  
中山新九郎  
中村宗十郎  
三保崎八郎治  
藤川半三郎  
澤村長十郎  
泉川仙之助  
山下作彌  
三國八十八  
花桐豊松  
山下金作

享保十九 寅顔見世 座本 岩井半四郎

十一月十二日ヨリ  
金館萬歳龜  
正月二日ヨリ  
車街道悴圖  
三月廿一日ヨリ  
新うすゆき物語  
五月十三日ヨリ  
玉津嶋悒氣傳授  
七月廿九日ヨリ  
山脇小鍛冶社  
江島手嬢の里紫式部大内文談

嵐三五郎  
中山新九郎  
岩井半四郎  
嵐三十郎  
中村宗十郎  
三保崎八郎治  
藤川半三郎  
澤村音右衛門  
佐の川花妻  
泉川仙之助  
花桐豊之助  
岩井長七  
山下金作



享保二十 卯顔見世 座本 岩井半四郎

十一月十二日ヨリ  
 本朝舞樂始  
 正月二日ヨリ  
 嶋原小蝶蔦紋日  
 三月廿一日ヨリ  
 津國求女塚  
 五月十三日ヨリ  
 敵討未刻太鼓  
 七月廿九日ヨリ  
 七種秋の野景色

嵐三十郎  
 岩井半四郎  
 中村宗十郎  
 藤川平九郎  
 村山平十郎  
 成見小彌太  
 嵐勘四郎  
 嵐三五郎  
 佐の川花妻  
 富澤常世  
 花桐豊松  
 山下金作

元文元 辰顔見世 座本 岩井半四郎

十一月朔日ヨリ  
 豐穰永代藏  
 正月廿日ヨリ  
 大礮東雲男  
 花髻勢曾我  
 粧坂日暮女  
 四月二日ヨリ  
 安宅甚平蔦山道  
 五月廿八日ヨリ  
 山本勘助記  
 七月廿五日ヨリ  
 文武桔梗原

〔享保廿一改ル〕  
 中村宗十郎  
 岩井半四郎  
 佐渡嶋長五郎  
 松本十平治  
 三保崎八郎助  
 市山泉助  
 村山平十郎  
 藤川平藏  
 佐川文藏  
 嵐勘四郎  
 坂東彦三郎  
 平岡八十八  
 嵐喜代太郎  
 佐渡嶋八三郎  
 津川象五郎  
 山下金作

元文二 巳顔見世 座本 中山新九郎

十一月十日ヨリ  
 不老門金礎  
 正月四日ヨリ  
 猿丸大夫鹿卷毫  
 三月十五日ヨリ  
 けいせい物見松  
 十一月廿八日ヨリ  
 糸仙人袖振山  
 七月十八日ヨリ  
 十二調子廿三夜

中村十藏  
 嵐三十郎  
 中村山三  
 吉田十郎兵衛  
 中村新九郎  
 山下又太郎  
 村山平十郎  
 大松百助  
 藤川平九郎  
 嵐三右衛門  
 泉川仙之助  
 三保木七三郎  
 富澤常世  
 市村玉柏

元文三 午顔見世 座本 中山新九郎

十一月朔日ヨリ  
 深草院山王勅筆  
 正月七日ヨリ  
 おなつ五人女徒髪  
 清十郎  
 三月十一日ヨリ  
 清水清玄始衣櫻  
 五月十五日ヨリ  
 八重霞浪花濱萩  
 七月九日ヨリ  
 八百屋於七戀飛櫻

嵐三五郎  
 中山新九郎  
 山下又太郎  
 藤岡大吉  
 早川磯五郎  
 嵐勘四郎  
 藤川平九郎  
 嵐三右衛門  
 嵐三十郎  
 大松百助  
 市村玉柏  
 生嶋柏木  
 佐の川常世  
 佐の川花妻  
 松嶋兵太郎



元文四 未顔見世 座本 嵐三五郎

十一月二日ヨリ 富士太鼓和合調 藤岡大吉  
 十二月十日ヨリ 伶人舞所作事 嵐三五郎 相勤 澤村長十郎  
 十二月十日ヨリ 大伴黒主歌仙櫻 澤村宗十郎  
 風流道成寺 嵐小六 相勤 市村三甫右衛門  
 一月十五日ヨリ 裾野達紋大儀通 嵐三五郎 藤川半三郎  
 四月三日ヨリ 小栗判官車街道 藤井花松 竹中兵吉  
 五月五日ヨリ 藻屑三平向洗記 柴崎民之助 松嶋喜代崎  
 右切 上六勘當生死親子 富澤金作 吉田萬五郎  
 下ハ敵討前後文郷 津國四貫嶋

元文五 申顔見世 座本 佐野川花妻

十一月朔日ヨリ 風流御前歌舞妓 藤岡大吉  
 同 壹番目世語源氏 津打門三郎  
 同 貳番目女鉢木 竹中兵吉  
 同 三番目大塔宮 櫻山四郎五郎  
 正月廿日ヨリ 宿無團七時雨傘 澤村宗五郎  
 三月廿五日ヨリ 大儀妻小磯娘 大藤内裾野八景 市山菊九郎  
 四月切 四季所作事 座中不殘 市山傳五郎  
 七月二日ヨリ 狹夜衣鴛鴦釵翅 市山助五郎  
 山下金作

寛保元 西顔見世 座本 佐の川花妻

十一月十二日ヨリ 新羅源氏髻軍法 大谷廣治  
 十二月三日ヨリ 太政入道兵庫岬 岩井半四郎  
 三月八日ヨリ 振分髪妻乞曾我 嵐三十郎  
 四月九日ヨリ 大和國非人敵討 山本小平治  
 七月十八日ヨリ 兒櫻莠の合戦 鎌倉平九郎  
 九月九日ヨリ 鳴渡鏗盛街 藤川平九郎  
 大谷廣治 暇乞狂言 芳澤あやめ

寛保二 戌顔見世 姉川新四郎

十一月朔日ヨリ 源氏六十帖 中村十藏  
 十二月七日ヨリ 三軒家後帶今織臺貫嶋 岩井半四郎  
 二月廿二日ヨリ 丹笏笹山敵討 嵐三四郎  
 三月十三日ヨリ 伏見京橋三月十三日年忌 櫻山四良三郎  
 血沙菅舟 市川文藏  
 七月七日ヨリ 熊野御前平紋日 市川半五郎  
 九月十日ヨリ 攝津國湊川合戦 山本小平治  
 十月二日ヨリ切 枕屏風和國八景 鎌倉平九郎  
 けい事 大出来く 中村宗十郎  
 嵐小伊三 三保木七三郎  
 松嶋喜代崎 芳澤あやめ



寛保三 亥顔見世 座本 姉川新四郎

十一月七日ヨリ 浮淵巖昔鏡  
十二月廿日ヨリ 大和國妖燈  
切 黒舟一世一代男  
二月十日ヨリ 津國金王櫻  
五月八日ヨリ 形見尊浮名奥嶋  
舞臺井戸雙鑑  
七月十五日ヨリ 粧武者いろは合戦  
九月十八日ヨリ 花かつらき日向景清  
十月三日ヨリ 筑紫の鵬の倂痣丸  
切 陸奥の餞の亡計の栗

山本京四郎  
嵐三十郎  
山下又太郎  
坂東豊三郎  
澤村宗五郎  
山中平十郎  
嵐七五郎  
姉川新四郎  
山下龜之丞  
小野川龜菊  
大和川明石  
芳澤崎之助  
芳澤あやめ

延享元 子顔見世 座本 姉川新四郎

(寛保四改ル)

十一月朔日ヨリ 式三番扇車  
十二月十八日ヨリ 敵討夕造鳥  
(告カ)  
二月十一日ヨリ 都三十三開堂 當世姿柳女  
梁木由來  
四月七日ヨリ 糸仙人吉野鑑  
七月三日ヨリ 男作後日鑑  
九月九日ヨリ 源平合見臺

中山新九郎  
坂東豊三郎  
山下又太郎  
篠塚治郎左衛門  
姉川千藏  
山中平十郎  
藤川半三郎  
姉川新四郎  
芳澤崎之助  
大和川明石  
嵐小伊三  
嵐小六  
花桐豊松  
篠塚歌桐

延享二 丑顔見世 座本 姉川新四郎

十一月廿二日ヨリ 花情枕軍談  
十二月廿三日ヨリ 揚家合戦三略卷  
正月廿一日ヨリ 大和國非人敵討  
五月十五日ヨリ 祇園祭禮信仰記  
七月十八日ヨリ 敵討金印判

市山助五郎  
岩井半四郎  
大和山甚右衛門  
櫻山澤右衛門  
桐山紋治  
山本小平治  
山中平十郎  
姉川新四郎  
松嶋兵太郎  
松嶋喜代崎  
吉田萬四郎  
小野川龜菊  
姉川大吉  
嵐小六  
津打門三郎  
大松百介

延享三 寅顔見世 座本 市山助五郎

十一月朔日ヨリ 女武者浮淵合戦  
十二月十一日ヨリ 中納言行平好櫻  
二月朔日ヨリ 鳴戸模様千鳥合戦  
五月十日ヨリ 夏祭浪花鑑  
七月十八日ヨリ 扇矢數四十七本  
八月十五日ヨリ けいせい浅閑嶽  
岩井半四郎 暇乞相勤い

嵐七五郎  
坂東豊三郎  
市野川彦四郎  
村上四郎十郎  
市川佐傳治  
姉川千藏  
中村治郎三  
市山助五郎  
岩井半四郎  
榊山小四良  
瀬川染松  
松嶋喜代崎  
姉川大吉  
花桐豊松  
小野川龜菊  
三條浪江



延享四 卯類見世 座本市川龍藏

十一月朔日ヨリ 嵐三十郎  
 源氏武者日出扇 市川團藏  
 十二月十七日ヨリ 坂東豊三郎  
 伏見京橋彌生戰 笹尾音十郎  
 二月九日ヨリ 姉川千藏  
 石橋山鎧櫻 三樹大五郎  
 二橋死出渡 嵐七五郎  
 四月七日ヨリ 中山新九郎  
 大伴系圖百夜錦 岩田染松  
 七月八日ヨリ 市村きの八  
 百合若大臣仲邁 水狂言  
 松嶋喜代崎  
 三條浪江  
 八月十三日ヨリ 市川龍藏  
 菅原傳授手習鑑 山下六三郎  
 九月九日ヨリ 瀬川菊三郎  
 夏祭浪花鑑 中山與三郎  
 都風流大踊 嵐三五郎

寛延元 辰類見世 座本市山瀧藏

十一月六日ヨリ 市川團藏  
 鑷陸奥實記 坂東豊三郎  
 十二月十一日ヨリ 大和山甚右衛門  
 振袖廿不孝 柴崎民十郎  
 正月十五日ヨリ 桐山紋治  
 西國太平記 東海狂言切  
 二月二日ヨリ 三樹大五郎  
 天下茶屋奴系圖 中山與三郎  
 三月廿八日ヨリ 瀬川菊三郎  
 東海道子捨梅 柴崎民十郎  
 岩田染松  
 三月廿八日ヨリ 三樹大五郎  
 義經千本櫻 市村佐野八  
 嵐七五郎  
 八月六日ヨリ 市花里  
 九月八日ヨリ 姉川新四郎  
 黑舟忠右衛門當世姿 三保木富松  
 中村歌右衛門  
 九月廿八日ヨリ 村山平十郎  
 天滿忠藏元錄集 富澤喜代崎  
 出勤  
 十月廿日ヨリ 瀬川菊三郎  
 切女舞劔紅楓 山下六三郎

寛延二 巳類見世 座本坂東豊三郎

十一月十一日ヨリ 三樹大五郎  
 冬籠妻乞軍 市村鬼治  
 大芝居初て出勤新作 坂田市太郎  
 十二月十五日ヨリ 澤村音治  
 戀淵紗絞染 中村團藏  
 右狂言正月北新地一一座引越 村山平十郎  
 大當り 中村歌右衛門  
 四月廿日ヨリ 坂東豊三郎  
 染靴武藏鎧 花桐兵太郎  
 市川瀧藏  
 七月廿八日ヨリ 大和川明石  
 男作養老瀧 松島小紫  
 辰岡玉菊  
 三條浪江  
 市村きの八

寛延三 午類見世 座本中村十藏

十一月十二日ヨリ 桐島儀左衛門  
 風流御所櫻 中村四良五郎  
 十二月七日ヨリ 市川彦四郎  
 心中冬掛鯛 坂東豊三郎  
 二月十日ヨリ 中村團藏  
 浪除山魁柏 坂東國五郎  
 三月十八日ヨリ 中村十藏  
 花筐姉川綴 嵐和歌野  
 嵐松三郎  
 五月五日ヨリ 山下金作  
 仕着模様振袖譜 中村松五郎  
 八月二日ヨリ 山下六三郎  
 潤色江戸紫 芳澤崎之助  
 都風流大踊  
 九月廿日ヨリ 下總國殺生石



寶曆元 未顔見世

〔寛延四改ル〕

十一月朔日ヨリ  
復平家 咲分武者  
十一月十一日ヨリ  
〔化粧武者〕 契情遠山櫻  
近江源氏 江戸瀬川菊之丞三廻忌追善  
中村富十郎 相勤  
三月十日ヨリ  
花供養風流石橋  
三月十日ヨリ  
三人嬢系圖鉢木  
四月十七日ヨリ  
切備後表血汐疊算  
七月十六日ヨリ  
十二調子樽問答  
切風流大踊  
壬七月十六日ヨリ  
芦屋道満大内鑑  
切心中一ツ枕

座本 中村十藏

八月朔日ヨリ  
花筐 誓文月  
九月九日ヨリ  
三軒屋時雨紋日  
十月十日ヨリ  
戀女房染分手綱

三榊大五郎  
市野川彦四郎  
嵐三五郎  
岩井半四郎  
山下治郎三  
中村篤五郎  
松本友十郎  
桐山紋治  
桐島儀右衛門  
中村歌右衛門  
中村十藏  
中村富十郎  
山下六三郎  
市村きの八  
三條浪江  
山下金作

寶曆二 申歳顔見世 座本 中村十藏

十一月二日ヨリ  
袖日記 雙巴  
十一月十三日ヨリ  
賑會 我冬曙  
正月十五日ヨリ  
傾城都富士  
三月廿一日ヨリ  
父ハ峠墨染櫻 九筋苜萱門  
母ハ麓玉屋娘  
切  
高野山女中案内  
七月二日ヨリ  
楫枕 嚴嶋八景  
水狂言  
八月十六日ヨリ  
鬼一法眼三略卷  
切  
雲隱三途の月見  
九月廿三日ヨリ  
男作 五鴈金

三榊大五郎  
中村四郎五郎  
市野川彦四郎  
坂東豊三郎  
山下治郎三  
桐島儀右衛門  
中村歌右衛門  
中村十藏  
三條浪江  
中村歌之助  
三條定助  
佐の川宗吉  
市村きの八  
芳澤崎之助  
小川吉太郎  
生島金藏  
あらし音松

寶曆三 酉歳顔見世 座本 中村十藏

十一月十一日ヨリ  
一谷嫩軍記  
十二月二日ヨリ  
〔南都十三鐘〕 津國十三渡  
河内十三峠  
三月三日ヨリ  
清貫振袖 勢見丸  
希世後紐  
三月廿七日ヨリ  
おちよ 三十三年紅毛氈  
半兵衛  
四月十七日ヨリ  
女非人敵討  
五月廿九日ヨリ  
山椒太夫五人躰

市川團藏  
嵐藤十郎  
市野川彦四郎  
染山宗十郎  
岩井半四郎  
山下治郎三  
山下治郎三  
染川此兵衛  
中村歌右衛門  
中村十藏  
中村蝶之助  
姉川大吉  
小川吉太郎  
佐野川宗吉  
三條浪江  
中村喜代三郎



寶曆四 戌顔見世 座本 市村さの八

十一月朔日ヨリ  
浪花男 都女郎 中富三大臣  
十二月十三日ヨリ  
けいせい衣掛櫻  
芳澤崎之助 左リ文字書大當リ  
壬二月十五日ヨリ  
假名手本忠臣藏  
四月七日ヨリ  
敵討 出口柳  
五月十二日ヨリ  
丹波國助太郎館  
七月廿日ヨリ  
昔繪雙紙萬藹男  
九月五日ヨリ  
倭假名在原系圖  
十月二日ヨリ  
敵討 一休 嘶  
此狂言ヨリ  
中村歌右衛門出勤仕

山本京四郎  
市の川彦四郎  
坂東幾藏  
嵐藤十郎  
坂東豊三郎  
藤川八藏  
桐島儀左衛門  
藤川平九郎  
芳澤崎之助  
市村さの八  
山下六三郎  
芳澤あやめ  
芳澤萬代  
生しま金藏  
大松百助

寶曆五 亥顔見世 座本 嵐三右衛門

十一月二日ヨリ  
天照太神岩戸曙  
十一月二日ヨリ  
道中千貫樋  
中村十藏 岩田染松 桐山紋治  
右狂言切 退座  
十一月十五日ヨリ  
小野道風青柳硯  
八月廿四日ヨリ  
お染 久松戀 苧蘭 盆  
市川鬼治 坂東國五郎 出勤  
小川吉太郎 姉川大吉  
九月十三日ヨリ  
小栗判官車街道  
十月朔日ヨリ  
姉川新四郎 大和國非人敵討  
七回忌追善

中村十藏  
市の川彦四郎  
坂東幾藏  
藤川八藏  
桐山紋治  
三樹大五郎  
藤川平九郎  
岩田染松  
嵐三右衛門  
姉川新太郎  
豊松かるも  
吉田萬四郎  
桐野谷秀松  
三條浪江  
嵐藤十郎  
村山平十郎

寶曆六 子顔見世 座本 坂東豊三郎

十一月八日ヨリ  
時代世話黄の榮  
十二月十九日ヨリ  
村烏廓音色草  
右狂言切ニテ相休

坂東豊三郎  
中山文七  
嵐三五郎  
澤村助十郎  
三名川彌平治  
坂東國五郎  
中村歌右衛門  
中村新九郎  
岩田染松  
嵐三右衛門  
姉川新太郎  
芳澤崎之助



寶曆七

丑歲顔見世

竹田 石井 龜谷 三座之子供役者打寄顔見世興行仕

竹田座

竹田與市 竹田太吉  
同 徳治郎 同 金才  
同 元市 同 槌松  
同 染松 同 門吉  
同 鳴五郎 同 伊勢吉  
同 金五郎 同 清吉  
同 千五郎 竹田嘉吉  
玉川大三郎 中村李右衛門  
花桐豊松

龜谷座

柏井森藏 中村玉藏  
龜谷作八 龜谷嘉吉  
坂東喜藏 龜谷次郎吉  
龜谷松八 同 梅八  
同 友藏 同 彌太郎  
同 新太郎 同 萬助  
同 菊松 同 重吉  
山下龜松 玉川富崎  
嵐國市

石井座

竹田吉三郎 石場音松  
竹田岩松 竹田春藏  
同 七藏 同 百松  
同 萬徳 同 元治  
同 米吉 姉川みなと  
荻野仙藏 坂東菊松  
嵐豊松 姉川外山  
市山源三郎 桐の谷山吾  
姉川ときわ

鬼一法眼三略卷ニツ目

おはつ 徳兵衛 浮名曾根崎 茶屋の段 淀屋橋の段

御所櫻堀川夜討四ノ切

戀女房染分手綱勘當

假名手本忠臣藏 四ツ目 九ツ目

大塔宮 贓 物狂の段

源平布引瀧二ノ切

二ノ替り狂言

男 作 五 鷹 金  
義 仲 勳 功 記  
博 多 小 女 郎  
江 戸 仕 立 倅 曾 我  
翁 草 五 色 英  
雙 手 綱 浪 花 濱 荻  
加 賀 國 篠 原 合 戦  
琵琶湖王代文集  
大 都 大 お ど り

當年中山新九郎あんなに  
り竹田龜谷石井芝居之子  
供役者成人故十五歳以下  
ヨリ相成不申ゆと度々御  
役所へ願上差止メ申ゆ  
濱芝居顔見世始り座摩芝  
居ヨリ濱芝居五段續き始  
メテ安永四年になり是迄  
ハ立見切狂言也  
當年ヨリ竹田吉三郎嵐ト  
改メ大歌舞妓に出勤仕

寶曆八

寅顔見世

座本

姉川新四郎

十一月十日ヨリ 咲分武者紅梅鞆  
十二月二日ヨリ 姫小松子日遊  
正月十五日ヨリ 龍衣廓曙  
三月三日ヨリ 女道成寺名附頭恪氣傳授  
男道成寺  
四月五日ヨリ 男 作 五 鷹 金  
七月十五日ヨリ 業 平 東 下 向  
八月三日ヨリ けいせい飯綱八文字  
夏 紅 葉 血 汐 紋  
九月十二日ヨリ 世話日記元録曆

山本京四郎  
中山門十郎  
中山來助  
中山文七  
竹中兵吉  
坂東國五郎  
坂東岩五郎  
大谷廣治  
中山新九郎  
山下卯源太  
中村小伊三  
三名川才藏  
姉川大吉  
松島兵太郎  
小川吉太郎  
姉川新四郎



寶曆九 卯顔見世 座本 嵐吉三郎

十一月十一日ヨリ  
 四天王力くらべ  
 十二月二日ヨリ  
 前編 鳴瀧 育  
 後編 鳴瀧 育  
 正月十三日ヨリ  
 植野櫻 敵討 禱成就  
 上鋸立  
 五月二日ヨリ  
 奈良都大佛供養  
 此狂言之内 中村桑太郎  
 五月五日類 嵐 歌治郎  
 亂曲 卯の葉衣  
 燒付北ノ新姉川みなと  
 地へ一座引 桐野谷秀松  
 越ス 芳澤崎之助  
 八月十日ヨリ 新芝居立ハニ付  
 庭涼御前歌舞妓  
 翁 中村桑太郎 千歳 嵐 吉三郎  
 三番叟 山下又太郎  
 九月十二日ヨリ  
 銀閣寺 斬始  
 十月三日ヨリ  
 軍法富士見西行

山下又太郎  
 市野川彦四郎  
 嵐 吉三郎  
 山本京四郎  
 藤川半三郎  
 染川此兵衛  
 桐山 紋治  
 市川 團藏

寶曆十 辰顔見世 座本 嵐吉三郎

十一月朔日ヨリ  
 榮會我吾妻丹前  
 十一月十五日ヨリ  
 大臣ハ日本 假名草紙國性翁實錄  
 開夫ハ唐土  
 三月十三日ヨリ  
 日本 熊野山女中案内  
 五月五日ヨリ  
 敵討 崇禪寺馬場  
 七月六日ヨリ  
 平假名盛衰記  
 都風流大おとり  
 九月八日ヨリ  
 東鑑 御狩卷  
 十月二日ヨリ  
 遠茹 中山寺

中村四良五郎  
 櫻山四良三郎  
 松山三十郎  
 嵐 吉三郎  
 山下又太郎  
 藤川 八藏  
 染川此兵衛  
 藤川半三郎  
 桐山 紋治  
 竹中兵吉  
 藤川平九郎  
 中村桑太郎  
 山下宇源太  
 姉川新四郎  
 桐の谷秀松  
 姉川みなと  
 岩田染松  
 芳澤崎之助  
 小川吉太郎

寶曆十一 巳顔見世 座本 姉川新四郎

十一月七日ヨリ  
 三浦大助歳徳詣  
 十二月廿六日ヨリ  
 八文字屋眞鳥軍記  
 正月廿日ヨリ  
 太平記 菊水卷  
 鐘切 鳴今朝の尊  
 三月朔日ヨリ  
 伏見嘩喧 花威血汐船  
 五十年忌  
 四月十四日ヨリ  
 五百番の内 伊豆國嫌娘  
 五月廿日ヨリ  
 夏祭 浪花鑑  
 六月四日ヨリ  
 三河屋儀平治役大當り 淺尾爲十郎  
 右狂言ノ内 六月内停止有 八月上旬迄 休み  
 藤川平九郎 團七替り役 藤川八藏  
 切ニ都風流大踊付  
 六月六日ヨリ  
 夏小袖寄卷披前繪合 嵐難助  
 九月十三日ヨリ  
 女非人 敵討

山本京四郎  
 松山三十郎  
 小川吉太郎  
 藤松三十郎  
 藤川 八藏  
 竹中兵吉  
 染川此兵衛  
 淺尾爲十郎  
 坂東國五郎  
 藤川平九郎  
 岩田染松  
 浪花松之丞  
 嵐 難助  
 山下宇源太  
 嵐 小六  
 大松百助  
 山科新藏

寶曆十二 午顔見世 座本 三樹大五郎

十一月朔日ヨリ  
 聖代武徳弓勢鑑  
 十二月廿二日ヨリ  
 秋葉權現廻船話  
 四月朔日ヨリ  
 御所櫻堀川夜討  
 大切 花扇 邯鄲 枕  
 五月廿日ヨリ  
 男作 五 鴈 金  
 七月十五日ヨリ  
 清水清 玄六道巡  
 九月九日ヨリ  
 義經 千本櫻

中村四郎五郎  
 藤川 八藏  
 嵐 三五郎  
 竹中兵吉  
 山下又太郎  
 染川此兵衛  
 山下治郎三  
 中村歌右衛門  
 三樹大五郎  
 中村桑太郎  
 岩田染松  
 中村さの八  
 嵐 難助  
 嵐 小六  
 桐の谷秀松  
 竝木翁助



寶曆十三 未顔見世

三柵大五郎

十一月十二日ヨリ 千歳中村桑太郎 中村四郎五郎  
 式三番翁 山下金作 嵐三五郎  
 十一月十二日ヨリ 三番叟中村富十郎 竹中兵吉  
 芦屋道満 小槌手妻占 山下治郎三  
 安部晴明 十二月十四日ヨリ 坂東岩五郎  
 井手玉川正平織 十二月十四日ヨリ 染川此兵衛  
 傾城反魂香 二月十四日ヨリ 中村歌右衛門  
 道行田毎月見 三柵大五郎  
 大切石 中村桑太郎  
 五月六日ヨリ 中村富十郎 桐の谷秀松  
 愛護雅名歌勝関 岩田染松  
 七月十五日ヨリ 中村富之助  
 菅原傳授手習鑑 大和山七之助  
 九月廿六日ヨリ 山下金作  
 黒舟出入湊 中村富十郎  
 用明天皇職人鑑 中村富十郎 作者  
 鐘入之段 竹田治藏  
 爲永宗助

明和元 申顔見世

〔寶曆十四歳〕

座本 三柵大五郎

十一月二日ヨリ 上冬籠紅梅鞆  
 中艶源平躑躅  
 下嫩騎千本櫻  
 十二月九日ヨリ 極彩色娘扇  
 景夏年玉室早咲  
 あらし雛助 嵐三五郎 相勤 中村桑太郎  
 中三月三日ヨリ 寐ねこく寐子懐に平家の忍び妻 武者修行鑑傳授  
 土肥とのく土肥か娘の梶原か妾者  
 四月朔日ヨリ 奥 安達原  
 五月六日ヨリ 幼稚子敵討  
 七月十五日ヨリ 一の谷二口切 戀女房四ツ目十目 悪源太三ノ口四ノ切 右悪源太  
 狂言之内ニテ座中不殘大おとり 眞鳥二切四切 大塔宮四口切  
 八月朔日ヨリ 切付享保歳開古外題ニ思ひ付七月下旬坂町若野ノ事  
 八月朔日ヨリ 附り通り筋のそめき哥節と唱哥ハ我身をせめる  
 心の鬼ハ丹波屋のお妻昔の古手 并千日寺の鐘の聲今の新物 文月恨切子  
 四ツト二ツハ我身をさく鰻谷の八郎兵衛  
 九月十日ヨリ 禮服 襪 錦 道行人形仕立 伊兵衛 嵐三五郎  
 佐兵衛 嵐七五郎  
 作者 並木永助  
 同 百花  
 爲永宗助  
 中村吉右衛門  
 嵐三五郎  
 三柵寛藏  
 嵐七五郎  
 坂東岩五郎  
 染川此兵衛  
 三柵大五郎  
 山下金作  
 桐の谷秀松  
 中村富之助  
 嵐 雛助  
 中村桑太郎  
 嵐 小六  
 山下八百藏  
 大松百助



明和 二 酉歳顔見世 座本 三榊大五郎

申十一月朔日ヨリ  
龍宮 城弓勢祝言  
十二月八日ヨリ  
時代新うすゆき物語  
西二月廿四日ヨリ  
切小い板 貳冊物  
色里町中とりく評判のこさり  
升外題ハ則二ツ紋血汐の廣着節  
ハ宮古路國太夫ふし伊達女夫天  
王寺参り扱もくえじやく

四月三日ヨリ  
蛭小嶋 武勇問答  
五月十五日ヨリ  
夏祭 浪花鑑  
七月十五日ヨリ  
勢 勃 阿 漕 浦  
九月九日ヨリ  
蘭奢待 新田景圖

坂東三八  
中村十藏  
嵐三五郎  
嵐吉三郎  
中村吉右衛門  
染川此兵衛  
坂東岩五郎  
中村歌右衛門  
三榊大五郎  
嵐 雛 助  
姉川大吉  
三條浪江  
山下金作  
嵐 小六  
大松百助  
姉川新四郎

明和 三 戌歳見世

座本 三榊大五郎 中村歌右衛門

角之芝居座本中山文七もめ合有之夫ゆへ兩座打込顔見世興行仕仕  
狂言ハ六番續き初日後日ト毎夜替リ

十一月朔日ヨリ  
鶴の丸の軍勢ニ伊豆源氏の出陣  
大座附酒 賑凱歌  
祇園守りの弓勢ニ鞍馬源氏の門出

十二月朔日ヨリ  
咄ニ残る瓦屋橋  
かしく 十七年忌  
瞭ニ残る櫻橋

戊正月十五日ヨリ  
嶋原小蝶 菜種紋日

二月十七日ヨリ  
相馬太郎 孝文談

三月廿七日ヨリ  
惟高親王 魔術街冠

四月十三日ヨリ  
山椒大夫 五人躰

五月十六日ヨリ  
本朝 廿四孝  
廿四孝切ニテ  
△哥右衛門△三五郎△大吉  
△三八△雛助△三勝  
右角の芝居へ出勤ス

七月十六日ヨリ  
男作 後日帷

八月十六日ヨリ  
艶小袖 當世模様

嵐 雛 助  
三條浪江  
生島金作  
山下福太郎  
三榊七五郎  
市川万五郎  
中村千藏  
姉川大吉  
山下金作  
桐の谷秀松  
坂東豊吉  
あらし松之助  
中村玉柏  
嵐 三勝  
嵐 小六

中村團藏  
中山新五郎  
坂東岩五郎  
桐島儀左衛門  
三榊大五郎  
中村十藏  
嵐 藤十郎  
嵐 三五郎  
坂東三八  
姉川新四郎  
中村吉右衛門  
嵐 吉三郎  
嵐 七五郎  
市の川彦四郎  
三榊貫藏  
山下治郎三  
染川此兵衛  
坂東豊三郎  
中村歌右衛門

作者 英 露 鳥  
並木利介  
同 十 介  
並木正三



明和四 亥顔見世

座本 中村歌右衛門

十一月朔日ヨリ 上の句ハ那須野の白狐

八月朔日ヨリ 古戰場 鐘掛の松

日本歌 絆勢 矢車

五月廿五日ヨリ 戀女房 染分手綱

十二月朔日ヨリ 祇園祭 禮信仰記

八月廿三日ヨリ 河内の國植田古跡 近代女非人敵討

正月廿日ヨリ けいせい 陸玉川

九月朔日ヨリ 新梅切 十六夜名殘姿見

四月十九日ヨリ 是ハ松若丸ハ關屋の里の曙 木母寺の因縁 粧 柳 塚

秋切 葉權現廻船 漸 中村歌右衛門 上京暇乞ニ任ル

抑此新狂言ハ人皇六十三代村上天皇の朝に初冠せし吉田少將雅房といへる和漢の才人家に一子なきを愁ひて夫婦日吉の神へ參籠し丹誠の祈りをなし一子を生ズ故ありて父におくれ大津の浦にさまよひけるを信夫の藤太といへる人商人に買とられ東へ下り彼藤太が杖ニ死ス一首の哥に 尋來て問ハ

答へよ都鳥隅田川原の露と消ぬと 詠し殘せし談を岡本竹本淨るりに綴り是迄度々御覽ニ入ルハ共此度天鷲寺におひて開帳ある畫ときにならひ三卷の哥舞妓に添削し忠圓禪師開ひやくせし梅柳山木母寺の故事迄を取組三ノ替りの外題成すと云々 座本 中村歌右衛門

七月十六日ヨリ 江戸紫色上 京の水淺黄 大坂の紅綾 三ヶ津神夏評判

十月三日ヨリ 三拾石燈始 中村十藏 上京暇乞

三榎大五郎  
嵐三五郎  
三榎他人  
嵐吉三郎  
中村吉右衛門  
染川此兵衛  
坂東岩五郎  
中村歌右衛門  
中村十藏  
澤村國太郎  
あらし仙之介  
姉川大吉  
あらし哥五郎  
中村玉柏  
中村富十郎  
山下又太郎  
並木利助  
長谷村直七  
吉井勢平  
並木十助

明和五 子歳顔見世

座本 三榎他人

十一月二日ヨリ 觀世流の巻水金青流の輪違 金剛流の銀石餅保昌流の雲形 四天王舞鶴扇子

十一月廿五日ヨリ 歌 枕 棗 棠 合 戰

子正月五日ヨリ けいせい 邯鄲枕

三月十日ヨリ 小野道風 青柳硯

五月十一日ヨリ 義經 腰越 狀 大序ヨリ三段目迄 藤川八藏退座

廿八日切付 久松 時花服嫁入模様

七月十六日ヨリ 攝津に面影瀧 越後に姿見瀧 殿下一鏡始

八月一日ヨリ 黒舟出入みなと

九月十日ヨリ 北條 時頼 記

大切 女 鉢 木 白妙 中村富十郎 源左衛門 三榎他人 相勤申比

京鹿子娘道成寺 中村富十郎 相勤

藤川八藏  
藤松三十郎  
坂東岩五郎  
嵐吉三郎  
三榎他人  
染川此兵衛  
中村吉右衛門  
山下岩五郎  
三榎大五郎  
姉川大吉  
山下八百藏  
中村千藏  
加茂川野汐  
山下伊勢の  
中村富十郎  
天満屋文七  
並木久助  
若竹笛射



明和六

丑顔見世

座本 三桙他人

十一月二日ヨリ  
 高名大福帳  
 中山文七  
 三桙他人  
 藤松三十郎  
 坂東岩五郎  
 市の川彦四郎  
 染川此兵衛  
 嵐金才  
 中山新九郎  
 三桙大五郎

三月二日ヨリ  
 契情里の苧環  
 市の川彦四郎

四月八日ヨリ  
 繪入一谷嫩軍記  
 中山新九郎  
 三桙大五郎

五月二十一日ヨリ  
 媚茶染緑出小紋  
 山下金作  
 山下半太夫

六月十一日ヨリ  
 太平記忠臣講釋  
 澤村國太郎  
 花桐豊松

七月廿一日ヨリ  
 二櫛蓮の紋日  
 澤村國太郎  
 出勤 佐の川花妻

九月朔日ヨリ  
 御所櫻堀川夜討  
 芳澤あやめ  
 姉川菊八  
 太中山與三郎

景夏  
 花扇邯鄲枕  
 澤村國太郎  
 相勤

十月六日ヨリ  
 黒船忠右衛門  
 獄門庄兵衛  
 投被名物男  
 並木十介  
 竹本三郎兵衛

明和七

寅顔見世

座本 中山與三郎

十一月朔日ヨリ  
 寅一天三略卷  
 藤川八藏  
 小川吉太郎  
 あらし金才

十二月十日ヨリ  
 小吟彦三愛物三番續  
 市の川彦四郎

浮名枯柳  
 二月七日ヨリ  
 けいせい咬啗吧戀文  
 坂東岩五郎

三月四日ヨリ  
 小栗判官車街道  
 大序より  
 三段目迄  
 山村光藏  
 中村文七

袖かけて二世の姫松  
 四月十四日ヨリ  
 敵討巖流島  
 澤村國太郎  
 中山與三郎

五月十三日ヨリ  
 近江源氏先陣館  
 花桐豊松  
 市川吉太郎

七月十三日ヨリ  
 秋津島九州  
 雷大坂勢相撲番組  
 三桙大五郎  
 坂東岩五郎

鬼ヶ嶽仙臺  
 八月一日ヨリ  
 行平磯馴松  
 嵐金才  
 貫藏  
 退座

九月十五日ヨリ  
 芦屋道満大内鑑  
 並木十助  
 並木永助

明和八

卯顔見世

座本 小川吉太郎

十一月二日ヨリ  
 眞一文字魁評判  
 中村歌右衛門  
 坂東又太郎

十二月廿七日ヨリ  
 桑名屋徳藏入船語  
 あらし金妻  
 小川吉太郎

大切所作事  
 面影六歌仙  
 中村桑太郎  
 相勤

此切にて立役女形座附口上あり  
 卯三月十九日ヨリ  
 清水清玄行力櫻  
 此狂言開△  
 三桙大五郎  
 坂東岩五郎

右狂言切にて相休一座勢効へ  
 行 八月戻り左ノ狂言ヲ出ス  
 △中村歌右  
 衛門相休み  
 三桙豊藏

六月七日ヨリ  
 女鳴神  
 酒迎御馳走躰妓  
 ○中村歌右  
 衛門出勤  
 市川吉太郎

八月朔日ヨリ  
 妹春山婦女庭訓  
 此狂言切△  
 三桙大五郎  
 中村桑太郎

九月朔日ヨリ  
 三年忌 一休 漸  
 並木十助  
 並木正三

切  
 小いな  
 半兵衛  
 宮園節近江八景

安永元

辰顔見世

座本 市山助五郎

十一月四日ヨリ  
 中陸妹龍宮嶋臺  
 江戸 市川音十郎  
 三勝事 嵐七三郎

正月五日ヨリ  
 三千世界商往來  
 嵐久五郎

此狂言○中村富十郎出勤任  
 三月十七日ヨリ  
 近江源氏艦講釋  
 市山助五郎  
 市野川彦四郎  
 中村歌右衛門

五月廿一日ヨリ付  
 切桂川連理柵  
 京 中村四郎五郎  
 中村新五郎  
 坂東岩五郎  
 藤川八藏

おはん 市山助三郎 相勤  
 長右衛門 藤川八藏

七月六日ヨリ  
 凱平家物語  
 佐野川花妻  
 榊山千菊  
 市川吉太郎

桂川連理柵  
 右狂言看板斗にて不仕  
 花桐豊松  
 姉川菊八

増補播劔皿屋敷  
 京 中村喜代三郎  
 江戸 名川龜助  
 並木正三  
 市山富三郎



安永 一 巳顔見世 座本 中村歌右衛門

十一月二日ヨリ

尾上菊五郎不登嚟

菊五郎罷り登りし看板出しし處  
不登依而狂言ニ取組顔見世仕仕

十二月三日ヨリ

新うすゆき物語

日本第一和布刈神夏

作者竝木正三右狂言中ニ急病ニ  
而死ス

四月十七日ヨリ

夏祭 浪花鑑

所作事 身替調 小町文章

粧姿 白狐通

中村余太郎 相勤し

七月廿二日ヨリ

極彩色 娘扇

八月十九日ヨリ

松下嘉平治連歌評判

十月二日ヨリ切付

後榮 初音調

上京暇乞 中村余太郎相勤申し

坂田半五郎

嵐七三郎

嵐文五郎

市山助五郎

嵐吉三郎

中村歌右衛門

藤川柳藏

市川新五郎

市川宗三郎

坂東岩五良

藤川八藏

中村松江

市山富三郎

中村玉柏

三樹徳二郎

花桐豊松

中村余太郎

竝木正三

奈川龜助

寺田兵藏

爲川宗助

安永 三 午顔見世

座本 嵐 松次郎

十二月六日ヨリ

大當 百疋山

梅幸集ニ言 辰の暮より大坂中村歌右衛門座へ  
登るとして看板も出たれともいかに間違しや市村  
座居なりと聞て大坂も力を落し事されとも顔見  
世外題と尾上菊五郎不登嚟と出しておくれたる  
故ニ趣向と成程の聞へ有勢ひ成しか漸々此之年  
の暮に大坂登りの相談かたまりしとて先例に任  
して暇乞狂言も忠臣藏に替しぬ二役又早野勘平  
との三役やはり沙汰よく前年に替らす大入ヲ取  
名残もいよ／＼惜まれて旅立て安永三年午歳大  
坂へ三十二年ふり十月廿六日の乗込勢ひ花々敷  
川舟飾りも頼おひたし敷して若手／＼も別舟ニ  
て迎ひ／＼に出る舟は前いつ／＼合舟幕染立舟と  
ハ吹抜幟を立てはやし賑ひして舟陸とも人羣集  
いふも更也此後大坂乗込の迎舟ハ凡此幕幟なそ  
を用ひて是を賑ひの例の始ともなりし程の事ぞ  
かし

尾上菊五郎  
番附ハ留筆也

四月廿日ヨリ

美濃庄九郎花街軍配

△藤川八藏  
△同 柳藏  
退座

五月十七日ヨリ

近江源氏先陣館

六月六日ヨリ一夜ニ付

突殺噂の廿八夜

右狂言ハ難波新地福富の藝子と上町邊の息子の  
心中 狂言ニ作す也

八月朔日ヨリ

敵討 巖流島

九月廿七日ヨリ

菅原傳授手習鑑

當年中梅幸之噂のみ高く忠臣藏の大入大當りを  
取事さすかハ三ヶ津の立者也と色町ハ申ニおよ  
ばす市中一統評判致ス也故ニ當り振舞福屋ニテ  
有しよし珍重也

尾上菊五郎

藤川柳藏

坂田市松

市山助五郎

嵐七三郎

嵐吉三郎

中村歌右衛門

中むら新五郎

市川宗三郎

坂東岩五郎

藤川八藏

姉川大吉

市川市太郎

嵐松次郎

三樹徳二郎

尾上余助

生島柏木

嵐 雛助

作 爲川宗介

奈川龜介

巳十二月三日ヨリ午四月三日迄

假名手本忠臣藏

大入大當り巳十二月三日より午三月廿三日迄日  
數九十五日開棧敷賣高壹萬四千四百九十五開半



安永四 未顔見世

座本 嵐松次郎

十一月廿四日ヨリ

御所櫻堀川夜討

翁 坂東岩五郎 千歳 市山助五郎

花衣いろは縁記

三番叟 藤川八藏

中村十藏江戸表ヨリ延着ニ付漸々廿二日乗込致され故御所櫻の役わりもれ末ニて片岡八郎役ニて延着の口上ヲ述御國哥舞妓趣向として切ニて鶯の段山中左衛門やく片岡八郎ニて相勤 小繁役靜御前ニて相勤申也

十二月十七日ヨリ

秋葉權現廻船噺

未正月廿五日ヨリ

おふさ 尾上糸助 徳兵衛 中村十藏

糸十相傘

徳兵衛 中村十藏

右狂言ハ未正月土佐堀ニて心中 長堀河内屋六三郎 嶋の内大村屋いと取組狂言也

四月五日ヨリ

競伊勢物語

大入大當り

七月十六日ヨリ

男作五鴈金

△中村歌右衛門 △中村喜代三郎 退座

夕涼浪花大踊

四天王(寺)伽藍鑑

九月朔日ヨリ

大つゝみ 小つゝみ 同 尾上徳二郎 藤井花咲 市川市太郎 市山源之介

中村十藏 藤川柳藏 市山助五郎 中村重次郎 中村歌右衛門 藤川八藏 三樹他人 市川宗三郎 坂東岩五良 三樹大五郎 三樹徳次郎 市山源之助 三樹喜代三郎 中村喜代三郎 藤井花咲 市川市太郎 尾上糸助 辰岡萬助 奈河龜助

安永五 申顔見世

座本 三樹松之助

十一月一日ヨリ

萬惠天目山

十二月二日ヨリ開替り

假名手本忠臣藏

二月七日ヨリ二ノ替り

北條五代記會説

三月十九日ヨリ切付

昔追風出入湊

△三樹大五郎△同他人 退座

四月十九日ヨリ

夏祭浪花鑑

五月十五日ヨリ切付

姫山姥五百機錦

嵐雛助 同小六 相勤也 此狂言より座本嵐七三郎ニ替ル

七月廿四日ヨリ

一谷嫩軍記

文月恨切子

九月十六日ヨリ

戀女房染分手綱

十月八日ヨリ

織合襪樓錦

姫小松子の日遊

嵐吉三郎 上京仕御暇乞狂言仕也

市山源之介事

嵐雛助 澤村宗十郎 嵐文五郎 嵐吉三郎 桐山紋次 坂東岩五郎 三樹他人 三樹大五郎 三樹徳二郎 市川市太郎 中村吉之介 姉川大吉 嵐雛次 尾上糸助 竝木吾八 奈河龜助



安永六 西顔見世

座本 嵐七三郎

十二月二日ヨリ  
源氏魁討出兒槌

此節竹田の芝居も伊賀越致ス大當り也政右衛門  
竹藏 丹右衛門他藏 又五郎伊三郎也

十二月一日ヨリ西四月十八日迄大入大當り  
伊賀越 乘掛合羽

右狂言大當 日數百四十五日打也

四月廿日ヨリ  
伽羅 先代萩

當狂言ヨリ役者給銀の渡りと云ふ事始る其子細  
ハ銀主長柄屋新兵衛伊賀越大入大當りニ付大銀  
をもふけ是切ニて仕打を相止メ夫故打續て興行  
も成かたくり所中山來助工夫をして一座一人も  
退座致させ給銀を五日目ツ、に切拂ひにして  
拂ふ事と成ぬ是を渡りと唱ふる當代十日目十二  
日目十五日目などにして拂ふ事と成ぬ右狂言も  
伊賀越同様に大入大當りニ付一座大によるこぶ

五月廿五日ヨリ切付  
おはつ 徳兵衛 十七廻忌薦膳

七月七日ヨリ  
伏見京橋諍實錄

鈴木夫

九月十八日ヨリ  
近江源氏繪講釋

サヌキ

呼子鳥 琴逢義

又太郎 中村槿五郎  
中山文七

十月五日ヨリ  
本朝二十四孝

十月五日切付

三石 燈始

江戸下り暇乞

錢別 筥入人形

澤村宗十郎  
上京暇乞

關源氏再來同

中山來助  
中山文七

立役  
嵐七三郎

並木十助  
奈河龜介

中村歌右衛門

澤村宗十郎

嵐三十郎

嵐文五郎

中山來助

桐山紋治

中村治郎三

淺尾爲十郎

中山文七

花桐豊松

市川市太郎

中村徳五郎

姉川大吉

嵐松次郎

尾上象介

安永七 戌顔見世

座本 市山太二郎

十一月三日ヨリ

大自在 雷子寶貨

十二月廿三日ヨリ

けいせい 素袍臺

四月五日ヨリ

小栗判官車街道

臺頭 綠色幕

五月六日ヨリ

蘭奢待 新田景圖

七月十七日ヨリ

繁花地豪傑會合

大切 風流大踊

壬七月廿七日ヨリ

源氏 物草太郎

九月十一日ヨリ

菅原傳授手習鑑

大序口切  
三ノ口

十月三日ヨリ

大津繪譽筆勢

線り座敷由縁十徳 物狂之段

攝津國長柄人柱 四ノ口切

大切 風流浪花大踊

梶久松山  
吃又平

上京暇乞

嵐文五郎  
音八

上京暇乞

嵐三五郎  
嵐文五郎  
澤村國太郎  
相勤

嵐三五郎

嵐文五郎

嵐音八

嵐三十郎

中村歌右衛門

中村治郎三

三榊松五郎

坂東岩五郎

嵐吉三郎

三榊徳次郎

市川吉太郎

中村槿五郎

山下龜之丞

澤村千鳥

澤村國太郎

作 奈河龜助



安永八 亥顔見世 座本 山下龜之丞

十一月十日ヨリ 時爾當代仙人鑑

亥正月五日ヨリ三月二日迄

唐土日本往古圖

大切増補夢日高川

四月廿八日ヨリ六月五日迄

便飛脚花街往來

八月朔日ヨリ

赤坂城阜月合戦

嵐吉三郎上京暇乞

火桶の摺り物配る

十三里あたりつゞけの

火燧かな

翌歳子年十二月八日死去

〔安永九子歳〕芝居休み

藤松三十郎事

三保木儀左衛門

中村治郎三

今村七三郎

山下權十郎

生嶋重治郎

中村歌右衛門

中村岩藏

坂東岩五郎

中嶋三津右衛門

嵐吉三郎

三樹徳次郎

市川吉太郎

中村喜代三郎

山下龜之丞

中村植五郎

姉川大吉

作 春木元助

福田勢三

天明元 丑顔見世 座本 藤川山吾

十一月五日ヨリ 十一月五日ヨリ もふくよかろ丑御執達

十二月十一日ヨリ

加賀見山廓寫本

丑三月三日ヨリ

昔語二世の倂

右狂言中三月十三日夜焼失ニ付一座不殘

大西芝居へ引越ス四月ニ南都へ一座行

五月廿二日ヨリ

時今五月再興

壬五月十六日ヨリ

愛護雅名歌勝鬨

大切心中宵庚申

七月廿一日ヨリ

北條時頼記

下總國累物語

都風流大踊

尾上新七

染松七三郎

山下國四郎

三樹他人事

嵐文五郎

三樹大五郎

山村儀右衛門

改名

坂東岩五郎

三樹松五郎

三樹他人

嵐七五郎

三保木儀左衛門

三樹徳次郎

三樹音吉

藤川小伊三

藤川山吾

嵐村次郎

山下金作

天明二 寅歳 顔見世休 座本 山下金作

十二月十六日ヨリ二ノ替り

住吉 奉納 連歌茶屋譽文臺

當狂言角中同狂言張合ニ仕

寅四月一日ヨリ

けいせい 實語教

大切七化所作事

三保木儀左衛門 相勤

右狂言切ニテ相休み一座上京

同狂言出し切狂言味春門松大

當り大入日數九十日斗打大坂

へ飯るなり

三保木儀左衛門

染松七三郎

江戸山下又太郎

嵐文五郎

坂東岩五郎

今村七三郎

嵐七五郎

中村歌右衛門

尾上民藏

あらし房二郎

澤村國三郎

姉川大吉

嵐村二郎

山下彌太郎

山下金作

嵐 他人

作 増山金八

奈河七五三助



天明三 卯顔見世

十一月二日ヨリ  
圖花萬國渡海  
圖乗多萬國渡海  
ト替るなり

十二月三日ヨリ  
足利御免歌舞妓亥始

正月十五日ヨリ  
假名手本忠臣藏  
大入大當リ

四月朔日ヨリ  
競伊勢物語  
嵐七五郎休み  
高安左衛門役 坂東岩五郎勤

七月九日ヨリ  
織合襪樓錦  
佐兵衛 三保木儀左衛門 相勤  
伊兵衛 嵐三五郎 相勤

源平布引瀧  
大切所作事  
彩色拍子倭繪姿  
山下八百藏 嵐三五郎 相勤

座本嵐 他人

中村富世事

八月十五日ヨリ  
布引瀧 拔花平家物語  
鬼一法眼

九月十二日ヨリ  
優然染座敷八景

九月十三日ヨリ  
秋葉權現廻船嘶  
中村歌右衛門事

伊賀越道中雙六  
揚卷 助六 つけれ 嘶  
あけ巻 山下金作 相勤  
助六 嵐三五郎 相勤

嵐三五郎  
中村京十郎  
山下又太郎  
嵐文五郎  
三保木儀左衛門  
嵐七五郎  
あらし三八  
坂東岩五郎  
加賀屋歌七  
尾上菊五郎  
嵐三右衛門  
あらし村次郎  
尾上丑之助  
三樹徳二郎  
姉川大吉  
尾上民藏  
市川市太郎  
山下八百藏  
奈河龜助  
奈河七三助

天明四 辰年顔見世

十一月十一日ヨリ  
蘭菊女夫狐狂言盡  
△三保木儀左衛門 退座  
狂言中途ヨリ三保木角へ行  
家主三保木替り役 岩五郎勤

十二月朔日ヨリ  
平假名盛衰記  
尾上菊五郎十二月廿九日死去  
重忠役菊五郎替り 三五郎勤  
延じゆ同人役替り 新平  
翌年開正月ニ梅幸集出ス

辰年正月十五日ヨリ  
けいせい倭莊子  
正月八數改ル  
嵐三五郎  
嵐七五郎  
中村京十郎  
三樹大五郎  
吉田屋ノ段  
嵐三八

三月下旬ヨリ  
高野山 雉髮學文路  
九百五十年忌  
大切 高野山女中案内  
右狂言看板斗ニて不仕

坂東岩五郎  
淺尾爲十郎  
尾上新七

座本嵐 他人

四月十九日ヨリ  
雙蝶々曲輪日記  
雙蝶々切ニて  
△三五郎 退座  
△國太郎

五月十五日ヨリ  
敵討一休嘶  
桂川切ニて  
尾上新七退座

桂川連理柵  
おはん 尾上丑之介  
長右衛門 尾上新七  
相勤

九月十七日ヨリ  
稲光田毎月  
○三保木儀左衛門  
○中村京十郎  
○中村京十郎  
○染松七三郎  
○加賀屋嘉七  
○奈河七三助  
出勤仕

八月四日ヨリ  
極彩色娘扇  
十月吉日ヨリ  
日本花赤城鹽竈  
右狂言看板斗ニて不仕

嵐三五郎  
嵐七五郎  
中村京十郎  
三樹大五郎  
三保木儀左衛門  
嵐三八  
坂東岩五郎  
淺尾爲十郎  
尾上菊五郎  
山下八百藏  
尾上民藏  
市山太二郎  
嵐房二郎  
嵐三右衛門  
澤村千鳥  
尾上丑之助  
嵐村二郎  
澤村國太郎  
筒井平三  
並木五瓶  
並木十介



天明五 巳顔見世 座本 中村糸太郎

十一月晦日ヨリ

中儲乙子顔見世

△山下金作 いせ行

△中村歌七 病氣ニ付退座

△嵐三右衛門

巳正月廿五日ヨリ

傾城正月陣立

大切所作事

七化七草拍子

○岩井半四郎 相勤

四月初日ヨリ

善女の戀姫

○嵐新平 出勤

戀の闇卯月紅葉

右狂言中四月十三日夜角の芝居

ヨリ出火ニて類焼ニ付狂言其儘

若大夫芝居嵐他人座へ引越ス普

請中大西の芝居ニて興行致し

姉川新四郎

染松七三郎

江戸市山助五郎

江戸三國富士五郎

三樹大五郎

中村治郎三

嵐三八

加賀屋歌七

江戸松本幸四郎

嵐三右衛門

嵐房二郎事

中村糸太郎

山下千藏

山下金作

市山太二郎

江戸尾上小四郎

江戸岩井半四郎

作 奈河七五三介

同 龜介

天明六 午歳三月普請出来 座本 中村のしほ

三月廿一日ヨリ

和田合戦女舞鶴

釜淵雙級巴

江戸へ歸る△松本幸四郎

五月十一日ヨリ

和訓水滸傳

可 雜助

嵐七五郎

三樹大五郎

京屋三八

加賀屋歌七

中村京十郎

姉川大吉

退座

浅尾爲十郎

岩井半四郎

三樹松五郎

中村次郎三

尾上民藏

生島十次郎

中村吉藏

中村友三

毛 出勤仕し

嵐 雜介

可 秀之介

藤川菊松

京屋山八

浅尾爲十郎

岩井半四郎

三樹松五郎

中村次郎三

尾上民藏

生島十次郎

中村吉藏

中村友三

毛 出勤仕し

天明七 未顔見世

十一月十七日ヨリ

如虎石橋福貴英

十二月十二日ヨリ

伊賀越乗掛合羽 ○嵐文五郎 出勤

正月十五日ヨリ

太功真顯記 ○可 雜助 出勤

用明天皇鐘入之段

八月廿六日ヨリ

大塔宮曦鎧

桂川連理柵

九月廿五日ヨリ

碁太平記白石嘶

お染袂の白絞

久松

○尾上新七

○中村治郎三

○中村京十郎

○山下權十郎

○中村友三

○山下龜之丞

○三樹大五郎

出勤仕し

座本 坂東岩五郎

三保木儀左衛門

中山來助

中山兵太郎

中山多藏

可 雜介

浅尾爲十郎

浅尾仲藏

中山文五郎

坂東岩五郎

加賀屋歌七

花桐鶴藏

中村糸之介

市川大三郎

姉川大吉

浅尾彌太郎

浅尾富三郎

山下金作

作 竝木五兵衛



天明八

申顔見世

座本 中山福藏

十一月十一日ヨリ

意馬心猿歳顔

此切ニテ

尾上新七

退座仕

十二月八日ヨリ

加賀見山廓寫本

芳澤いろは

中村他藏

二月十六日ヨリ

小野道風青柳硯

山下龜之丞

市川門三郎

けいせい忍術ヶ池

市川團藏

右三人看板出得共團藏病氣ニ付二月十六日

三月十三日ヨリ

小野道風青柳硯

○中村十藏出勤

○中村十藏病氣ニ付

大門口鎧襲

可 雛助

淺尾爲十郎

替り役 中村京十郎

出世山姥旭面影

相勤申

中村十藏病氣ニ付

九月十一日ヨリ

高臺橋諍勝負附

三榊徳二郎

△加賀屋歌七

六月朔日ヨリ

菅原傳授手習鑑

二ノ口切

中村四郎八

當狂言切盆替り相休顔見世迄興行なし

四ノ口切

嵐光五郎

片岡仁左衛門

△淺尾爲十郎

兩人退座

竹本三郎兵衛

近松徳更

寛政元

西顔見世

座本 市山太治郎

十一月朔日ヨリ

歳司 酉新興

十一月十七日ヨリ

源氏物草太郎

△片岡仁左衛門

上京退座

切

新うすゆき物語

清水場

鍛冶屋場

正月十八日ヨリ

けいせい北國曙

○三榊松五郎

加賀屋歌七一世一代相勤

切

織合襪褌錦

正月場

非人段

三月廿一日ヨリ

大振袖粧の湖

△司 雛助

△山下八百藏

五月五日ヨリ

四天王(寺)伽藍鑑

△山村儀左衛門

△中村四郎八

切

追善時雨の松

退座

退座

九月一日ヨリ

けいせい蝦夷錦

○姉川新四郎

○市川八百藏

九月廿二日ヨリ

菅原傳授手習鑑

○吾妻藤藏

出勤

切

呼子鳥大内景圖

○三榊大五郎

出勤

可 雛助

中村京十郎

嵐 新平

中村十藏

關三十郎

山村儀右衛門

中村四郎八

坂東岩五郎

片岡仁左衛門

加賀屋歌七

山下八百藏

市山太次郎

淺尾彌太郎

あらし源之介

嵐安二郎

可 秀之助

中村条之介

山下金作

作 奈河龜祐

辰岡萬作



寛政 一一 戌顔見世

座本 淺尾彌太郎

十一月十一日ヨリ  
 けいせい 稚兒ケ淵  
 翁 嵐安治郎 千歳 瀬川菊三郎  
 三番叟 中山一徳  
 大切化粧六歌仙 可 難助  
 澤村國太郎 相勤  
 十二月廿八日ヨリ  
 けいせい 佐野船橋 △可 難助  
 △澤村國太郎  
 △關三十郎  
 三月廿五日ヨリ  
 増補兜軍記 ○山下八百藏  
 ○尾上新七  
 ○尾上新七  
 ○淺尾仙之介 出勤  
 四月廿八日  
 雙蝶々曲輪日記

七月十六日ヨリ  
 男作五鷹金 日敷十日開  
 見取狂言  
 彦山權現誓助劔 此節彦山の狂言大  
 はつみにて道頓堀  
 芝居不殘其外座摩  
 いなり迄も彦山ヲ  
 する其六介役ニ評  
 次第アリ左ニ記ス  
 八月四日ヨリ  
 敵討千手助劔 いなりニ六助柴  
 崎林左衛門五助  
 九月廿七日ヨリ  
 近江源氏先陣館 中山猶藏三助ニ  
 尾上新七二介ニ  
 藤川乙松座摩一  
 介ニ中村仲藏角  
 丸

市川八百藏  
 中村京十郎  
 嵐新平  
 山村友右衛門  
 關三十郎  
 姉川新四郎  
 市川門十郎  
 坂東岩五郎  
 山村儀右衛門  
 三榊大五郎  
 山下金作  
 あらし安二郎  
 あらし源之介  
 中村象之介  
 吾妻藤藏  
 市山太二郎  
 淺尾淺太郎  
 山上睦次郎  
 澤村國太郎  
 奈河龜助  
 近松徳叟

寛政 三 亥顔見世

座本 淺尾仙之助

十一月朔日ヨリ  
 大入請金銀盃 江戸戻り淺尾爲十郎座附狂言斗罷出し盡狂言ハ  
 角の芝居へ出勤仕  
 十一月三日ヨリ  
 太平記忠臣講釋 此所作事又平繪ヲ書とみなし拔出る所作事也  
 座附狂言大津繪  
 十二月廿四日ヨリ  
 東鑑御狩卷  
 正月六日ヨリ  
 金門五三桐 市川團藏病氣ニ付 久よし役 三五郎勤ル  
 中山他藏病氣ニ付 矢田平役 新平勤  
 嵐三五郎 澤村國太郎 相勤  
 △山村儀右衛門△關三十郎 退座  
 三ノ口切  
 二月廿五日ヨリ  
 本朝二十四孝 橋藏 可難助 慈悲藏 嵐三五郎 高坂 市川團藏  
 三月十日ヨリ  
 敵討非人實録 右狂言の内三月十二日夜出火ニ付一座北の新地へ引越  
 狂言ハ其儘にて外題ヲ替へ左之通  
 山村儀右衛門  
 關三十郎  
 出勤仕  
 敵討郡山染 卜替ル

嵐三五郎  
 三榊徳二郎  
 嵐新平  
 嵐松之介  
 中山他藏  
 可難助  
 嵐三八  
 中村門十郎  
 坂東岩五郎  
 市川團藏  
 花桐豊松  
 嵐源之介  
 嵐安二郎  
 淺尾仙之介  
 吾妻藤藏  
 坂東重太郎  
 尾上民藏  
 澤村國太郎  
 江戶歸り新巻  
 淺尾爲十郎  
 奈河七五三助  
 作 近松徳叟  
 竹本三郎兵衛



寛政四歳 子顔見世

座本 花桐豊松

十一月十一日ヨリ

晝振袖酒呑童子

藤川友吉 嵐吉三郎

夜風流大江山 顔見世

本座初て出勤 中山他藏病氣ニ付替り役 嵐吉三郎相勤

十二月廿六日ヨリ

假名手本忠臣藏

嵐吉三郎相勤

正月十五日ヨリ

八開詞大名賢儀

中山他藏死去

壬二月七日ヨリ

天満宮榮種御供

花洛清水夜開帳

三月廿一日ヨリ

源平布引瀧

竹切秋吉原雀

大切けい事 達模様諷襠

四月十一日ヨリ

雨下知桔梗簾上

藤川友吉相勤 澤村宗十郎

中五人切五十年廻

大切景 夔 藤川友吉相勤 澤村宗十郎

十月六日ヨリ

倭名所圖會

澤村宗十郎 是切上京ス程なく江戸へ歸る

澤村宗十郎

花桐豊松 近松徳叟 並木五兵衛

あらし源之介 岩井糸三郎 藤川友吉 市山太治郎 坂東壽太郎 姉川菊八 澤むら國太郎

中山文五郎 藤川半三郎 山村儀右衛門 可難介

坂東岩五郎 中山來助 中山他藏

澤村宗十郎 嵐吉三郎 中山榮藏

坂東岩五郎 中山來助 中山他藏

藤川半三郎 山村儀右衛門 可難介

花桐豊松 近松徳叟 並木五兵衛

寛政五 丑歳顔見世

座本 坂東壽太郎

十一月七日ヨリ

依而顔見世如件

晝狂言 忠臣雙葉藏

正月十七日ヨリ

傾城楊柳櫻

新狂言柳澤ヲ作りたる也 大入大當り也

四月五日ヨリ

容競出入湊

東海道戀關札

五月七日ヨリ

一の谷嫩軍記

△尾上新七△山村儀右衛門 △三榊大五郎△中山兵太郎 △吾妻藤藏 退座

京土産名所井筒

右狂言切にて相休み

七月廿五日ニ三榊大五郎死去 四十六歳也 此後寛政十二歳竹田芝居ニ居る芳澤龜藏三代目三榊大五郎ニ成る元トハ芳澤いろはの門人なり又其後三榊清兵衛とも言ふなり今の源之介の親なり源之助江戸出勤之節江戸ニ而死去なり

嵐三五郎

嵐吉三郎

中山兵太郎

中村次郎三

三榊大五郎

中山文五郎

嵐三八

山村儀右衛門

尾上新七

芳澤いろは

あらし源之介

嵐安二郎

浅尾彌太郎

吾妻藤藏

芳澤千藏

芳澤五郎市

山下金作

辰岡万作

近松徳叟



寛政六歳 寅顔見世

十一月廿六日ヨリ

黄金益米太郎狐

正月二日ヨリ

けいせい倭莊子

けいせい

二世の縁花の臺

二月十四日ヨリ

鳴廻 戲聞書

四月二日ヨリ

菅原傳授手習鑑

吉原 細見圖

八月十六日ヨリ

色盛 八丈鏡

けいせい

同計略花芳野山

九月十二日ヨリ

大塔宮 礮鏡

中 容競出入 湊

景事 住の江八景

此狂言より出勤 尾上新七 澤村宗十郎 江戸へ歸る

此狂言 △嵐吉三郎△山村儀右衛門 退座 △尾上新七中途ヨリ退座

替り役 中山文七 相勤

此狂言切 △中山文七△中山文藏 退座

片岡仁左衛門中途ヨリ江戸へ下ル

村上彦四郎役 嵐小六 庄兵衛役 中山文五郎 八木孫三郎役 同人 相勤

中山來助事改名

中山文七

嵐吉三郎

坂東壽太郎

山村儀右衛門

嵐三五郎

中山文五郎

嵐三八

片岡仁左衛門

澤村宗十郎

芳澤いろは

あらし源之助

生島柏木

三樹徳二郎

山下國松

芳澤五郎市

澤村國太郎

作 並木正三 並木五兵衛

寛政七 卯歳顔見世 座本 中山與三郎

十一月十一日ヨリ

中増弓勢 最貞酌

假名寫安土問答

廿二日ヨリ切付

織合 襪 褌 錦

正月十五日ヨリ

極彩色 倭繪草紙

大切けい事 夜姿

筆ささみ

二月四日ヨリ

鬼一法眼三略卷

山崎與次兵衛 戀

枕屋久兵衛

八月十三日ヨリ

假名手本忠臣藏

九月廿七日ヨリ

三十 石燈始

切狂言 雷神不動北山櫻

鳴神 市川團藏 相勤

中山文七

中山兵太郎

淺尾與二郎

中山文藏

姉川新四郎

市川團藏

中山文五郎

坂田熊十郎

淺尾工左衛門

三樹松五郎

淺尾爲十郎

芳澤いろは

芳澤五郎市

淺尾仙之介

澤村國太郎

中村桑太郎

嵐源之介

三樹徳二郎

作 奈河十九介 並木正三 並木五兵衛



寛政八歳

辰顔見世

座本 中山一徳

正月五日ヨリ

岩井入 升春 戯場

三月廿二日ヨリ

増補うすゆき物語

四月六日ヨリ

七重絹 吾妻雛形

けいせい

黄金鱸

十一日ヨリ付

染模様 妹脊門松

五月五日ヨリ

夏祭 浪花鑑

八月十四日ヨリ

競伊勢物語

九月十七日ヨリ

思花街容性

八百屋

萬誓曾我

此狂言八百屋お七曾我物語ニ

取組み江戸流之新狂言也番附も

江戸仕立ニ至極おもしろし

此狂言切ニて岩井半四郎江戸へ歸ル

○中村余太郎○中山兵太郎  
○嵐音八 出勤

○岩井半四郎  
○嵐吉三郎 相休み

△姉川新四郎 退座

△三樹徳二郎

○尾上新七 出勤

○藤川友吉

市川團藏

中山兵太郎

淺尾奥次郎

中山文藏

嵐吉三郎

姉川新四郎

嵐音八

坂田熊十郎

淺尾工左衛門

淺尾爲十郎

三樹徳二郎

姉川綱吉

江戸瀬川菊三郎

中村余太郎

中山一とく

尾上民藏

江戸岩井半四郎

作 寄河七三郎

寛政九歳

巳顔見世

座本 淺尾奥治郎

十一月二日ヨリ

蛭子 惠藏 入

正月五日ヨリ

けいせい 遊山櫻

二月十六日付

切本 朝廿四孝

五月九日ヨリ

御所櫻 堀川夜討

吉原

細見圖

桂川

連理柵

おふさ

重井筒

徳兵衛

三月十五日ヨリ

扇矢數 四十七本

扇矢數切て

△淺尾工左衛門△中村哥右衛門

△中山兵太郎 退座

○中山兵太郎  
○嵐 他人 出勤

九月九日ヨリ

けいせい 博多織

菅原傳授手習鑑

○中村歌右衛門○中山一とく○山下龜松

九月廿六日ヨリ

遠州 中山染

十月十八日ヨリ付

糸仙人 吉野櫻

淺尾爲十郎 上京暇乞ニ仕

浅尾爲十郎

藤川友吉

柳山雛松

中山一とく

山下金作

あらし若松

おのへ民藏

山下八百藏

作 竝木正三

中山文七

中山兵太郎

淺尾奥二郎

中山文藏

三樹松五郎

姉川新四郎

嵐音八

中村歌右衛門

淺尾工左衛門

淺尾爲十郎

市川團藏

藤川友吉

柳山雛松

中山一とく

山下金作

あらし若松

おのへ民藏

山下八百藏

作 竝木正三



寛政十歳

午のとし

市川熊次郎座

午八月四日ヨリ

國性爺合戦

尾上鯉三郎

浅尾奥次郎

置土産今織上布

朝井國五郎

八月十三日ヨリ

國性爺合戦

中村歌右衛門

太平記忠臣講釋

○風三五郎  
出勤住い

浅尾爲十郎

藤川八藏

大切景夏

山姥

浅尾爲十郎

中山一とく

一切

金花源氏魁

市川熊二郎

泉川万三郎

嵐三五郎

大和川菊二郎

朝井直二郎

あらし若松

澤村國太郎

寛政十一歳

顔見世

座本 山下龜松

十一月十三日ヨリ

金花源氏魁

顔見世狂言

會稽雪の鉢木

正月二日ヨリ

傀備浅妻舟

△山村友右衛門 退座

正月廿七日ヨリ

金門五山桐

(三方)

五大力戀緘

五大力退座

三月九日ヨリ

源平柱礎曆

△嵐 雛助△司三右衛門△あらし小雛

隅田川妓女容性

八月八日ヨリ

雪國嫁威谷

右狂言中

雪國嫁威谷

山下金作死去ニ付

雪國嫁威谷

替り役 中村余太郎 勤

藤川友吉 嵐 雛助

山下秀二郎 坂東壽太郎

山下龜松 嵐 新平

司三右衛門 中山文藏

中村余太郎 三樹松五郎

榊山雛松 嵐 猪三郎

あらし小雛 尾上鯉三郎

山下金作 中村歌右衛門

中村元藏 山村友右衛門

作 並木五兵衛 中山文五郎

山村儀右衛門

澤村宗十郎

作 奈河七五三助



寛政十二歳 申顔見世 座本 中村染之助

十一月廿二日ヨリ

祇園祭禮信仰記

けいせい阿波鳴戸

正月十七日ヨリ

花 艦 淀川話

大切景亥

花 の 裳

大切けい事 罷出相勤い

澤村宗十郎 片岡仁左衛門

藤川友吉 山下八百藏

芳澤圓二郎 市川市藏

芳澤いろは

右狂言切ニて一座諸方へ別るゝ

其後江戸登り招キ看板出しは

共興行なし

江戸 松本米三郎

江戸 市川男女藏

片岡仁左衛門

浅尾奥二郎

朝井國五郎

中村歌右衛門

姉川新四郎

中山來助

中村元藏

三樹松五郎

山村儀右衛門

澤村宗十郎

藤川友吉

富澤かしく

中村糸太郎

山下八百藏

芳澤圓二郎

神山雛松

芳澤いろは

享和元歳 酉顔見世

十一月廿七日ヨリ

時代新うすゆき物語

寒 紅 梅 簾 壽

正月二日ヨリ

接合 北 國 梅

八月十六日ヨリ

和 訓 水 許 傳

名 作 切 子 曙

九月十五日ヨリ

太平記 菊水卷

十月八日ヨリ

伊賀越乘掛合羽

右狂言切ニて上京致ス

壽年中行事

嵐三五郎

松本米三郎

相勤申は

○浅尾爲十郎

○大谷友右衛門

○中山兵太郎

○中村かほよ

○ふじ川鐘九郎

○浅尾奥二郎

○芳澤いろは

座本 山下徳次郎

うすゆきの一座

松本米三郎

山下秀二郎

あらし徳三郎

可三左衛門

中山一とく

朝井直二郎

三升門之介

澤村國太郎

音羽治郎三

作 近松徳三

嵐吉三郎

尾三五郎

尾上新七

藤川八藏

尾上鯉三郎

三樹大五郎

朝井國五郎

片岡仁左衛門

作 奈河九三郎



享和 二 戊戌歳見世

座本 大谷虎藏

十一月廿七日ヨリ  
大塔宮朝日凱歌 三樹大五郎 退座

男作 五 鷹 金

正月十一日ヨリ  
けいせい廓源氏 ○嵐猪三郎○榊山羅松 出勤  
五月三日ヨリ △中村金藏 退座

神靈 矢口の渡

京羽二重新雛形

廿五日ヨリ  
景変 倂 鐘入之段 可珉子 相勤い

九月十四日ヨリ  
繪合 太 功 記 芝居建替り 座本相改メ 山下徳次郎成

花英筐の石橋

九月廿四日ヨリ  
繪合 太 功 記 嵐吉三郎 芳澤いろは 澤村國五郎  
中村富十郎追善狂言 上京暇乞ニ相勤い  
中村金藏改メ中村のしほ 相勤申い

義臣傳續講釋  
花英筐の石橋

嵐吉三郎 芳澤いろは 澤村國五郎  
中村富十郎追善狂言 上京暇乞ニ相勤い  
中村金藏改メ中村のしほ 相勤申い

大功記一座  
嵐吉三郎  
嵐三五郎  
片岡十藏  
尾上新七  
嵐猪三郎  
淺尾國五郎  
淺尾工左衛門  
片岡仁左衛門  
芳澤いろは  
澤村京三郎  
中村のしほ  
澤村國太郎

嵐吉三郎  
中山兵太郎  
嵐萬二郎  
藤川鐘九郎  
三樹大五郎  
淺尾與次郎  
淺尾友藏  
淺尾國五郎  
大谷友右衛門  
淺尾爲十郎  
芳澤いろは  
藤川勝二郎  
山下龜松  
中村衆太郎  
中村金藏  
坂東小傳治  
山下八百藏  
作 近松徳三

享和 三 亥顔見世

座本 姉川熊二郎

七月二座改

座本 姉川熊次郎

東金草浪花着綿

△中村歌右衛門是切 退座

ひらかな盛衰記

○片岡仁左衛門 罷り出相勤い  
○大谷徳次 罷り出相勤い  
右狂言仕處瀬川路考病氣ニ付  
正月廿四日切ニて相休み又々聞  
正月五日ヨリ出勤仕大入大當り  
此狂言切替り迄芝居相休七月  
ヨリ一座相改行ス九月淺尾爲  
十郎一世一代仕病氣ニ附口上  
斗り市川團藏斷口上言ふなり

中村歌右衛門  
中山兵太郎  
嵐萬次郎  
淺尾國五郎  
三樹大五郎  
藤川八藏  
中村元藏  
桐野谷權十郎  
大谷友右衛門  
關三十郎  
藤川友吉  
藤井花松  
姉川熊二郎  
中村衆太郎  
芳澤圓次郎  
中村福二郎  
瀬川路考  
作 瀬川如臯  
奈河七五三助

七月廿二日ヨリ  
箱根靈驗 覺仇討

きの國屋小春の書の殘 淺尾爲十郎  
紙屋次兵衛 病氣ニ付口上言ふ

八月十九日ヨリ  
みやこ風流大おどり

箱根靈驗 覺仇討

鳴神不動北山櫻

九月十五日ヨリ  
木下蔭 挾間合戦

九月廿三日ヨリ  
加賀見山花嬪合

加賀見山花嬪合

織合 襪 樓 錦

戀飛脚 大和往來

大切 飛脚 大和往來

關三十郎  
淺尾與次郎  
桐の谷權十郎  
中山文五郎  
藤川八藏  
市川市藏  
中村元藏  
淺尾國五郎  
大谷友右衛門  
市川團藏  
一世一代淺尾爲十郎三  
番叟相勤い  
藤川勝次郎  
淺尾與次郎  
引合口上ヲ  
市川團藏云  
市川一とく  
△大谷友右  
衛門退座 市川團藏  
市川團三郎  
芳澤いろは  
淺尾工左衛門  
江戸下り名殘仕い



文化元歲

子顔見世

座本 藤川友吉

十一月十七日ヨリ

相續 石橋 山

福哉 色弓 取

御目見へ狂言 江戸中村大吉

十二月三日ヨリ

菅原傳 授手習鑑

正月二日ヨリ付 福哉 色弓 取

菅原切退座

△市川團藏 △市川市藏

△市川團之助 △市川團三良

△辰岡万作

二月九日ヨリ

妹春山 婦女庭訓

姫小松子の日遊

妹春山切退座

△坂東彦三郎 △中村大吉

三月九日ヨリ

媚風 俗文 選

○尾上榮三良 ○尾上鯉三良

○可珉子 出勤仕

四月三日ヨリ付

淺草 靈驗 記

四月八日ヨリ

戀女房 染分手 綱

五月八日ヨリ

五大 力戀 絨

敵討 千手助 劔

坂東彦三郎 淺尾爲十良 桐の谷權十良 市川團三良 市川市藏 藤川八藏 中山文五良 中村九藏 淺尾國五良 中山新九良 市川團藏 藤川友吉 淺尾友治郎 市川團之助 中村大吉 中山一とく 藤川勝三郎 芳澤いろは 辰岡万作 市岡和七 者 奈河九二助

子八月一座改

座本 姉川龜三良

蘭奢待 新田景圖

けいせい 反魂香

其 倂 淺 閒 嶽

大切けい事 相生獅子餘波英

九月十六日ヨリ

濱真砂 傳石川

景事 大切 堀 山 焼

九月廿六日ヨリ

濱真砂 傳石川

景事 堀 山 焼

彦山權現 誓助劔

故人三五良追善 うしろ向所作哀 嵐三五良 相勤

嵐三五良 澤村國太良 相勤

中山兵太良 瀬川路考 相勤 江戸下り御暇乞 瀬川路考 相勤

嵐三五良

中山兵太良

嵐 團 八

市川市藏

三樹松五良

三保木 吉左衛門

大谷友右衛門

市川團藏

芳澤いろは

芳澤圓次良

あらし若松

市川團之助

姉川龜三良

澤村國太良

瀬川路考

市岡和七

作 瀬川如皐



文化二歳

丑顔見世

座本 芳澤圓治良

十二月十一日ヨリ  
當 歳 負 牛 稻 顔見世

十二月六日ヨリ  
祇園祭 禮 信 仰 記

彦山權現 誓助 劔

正月十二日ヨリ

けいせい 天羽衣

天羽衣切ニて退座  
△片岡仁左衛門△市川團三郎△市川團之助△大谷門藏△大谷徳次  
けいせい事

花 競 廓 錦 繪

芳澤いろは 嵐三五良 芳澤圓次郎 市川團之助 中村のしほ

三月十三日ヨリ

假名手本 忠臣藏

坂東彦三郎 中村大吉 出勤 三樹松五良

四月朔日ヨリ切狂言

義 經 千 本 櫻

芳澤圓治郎芳澤遊子ト改名し  
て江戸表へ罷下りし  
此狂言切ニて相休 顔見世迄  
興行なし

嵐 三五郎  
淺尾爲十良  
市川團三良  
大谷徳次  
市川市藏  
市川團藏  
市川友藏  
大谷門藏  
淺尾國五郎  
淺尾工左衛門  
片岡仁左衛門  
中村余太良  
山下徳次良  
芳澤圓次良  
三樹徳次良  
中村のしほ  
姉川龜三良  
市川團之助  
芳澤いろは  
作 奈河篤助  
辰岡万作

文化三歳

寅顔見世

座本 山下徳次郎

七月ヨリ一座改メ

座本 嵐 權之助

五月十一日ヨリ

碁 太平記 白石 噺

顔見世

大 社 夫 婦 最 貞 綱

十二月七日ヨリ

義 經 千 本 櫻

○嵐團八△淺尾工左衛門

正月十七日ヨリ

けいせい 齋 佳 節

○近松徳三

覺 て 逢 比 翼 衾

三月廿七日ヨリ

鬼 一 法 眼 三 略 卷

紙 治 の べ の 書 殘

倭 假 (名) 在 原 景 圖

四月廿七日ヨリ切かへる

道 中 龜 山 話

中村歌右衛門  
淺尾爲十良  
小川吉太良  
市川市藏  
嵐三五郎  
中山新九郎  
淺尾國五良  
中村元藏  
淺尾工左衛門  
坂東彦三郎  
中村大吉  
芳澤巳之助  
山下龜松  
中村余太郎  
芳澤いろは  
山下徳次郎  
藤川勝次郎  
藤川友吉  
作 奈河篤助  
並木正三

七月廿七日ヨリ

鎌 倉 三 代 記

東 訛 戀 深 川

大 踊 四 季 花 笠

右狂言切ニて相休 當年中興行  
なし

淺尾工左衛門  
市川團三良  
中山小三良  
柴崎臺藏  
市川市藏  
嵐 猪三良  
桐の谷權十郎  
淺尾國五郎  
嵐 吉三良  
中山よしを  
市川團之助  
市川團之助  
可 三右衛門  
澤村由之助  
三樹徳次良  
中山文五良  
淺尾爲十良  
作 市岡和七  
近松徳三



文化四 卯歳ニの替り 座本 浅尾奥次良

正月廿四日ヨリ

けいせい英草紙  
大切 戀の關守  
△大谷友右衛門△中山よしを 退座

三月十三日ヨリ

女庭訓 倭詞  
○可珉子○中村のしほ 出勤  
おなつ 振袖櫻菅笠  
清十郎

四月十四日ヨリ  
三國無雙 奴請狀

切 猿曳門 出一 諷  
可珉子中途より退座  
替り役 中村のしほ 相勤

市川八百藏  
中山小三良  
柴崎臺藏  
嵐猪三良  
中山新九良  
中山文五良  
浅尾友藏  
大谷友右衛門  
嵐吉三郎  
中山よしを  
姉川みなと  
中山音松  
中村糸太郎  
藤川花松  
藤川勝次郎  
藤川友吉  
作 奈河篤助  
近松徳三

八月ヨリ一座改ム

八月六日ヨリ

和訓水滸傳  
東切 鑑御狩卷

右狂言切ニテ一座上京ス  
十一月ニ歸りて顔見世の招キ看  
板出ス  
右上海の役者角中兩座へ分ル、  
三ノ口 三ノ切  
兵太良事

關 三右衛門  
中山小三良  
大谷門藏  
浅尾此兵衛  
中山文七  
浅尾國五良  
中村元藏  
浅尾工左衛門  
片岡仁左衛門  
中村大吉  
山下龜松  
片岡愛之助  
可珉子  
三樹松三良  
三樹徳次良

文化五 辰歳顔見世 座本 小川吉太良

十一月廿八日ヨリ

大 中 富 幣 白 旗  
新 う す 雪 物 語

△關三右衛門 △浅尾工左衛門  
△中村歌六△中山來介△中山文  
五良△中山蝶九良 退座

正月廿八日

けいせい品評林  
景事 隅田川續 倂

○荻野伊三郎○尾上門三郎  
○市川友藏 出勤仕  
忍ぶ摺戀の寫繪

中村哥右衛門江戸表へ罷り下ル  
暇乞ニ相勤  
關三十郎 江戸行  
右狂言切ニテ役者諸方分ル、  
五月九日ニ中村糸太良死去  
釋離惟 四十六歳

中村歌右衛門  
嵐三五郎  
關三十郎  
中山來助  
關三右衛門  
中山新九郎  
中山文五郎  
桐山紋次  
大谷門藏  
浅尾工左衛門  
片岡仁左衛門  
可珉子  
中村歌六  
片岡愛之助  
芳澤あやめ  
中村糸太郎  
姉川みなと  
中山よしを  
小川吉太良  
中村歌七  
中山蝶九郎

七月ヨリ一座改メ

七月廿五日ヨリ

清水清玄誓約櫻  
道行うらみの戀衣

市川團藏 市川八百藏 相勤  
可みんし  
八月十六日ヨリ付切  
新 板 歌 祭 文

九月十七日ヨリ

八陣守護本城  
舞扇南柯話

右狂言中市川團藏病死ニ付役替  
加藤清正 市川市藏  
厚倉十内 市川八百藏  
笠松平三 中山來助

十月九日ニ市川團藏死去 釋了西 行年六十四歳  
辭世 けふも夢寐でも起ても夢の夢  
夢に夢見る夢の世の中  
右之辭世を石碑ニ彫入千日竹林寺江戸流な石碑を  
市藏建立スル

市川市藏  
小川吉太良  
中村哥七  
中山文五良  
中山來助  
三樹松五郎  
嵐團八  
大谷友右衛門  
市川團藏  
可珉子  
藤川勝次良  
榊山徳松  
芳澤あやめ  
あらし若松  
中山よしを  
作 近松徳三



文化六 巳歳顔見世

十一月十三日ヨリ

嶋巡月弓張

江戸嵐冠十郎 出勤仕  
退 嵐富三郎

壽白鶴登勢

顔見世狂言  
○市川團三郎 出勤

けいせい潮來諷

三月廿一日

立春姫小松

色爲替花街往來

道行恩愛の三度笠

御所櫻堀川夜討

五月十四日ヨリ

世話料理八百屋獻立

菅原傳授手習鑑

天拜山の段  
寺子屋

△芳澤あやめ  
△大谷友右衛門 退  
△市川八百藏 座  
△大谷友次郎  
○三樹象三郎  
○桐島儀右衛門 出勤仕

座本 嵐 龜三良

五月ヨリ一座改

中山文七

淺尾勇次郎

桐山紋次

淺尾國五郎

片岡仁左衛門

三樹德次郎

中村象次郎

三樹象三郎

芳澤あやめ

中山新九郎  
中山小三良  
大谷友次良  
嵐 團八

嵐 伊三郎

市川八百藏

淺尾奥山

桐の谷權十郎

柴寄臺藏

大谷友右衛門

嵐 吉三郎

司 珉子

藤井花松

中村歌六

芳澤あやめ

三條浪江

芳澤千代

中村大吉

奈河篤助  
近松徳三

七月ヨリ一座改

七月廿六日ヨリ

草紅葉錦絹川

艶音頭月川崎

本朝二十四孝

八月十四日ヨリ

風小六追善 山 焼

十三回忌 出子寶

大切打 子寶

景事 出子寶

けいせい 出子寶

司珉子 片岡仁左衛門 相勤申仕

廿四日ヨリ 敵討 襪樓 錦

市川市藏

市川八百藏

淺尾勇次郎

嵐 團八

中山文七

中山新九郎

淺尾國五郎

中村林左衛門

淺尾工左衛門

片岡仁左衛門

司 珉子

中山よしを

藤川ともい

中村象二良

藤川勝次良

三樹象三良

中山富三良

九月ヨリ一座改

九月廿九日ヨリ

軍法富士見西行

東詞廓色柄

十月十日ヨリ

軍法富士見西行

東詞廓色柄

けいせい阿波鳴戸

吉田屋段 十郎兵衛 内のたん

木曾義仲 松並ゆき 大出来

柴崎臺藏 桐の谷權十郎

淺尾奥山 嵐 吉三良

中村大吉

藤川崎之助

山下里菊

嵐 龜三郎

三樹德次郎

芳澤小紫

藤川ともい

中村歌六

中山富三良

作 近松徳三

嵐 來芝

市川團三良

桐島儀左衛門

中山小三郎

嵐 猪三郎

中山來助

柴崎臺藏

桐の谷權十郎

淺尾奥山

嵐 吉三良

中村大吉

藤川崎之助

山下里菊

嵐 龜三郎

三樹德次郎

芳澤小紫

藤川ともい

中村歌六

中山富三良

作 近松徳三



文化七 午歳 座本 淺尾奥太良

八月ヨリ一座改ル

三月十三日ヨリ  
假名手本忠臣藏  
五ツ目六ツ日なし 植木屋入ル  
四月十日ヨリ  
御堂前 菖蒲助 劔  
右狂言切一座上京

嵐 來 芝  
小川吉太郎  
柴崎臺藏  
嵐猪三郎  
大谷友右衛門  
淺尾國五郎  
桐の谷權十良  
嵐 三 八  
中山新九郎  
中山富三良  
山下里きく  
嵐龜三良  
中村歌六  
三樹 他 人  
藤川とも江  
三樹徳次良  
作 奈河晴助  
近松徳三

八月十日ヨリ  
振袖天神記  
天神記ハ明和六丑年角の芝居ニ  
て竹本座新浄るり近松半二作也  
花楓浪花詠  
九月十五日ヨリ  
彦山權現誓助劔  
拳禪廓大通  
大切けい事  
番獅子富貴英  
中山富三郎 江戸(歸ル暇乞ニ  
相勤申ル

中村新九良  
小川吉太郎  
柴崎臺藏  
嵐猪三郎  
嵐 冠 十 郎  
中山來助  
嵐 團 八  
淺尾工左衛門  
嵐吉三良  
中村大吉  
山下里菊  
市川米三  
中村歌六  
嵐重次良  
藤井花松  
中山富三良

文化八 未歳ニの替リ 座本 藤川辰藏

八月一座改メ

正月十七日ヨリ  
けいせい 驛路梅

閏二月十三日ヨリ  
奥州 安達原  
容競 出入 湊  
△嵐猪三郎 退座  
○姉川菊八 出勤

嵐吉三良  
市川團三良  
中山來太良  
嵐冠十良  
嵐猪三良  
中山新九良  
淺尾國五良  
淺尾奥山  
淺尾工左衛門  
片岡仁左衛門

八月ヨリ  
融通大念佛  
右之看板差出ル(共狂言出ズ  
看板引申ル  
九月十七日ヨリ  
三石燈始

大切所作事  
京鹿子娘道成寺  
芳澤あやめ追善  
芳澤いろは相勤申ル  
たふつ坊 中村新九郎  
住そう 小川吉太郎  
をんわん 中山百花  
せいし坊 淺尾國五郎  
たほう坊 淺尾工左衛門  
あふつ坊 片岡仁左衛門  
白拍木 芳澤いろは  
さくら木

中山新九郎  
小川吉太郎  
中山來太郎  
中村哥七  
嵐 團 八  
中山百花  
桐の谷權十郎  
淺尾國五郎  
桐山紋次  
淺尾工左衛門  
片岡仁左衛門  
芳澤いろは  
片岡愛之助  
山下里きく  
三樹徳次郎  
佐の川花妻  
中村大吉  
作 竝木三四助  
奈河七五三助



文化九 申歳二の替り 座本 中村大吉

正月十五日ヨリ

けいせい 倭莊子

大切 二世縁花の臺

小川吉太郎 中山よしを  
片岡愛之助 嵐 來子  
相勤申比

二月五日ヨリ切狂言付

一の谷 嫩軍記

御國名物花菅笠  
尾上新七江戸へ下ル六月歸ル也

嵐 來 芝  
小川吉太郎  
中村林左衛門  
中村歌七  
市川團三良  
中山百花生  
淺尾國五郎  
桐の谷權十郎  
桐の谷儀左衛門  
淺尾工左衛門  
片岡仁左衛門  
芳澤いろは  
片岡愛之助  
片岡松江  
中村歌六  
佐の川花妻  
藤川半太夫  
中村大吉  
中山よしを  
作 竝木三四助  
徳河七三助

文化十 酉顔見世 座本 芳澤槌松

十一月八日ヨリ

假名手本忠臣藏

中村歌右衛門此度七役勤ル

鎌腹入ル  
中村歌右衛門江戸ヨリ歸リニ付道頓堀  
御前町より太左衛門橋迄兩側紅挑灯ヲ  
大手笹瀨ヨリ釣ル凡百五十張程なり併  
し此節は戻らぬ前より餘り評判強ク其  
後に至りて左程にもなけれど何分いつ  
もよりハ賑敷事なり△中村大吉病氣付  
おいしおその役中山よしを相勤△市川  
熊太郎此度哥右衛門門人となり中村三  
光ト改名初舞臺△小佐川常世事當春登  
て北の新地え出勤す先常世の實子也此  
度當座え出勤中村哥右衛門病氣ニ付十  
二月三日切ニ相休ニて正月二日ヨリ切  
狂言入てはしめる

中村歌右衛門  
小川吉太郎  
中村歌七  
中山文五郎  
中山百花生  
尾上新七  
桐の谷權十郎  
嵐 團 八  
大谷友右衛門  
坂東彦三郎  
中村大吉  
中村三光  
芳澤ともえ  
司 三右衛門  
澤村吉松  
嵐 徳 松  
中山よしを  
作 奈河一洗  
竝木三四助

文化十 酉歳二の替り

座本 芳澤槌松

正月廿日ヨリ

けいせい 繁夜話 新狂言

大切所作事 慣ちよつと七化

三月廿四日ヨリ 一の谷 嫩軍記

慣やはり七化

伊勢音頭戀寐劔

六月二日ヨリ 大塔宮 臆鏡

鐘とも 夢 鮫 鞆

八月十五日ヨリ ひらかな 盛衰記

世話料理八百屋獻立

九月七日ヨリ ひらかな 盛衰記

新歌 街紅 摺

○中山來太郎○芳澤嘉藏○司三右衛門 出勤  
△中山新九郎△中山來太郎△司三右衛門△小佐川常世  
此狂言相應に出來たれど角の芝居嵐吉の道風におされて不入右一座上京ス故ニ落首に熊谷も夏の道風に當られて兜をぬいて京へにげゆく實に嵐吉道風ハ市中大評判にて大入り  
○切七化辨慶を抜て奴おたふく入して仕仕へ共是ハ直不評也  
○芳澤小紫 出勤  
△小川吉太郎 退座  
△淺尾國五郎  
ひらかなより出勤  
○淺尾工左衛門○片岡三吾○小川吉太郎○淺尾國五郎  
中の芝居九月二日夜類焼ニ及ひ直様普請ニ取掛り霜月下旬より普請出來顔見世する

中村歌右衛門  
小川吉太郎  
中山來太良  
中村哥七  
中山文五郎  
中山百花生  
中山新九郎  
桐の谷權十良  
嵐 團 八  
大谷友右衛門  
坂東彦三郎  
中村大吉  
芳澤嘉藏  
嵐 徳 松  
司 三右衛門  
中村三光  
小佐川常世  
澤村吉松  
芳澤ともえ  
中山よしを  
作 竝木三四助  
奈河一洗



文化十一歳

戌の顔見世

九月十五日ヨリ坂東彦三郎一世 一代角の芝居にて致上京ス

座本 中村歌五郎

十一月十七日ヨリ

近江源氏先陣館

此狂言切にて

△三樹大五郎△中山來五郎 △大谷友右衛門△佐の川花妻

退座仕仕

正月十二日ヨリ

宵座附引合仕仕

けいせい 釣鐘櫻

故人加賀屋歌七廿五回忌追善 中村哥右衛門 相勤

許給拙振袖

右之狂言随分面白く作りてあれども何分角の芝居朝顔大評判ことに澤村田之助歸り新参にて大入大あたりゆへ當芝居町評判悪敷其上中村哥右衛門病氣にて日數わづかにて相休申此時哥右衛門過書町三上大助といふ醫師にて全快す故に報恩に印籠を禮に出す是ハサル諸家様より哥右衛門拜領せしよし尤も美々敷品なりときき

△中村歌六

退座

○中山よしを

出勤

三月九日ヨリ

敵討二嶋英勇記

三月十五 日ヨリ切

宿無團七時雨傘

此狂言大入り 大當りなり

此狂言ハ講師天山之作の繪本より出す也此度の作ハ百村猪三郎の作也右猪三郎事百村友九郎弟にて百太郎の伯父なり當時役者を止メテ作者となり并筒屋一齋といふ是迄濱芝居の作致しゆへども大芝居にては此度より初てなり尤此狂言始めてせしハ文化六巳年角丸の芝居にて初てする役割左之通り

芝翫

巖流(笠原(市川甚之助) 絲萩(嵐國市) 無三四(谷村楯八) 吉岡 七介(水木吉三郎) 武左衛門 小兵衛(谷村金藏) 友二郎(百村猪三郎) 右之通不座なれともけしからぬ大入なり 無三四(谷村楯八) 絲萩(嵐國市) 吉岡 七介 白念(松嶋清藏) 巖流 笠原(三樹光五郎) 右狂言切にて相休中村歌右衛門二度目江戸へ下ル

中村歌右衛門 小川吉太良 中山來太良 中村歌七 中山百花 中山新九郎 三樹大五郎 中山文五郎 片岡小六郎 嵐 團 八 大谷友右衛門 片岡仁左衛門 中村大吉 嵐 福 松 芳澤ともえ 佐の川花妻 中村歌六 よし澤嘉藏 片岡三吾 片岡愛之助 中山よしを

文化十二歳

亥歳二ノ替り

座本 片岡市松

けいせい 廓入船

新狂言

右看板出ぬ處故障出來引

正月十九日ヨリ

秋葉權現廻船

其姿 威功櫻

澤村田之助 小川吉太郎 嵐 富三郎 嵐 冠十郎 相勤

四月十五日ヨリ

振分髪真鳥實記

四月座本改

三樹福松

嵐 富三郎 片岡小六良 小川吉太良 片岡愛之助 中村歌七 中村里好 嵐 猪三郎 片岡三吾 嵐 團 八 尾上鯉三良 柴寄臺藏 澤村田之助 嵐 冠十良 奈河晴助 淺尾工左衛門 市岡和七 片岡仁左衛門

芦屋道満一座

大谷友右衛門

中山文七

尾上新七

中村歌六

澤村田之助

芳澤いろは

中村里好

中村哥木

嵐 團 八

大谷友次郎

嵐 冠十郎

淺尾工左衛門

八月六日ヨリ

芦屋道満大内鑑

△可三右衛門△姉川菊八△嵐福松 △藤松三十良△佐の川花妻 退座

澤標浪花眺

あしや切にて退座 △尾上新七△大谷友右衛門△大谷友次郎



八月廿日ヨリ

菅原傳授手習鑑

溲標浪花眺

敵討浦朝霧新狂言 奈河晴助作ナリ

此狂言切ニテ澤村田之助江戸へ歸ル  
△嵐三十良事前嵐新平ト云先年江戸  
へ行此度戻る是親眠獅の一族ナリ

△市川市紅△淺尾工左衛門  
△淺尾國五郎△淺尾奥山  
浦朝霧より  
嵐吉三郎  
嵐三十郎  
柴崎臺藏  
可 珉子  
嵐猪三郎 出勤

菅原一座

大谷友右衛門  
尾上新七  
市川市紅  
淺尾奥山  
淺尾國五郎  
藤松三十郎  
桐島儀左衛門  
淺尾工左衛門  
可 三右衛門  
佐の川花妻  
嵐 徳松  
姉川菊八  
三榊福松  
澤村田之助

文化十三 子歳二の替り

座本 澤村璃答

二月廿日ヨリ

園雪戀組題

義經千本櫻

此狂言うすゆきを少々ツ、晴介書直し也  
△嵐吉三良 病氣ニ付退座  
△嵐猪三郎  
△中山小三郎  
△佐の川花妻  
△可 珉し  
退座  
一璃寛も立役斗りハせず此度の珍ら敷大膳梶原の役廻り元來  
梶原ハ名高き哥人なれハ璃寛の姿人品よく寫り大ひニ請よし  
大當りなり是より後の梶原役皆立者か致ヌ様ニなる也璃寛此  
度より自實惡武道をするナリ

七月ヨリ座本 淺尾徳三郎

中村歌六 嵐三五郎  
中村里好 嵐三十良  
澤村璃答 柴崎臺藏  
可 三右衛門 中山小三郎  
尾上鯉三郎 淺尾工左衛門  
佐の川花妻 嵐猪三郎  
可 珉子 嵐 團八  
作 奈河晴助 嵐吉三良  
尾上新七 市川市紅  
中村歌六 嵐富三郎  
澤村璃答 淺尾吉三郎  
中山來太郎 大谷友次郎  
柴崎臺藏 嵐 團八  
淺尾徳三郎 嵐猪三郎  
嵐三十郎 中村里好  
澤村徳三郎 尾上鯉三郎  
嵐冠十郎 大谷友右衛門  
可 珉子 嵐吉三良

四月五日ヨリ

行平舊跡松

今様須磨寫繪

優然染座敷八景

七月十九日ヨリ

勝関芋源氏

油商人廓話

此度角之芝居大座ニテ表看板大  
ニ張込みて見事故にワルクチニ  
角ハ門を見い中は中を見いと  
ふ事評判す

當狂言前後共大當大入にて  
場所廿日前より取らす珍敷  
大入也角ノ狂言芝翫の權ハ  
押タラス

みは(源氏より出勤)

○嵐吉三良  
○可 珉子  
○嵐猪三郎  
○市川市紅  
○尾上新七  
○中山來太郎  
○嵐富三郎  
○大谷友次郎  
○大谷友右衛門



九月十九日ヨリ 濃紅葉小倉色紙

○中山新九郎 出勤ス  
中途より璃寛病氣ニ付相休 十月朔日より又々出ス 此狂言も餘程面白く作りたり大ニ評判よく大入也

可三右衛門事

嵐加納ト改名ス

祝ひ心を

宿り木の名も橋の薫哉 寒をも餘所に嬉敷嵐かな

澤村國太郎事

海老丸 かなふ

賀 幾冬も共に語らん桐火桶

璃 寛

祝 重着の心にとめよおしへ艸

珉 子

文化十四 巳歳顔見世

座本 浅尾徳三良

十一月朔日ヨリ

御所櫻 堀川夜討

△大谷友右衛門 退座  
△大谷友次良

顔見世狂言

惠中 賑大入

此度中山新九良悴來太郎へ一蝶ヲ譲リ自分ハ喜樂と改名ス  
故ニ嵐李冠壽シテ一句ヲ賀ス

身に餘る朝日の影や室の梅 戴きし頭巾譲りや霜の月 樂よや猶いや増るかぐら月 なを春の榮も見ゆれ冬の梅

來太郎改一蝶 喜樂 冠 郎

正月廿九日ヨリ

兒ヶ淵花白浪

景事 花鏡十二月

右狂言の中李冠病氣ニ付二月廿一日切ニて相休一座上京

四月五日ヨリ

時 候 五 月 戦

當芝居一座 江戸登り斗の興行

けいせい比翼塚

景事 吾妻 姿

森田勘彌相勤申

四月江戸一座興行

市川松助 松本高麗藏 中山龜之丞 坂東秀五郎 澤村鶴藏 岩井傳十郎 坂東松助 中村七五郎 市川團子 尾上鐘藏 市川富三郎 坂東八藏 岩井ふじえ 澤村東藏 森田勘彌

江戸

中村歌六 尾上新九良 尾上鯉三良 市川一蝶 嵐富三郎 市川紅 藤川花友 嵐猪三良 嵐かのふ 嵐冠十良 澤村璃答 大谷友右衛門 大谷友次良 大谷友三郎 柴崎臺藏 濱松氏助 奈河晴助



五月五日ヨリ  
假名手本忠臣藏 ○坂東松介 相勤  
○澤村鶴藏

丑七月十八日ヨリ

先陣 藤戸譽

名作 切籠曙

鈴木龜壽齋死去  
長唄の鈴木万里改龜壽齋此人天明四年冬  
當地へ登り萬里々々高名て有た元江戸の  
出生なり

藤川花友 淺尾工左衛門  
嵐 璃光 小川吉太郎  
淺尾徳三良 柴崎臺藏  
嵐 かのふ 嵐 猪三郎  
澤村璃答 尾上新七  
可 珉子 嵐 團八  
嵐 冠十郎  
嵐 吉三郎

文政元

寅歳顔見世

座本 淺尾徳三良

十一月十一日ヨリ

越前三國夫婦塚

翁 淺尾徳三郎 千歳 三榊福松  
三番叟 市川市藏

八十二郎事

中村歌六 市川蝦十郎  
可 珉子 小川吉太郎  
嵐 璃光 市川市鶴

抑妓 藝濫 筋

當顔見世興行中屋敷者大勢來り表方帷義ニ付十三日より十七日夜切  
ニテ宵座附引合相止メ十八日ヨリ廿二日迄五日開朝式三勤廿二日ヨ  
リ三ツ目ヲ付廿五日ヨリ大切敵討迄任十二月五日切ニテ相休み今年  
堀江あみだ池ニ齒吹如來開帳大流行ゆへに當顔見世狂言に齒吹如來  
ニ嵐吉三郎ブンブク茶釜に市川蝦十郎相勤ム餘程面白き趣向なり

△中山文七  
△中村歌六  
退座

珉子事

嵐 小六 嵐 團八

正月十四日ヨリ

加賀見山廓寫本

右狂言仕ゆ處二月十九日出火ニて休 八月迄ニ普請出來る  
新芝居ニて盆替り八月十九日ヨリ初メル  
嵐小六中程より病氣ニてかハリ役門之介 かのふ相勤ル  
六月十八日尾上新七死去 行年三十九歳 微妙院淨法日身

柴崎臺藏  
嵐 冠十郎  
嵐 吉三郎

濱松氏助  
奈河晴助







文政三 辰歲

座本 淺尾與三郎

九月廿五日ヨリ

岩井壽千代松本 淺尾勇次郎 嵐冠十郎 相勤

最貞願杜若東染 岩井半四郎 相勤

拙松の振 岩井松之助 相勤

松本幸四郎岩井半四郎義ハ天明年中當地へ登りし兩人の悴なり

又市川高麗藏事ハ此幸四郎の實子也

△嵐車丸事始中山門三ト云京役者なり先年江戸へ下りて嵐三八と改名又松本錦八と番附に出たれども跡より嵐車丸ト改名是嵐七五良の跡を繼也

○澤村源之助事ハ始澤村源平と云訥子か門人なり此度初登り也

△芳澤稻三良ハ幼名中山文吉ト云當地の産なり其後芳澤千代ト改文化八年江戸へ下りて此度歸り新參なり

十一月七日ヨリ

全盛雪の長柄

松勇操の高砂 中途より 嵐冠十郎 江戸行 出勤

翁 淺尾與三良 千歳 岩井松之助 三番叟 淺尾勇次良

文政四 巳歲二の替リ

座本 淺尾與三良

正月廿二日ヨリ

けいせい廓嶋臺

大切 戀裳花錦 三ッ人形 岩井松之助 相勤

三月十日ヨリ

隅田川花御所染

六の参る仇かしく 嵐吉三郎 改改名 嵐橋三郎 披露摺 物出ス吉三良を 猪三郎 悴大三郎

七月廿二日ヨリ 薙先代名松本 死ス委ハ北の新地ノ部又ハ角の部に見えたり

京紅藍杜若

赤松圓心緑陣幕

九月廿二日ヨリ 木下蔭挾閉合戦

俠詞花川戸

其昔戀緋纈

許媛房雛世話事

此狂言ヨリ ○坂東重太郎 出 ○嵐 小六 ○中山文七 ○嵐 舍丸 ○坂東國五郎 嵐小六 相勤 岩井半四郎

七月一座改 中村松江 淺尾工左衛門 岩井松之助 市川高麗藏 淺尾與三良 澤村長四郎 嵐 璃光 市川新藏 芳澤稻三良 市川宗三郎 市川おのえ 岩井半四郎 中村歌右衛門

澤村國太郎 市川國藏 芳澤稻三郎 澤村源之助 淺尾與三郎 嵐猪三郎 岩井松之助 嵐橋三良 市川おのえ 市川宗三良 岩井半四郎 市川虎藏 梶井兵助 市川丸藏 奈河晴助 奈河九三助 松本幸四郎



文政五 午歳顔見世

座本 浅尾與三頁

十一月八日ヨリ  
 三 十 石 盤 始  
 祝 詞 寶 來 山  
 十一月十八日ヨリ  
 三 十 石 盤 始  
 鬼 一 法 眼 三 略 卷  
 十二月三日ヨリ  
 鬼 一 法 眼 三 略 卷  
 容 競 出 入 湊  
 午正月十七日ヨリ  
 け い せ い 染 分 總  
 二月八日ヨリ  
 金 門 五 三 桐  
 男 切 作 五 鴈 金  
 三月十三日ヨリ  
 大 石 摺 花 櫻 短 冊  
 淀 屋 橋 喧 嘩

△浅尾奥山△嵐小六 退座  
 △浅尾奥山△嵐小六 出勤  
 △工左衛門番附にはあれども京都へ出勤する也  
 嵐小六 座附斗出勤  
 浅尾奥山  
 市川鯉十郎 市川市藏 小川吉太郎  
 澤村國太郎 市川市藏 中村歌七  
 三 榭 漁 江 浅尾國五郎  
 中村まもり 片岡仁左衛門  
 片岡愛之助 嵐小六 浅尾奥山  
 浅尾吉三郎 片岡小太郎  
 中村おのえ 桐山紋次  
 片岡松江 浅尾工左衛門  
 中村三光 中村歌右衛門  
 濱松氏助 市川市鶴  
 奈河晴助 市川市鶴  
 金澤龍玉 片岡鯉十郎

金門五三桐角中同狂言なり兩方共大入にて坂三津の此村大炊之助  
 人品骨柄よく大評判にて五右衛門より當る 角の大炊之助とは餘  
 程違ふ也此役ハ坂三津に極るナリ  
 大石摺ハ幕なしに致ス忠臣藏の中へ新狂言四幕出入レ月下清談聳入後日文章  
 孝行酒屋の筋也右狂言の中商人唐人カピタン當芝居見物ニ來リ先年角の芝居  
 之通り東場ニて見物又唐人をみると町方之見物も羣集す三月廿一日の事  
 カヒタン四十三歳 筆者二十三歳 外料廿九歳 右三人なり

七月一座改 座本 浅尾與三郎

七月廿八日ヨリ  
 和 訓 水 滸 傳  
 切 通 當 姿  
 八月十八日ヨリ  
 和 訓 水 滸 傳  
 織 合 襪 樓 錦  
 九月十八日ヨリ  
 釜 淵 雙 級 巴  
 嵐橋三郎追善狂言  
 初メ番附の役割に頼政を哥右衛門猪早太を橋三郎とあ  
 れど璃寬連中より追善の事也江戸歸り新參橋三郎ニ頼  
 政致させし少々もめ合急ニ橋三郎ニなる故に故璃寬の  
 頼政衣裳を其儘着て出る岡玉の身ぶりにて町中一統大  
 評判にてうけよし  
 大 切 清 和 源 氏 十 五 段 山 伏 攝 待 之 段  
 勇 老 嫗 壽 忠 臣 旗 揃 之 段  
 十一月十日ヨリ  
 菅 原 傳 授 手 習 鑑  
 久松おそめ 袂の白絞  
 中村歌右衛門○藤川友吉  
 ○澤村國太郎○中村三光  
 ○中山みよし 中村三光中途  
 ヨリ江戸行

鶴物語一座  
 德三郎改  
 嵐橋三郎  
 嵐吉三郎  
 嵐猪三郎  
 浅尾勇次郎 菅原の一座也  
 大谷紫友 嵐橋三良  
 中村東藏 中山一蝶  
 澤村長四郎 嵐冠之助  
 浅尾工左衛門 嵐富三郎  
 片岡小六郎 嵐富三郎  
 桐山紋次 嵐かのふ  
 中村哥七 嵐小六  
 浅尾國五郎 澤村長四郎  
 大谷友右衛門 片岡十藏  
 中村歌右衛門 桐の谷權十良  
 嵐彦三郎  
 嵐舍丸  
 片岡仁左衛門

市川鯉十郎 浅尾勇次郎 市川新四郎  
 市川市鶴 市川市藏 市川市藏  
 市川おのへ 市川助十郎  
 荻野錦子 市川團藏  
 澤村雛吉 嵐舍丸  
 あらし小六 片岡小六郎  
 瀧松氏助 片岡十藏  
 奈河晴助 澤村長四郎  
 片岡仁左衛門



文政六 未歳二の替り

座本 浅尾與三郎

正月十三日ヨリ  
けいせい品評林

二月一日ヨリ切付  
春霞住の江八景

神生鈴太夫 坂東重太郎  
二條のあん 嵐富三郎  
田原又太郎 片岡仁左衛門  
右狂言大入大當り 出勤

九月ヨリ

三月十七日ヨリ  
敵討乗合話

右狂言切にて一座上京ス

九月廿日ヨリ  
姉妹達大礎

浅尾勇次郎  
改額十良ニ成  
浅尾かなめ事  
勇次郎ト成

十一月  
雙蝶々曲輪日記

中當金藏入

嵐三五良 嵐來芝 初馬太郎ト云  
此度三五郎ト成 初舞臺也  
八ツ日  
右看板差出の所少々モメ合出来看板斗にて仕らずは尤是は役もめのよし  
相聞へは兎角橋三良新参故役もめ度々有之は共町請よき故大役付ル

大谷紫友  
三榎松五良  
津打門三良  
片岡我十良  
大谷友右衛門  
片岡仁左衛門

坂東重太郎  
嵐富三郎  
浅尾與三郎  
片岡松江  
桐の谷紋太良  
嵐の璃光  
嵐かのふ  
あらし小雛  
嵐小六  
片岡我十郎  
津打門三良  
嵐冠之助  
嵐秀之助  
奈河竹葉  
坂東重太郎  
嵐橋三良  
坂東十五良  
澤村長四良  
中山一蝶  
中山文七  
中山新九郎  
嵐團八  
片岡蝶十郎  
桐の谷權十郎  
坂東國五郎  
嵐舍丸  
片岡仁左衛門  
奈河晴助

文政七 申顔見世

座本 中村歌妻

式三木偶仕立子役

中山兒蝶 千歳 嵐勝三良  
三番叟 片岡島丸

右後見  
坂東重太郎  
浅尾額十郎  
片岡仁左衛門

顔見世狂言  
中當金藏入  
雙蝶々曲輪日記  
前二書記ス

五月十五日ヨリ  
須磨都源平躑躅

油商人廓話

右看板出れへとも仕らずは

中山新九郎病氣ニ付  
中山文七出勤ナリ

八月七日ヨリ  
競伊勢物語

伏見街道噂曉

九月十三日ヨリ  
國性爺合戦

戀女房染分手綱

播州皿屋敷

右狂言切一座上京ス  
○嵐かのふ出勤

藤川友吉 嵐橋三良  
小川榮次良 小川吉太良  
芳澤いろか 大谷紫友  
嵐璃光 澤村長四郎  
市川紅友 三榎松五郎  
中村鶴之助 嵐猪三郎  
嵐光三良 嵐舍丸  
嵐小六 嵐吉三良  
中途ヨリ出勤 嵐團八  
山下龜之丞 大谷友右衛門  
嵐富三良 中山新九郎  
中途ヨリ這入 中山文七  
奈河晴助

坂東重太郎  
嵐橋三良  
嵐三五良  
浅尾勇次郎  
片岡松江  
片岡我十郎  
浅尾額十郎  
中山文七  
嵐璃光  
大谷友右衛門  
片岡仁左衛門  
片岡蝶十郎  
坂東國五郎  
澤村長四郎

八月廿二日  
浅尾工左衛門死去  
行年六十七歳  
大圓院一妙日通



文政八歳

酉の二ノ替り

座本 嵐 吉之助

正月十三日ヨリ  
 ちとり 鳴 戸 白 浪 中途ヨリ  
 浅尾額十郎  
 病氣ニ付替役  
 市川虎藏  
 三月十二日ヨリ  
 けいせい 買指南所  
 △坂東壽太郎  
 △あらし小六  
 △嵐 團 八  
 退座  
 男 作 五 鴈 金  
 ○片岡仁左衛門  
 ○浅尾額十郎  
 四月十二日ヨリ  
 假名手 本 忠 臣 藏  
 出勤  
 五月十一日ヨリ  
 秋葉權 現 廻 船 漸  
 忠臣藏狂言切ニ  
 て△額十郎退座  
 京行  
 優 然 染 座 敷 入 景  
 右狂言中嵐富病氣ニ付廿七日切  
 休又々六月二日ヨリ相勤十日切  
 休み名古屋行  
 廿三日ヨリ  
 秋葉權 現 廻 船 話  
 座本 岩井槌之助  
 名 作 切 籠 曙

七月廿日ヨリ  
 日本歌 竹 取 物 語  
 七月ヨリ出勤  
 ○藤川友吉  
 ○小川吉太郎  
 ○中山一蝶  
 ○澤村國太郎  
 ○嵐かなふ  
 九月二日ヨリ  
 義 經 千 本 櫻  
 △中山一蝶  
 桂 川 連 理 柵  
 おはん 市川團藏  
 長右衛門 浅尾額十郎  
 右狂言切ニて一座上京  
 嵐猪三郎死去 六十歳  
 現判誰道環子信士 岡玉ノ弟  
 竹本中大夫死去 五十九歳  
 右三人兄弟也  
 七月ヨリ出勤  
 嵐 橋 三 郎  
 嵐 三 五 郎  
 大 谷 紫 友  
 市 川 虎 藏  
 嵐 舍 丸  
 坂 東 壽 太 郎  
 嵐 團 八  
 坂 東 國 五 郎  
 澤 村 長 四 郎  
 片 岡 小 六 郎  
 大 谷 友 右 衛 門  
 市 川 團 藏  
 嵐 富 三 良  
 市 川 浪 花  
 桐 の 谷 紋 太 良  
 嵐 吉 之 助  
 嵐 小 六  
 嵐 三 右 衛 門  
 浅 尾 勇 枝  
 浅 尾 勇 次 郎  
 中 村 歌 六  
 浅 尾 額 十 郎

文政九

戌歳二の替り

座本 浅尾與三郎

正月十三日ヨリ  
 伽 羅 先 代 萩  
 大切けい事 真似七變化  
 芝先ながら  
 二月十二日ヨリ  
 檀 浦 兜 軍 記  
 △大谷友右衛門△中村歌六  
 △片岡小六郎 伊勢行  
 三月十一日ヨリ  
 菅原傳 授 手 習 鑑  
 伊勢音頭 戀 寐 劔  
 ○尾上菊五郎○尾上松助  
 ○藤川友吉○中山文七  
 ○嵐團八 出勤  
 浅尾額十郎  
 中村芝翫  
 大谷紫友  
 市川虎藏  
 坂東七五郎  
 嵐 舍 丸  
 嵐 來 芝  
 片岡小六郎  
 中村哥四郎  
 坂東國五郎  
 大谷友右衛門  
 市川團藏  
 澤村國太良  
 澤村にしき  
 浅尾勇次郎  
 市川浪花  
 浅尾與三郎  
 中村歌六  
 作 金澤芝助

七月廿八日ヨリ  
 木 下 蔭 挾 閉 合 戦  
 中村歌右衛門 此度再勤ス  
 極 彩 色 娘 扇  
 男 けい事 夏 鉢 木  
 中村芝翫  
 相勤  
 八月十四日ヨリ  
 木 下 蔭 挾 閉 合 戦  
 極 彩 色 娘 扇  
 大 切 けい 事  
 中村玉之助  
 中村歌右衛門 相勤  
 九月十五日ヨリ  
 箱 根 靈 驗 毘 仇 討  
 源五兵衛  
 三五兵衛  
 五 大 力 戀 緘  
 右狂言十月十三日切ニて一座上京  
 十一月十五日嵐小六死去 四十四歳  
 扇月庵湖陸居士  
 七月ヨリ一座改  
 市川銀十郎  
 中村芝翫  
 中村玉之助  
 市川市藏  
 市川市鶴  
 市川助十郎  
 中村哥七  
 小川吉太郎  
 浅尾與三郎  
 嵐 舍 丸  
 中村歌右衛門  
 澤村國太郎  
 中村哥路之助  
 中村おのえ  
 中村鶴之助  
 嵐 璃 光  
 中村まもり  
 浅尾與三郎  
 澤村其柳  
 中村松江



文政十 亥歳二ノ替

座本 嵐 吉之助

正月十二日ヨリ  
けいせい遊山櫻

右狂言角中同狂言也大入之所二月五日角の芝居より出火  
ニ付類焼致し一座上京ス四月普請出来ぬニ付一座下ル

四月五日ヨリ  
拳 輝 廓 大通

五月七日ヨリ  
國 訛 嫩 笈 摺

けいせい棧物語

世話料理八百屋獻立

九月十二日ヨリ  
勝 関 芋 源 氏

八重霞浪花濱萩

十月四日ヨリ  
勝 関 芋 源 氏

八重霞浪花濱萩

關 取 千 兩 幟

二ノ替退座  
△市川團藏△市川助十郎  
△市川虎藏△坂東七五郎  
△藤川友吉△坂東國五郎  
△中村歌六△坂東壽太郎

此狂言ヨリ

○中山喜樂

○澤村與太郎

○中山新九良

○中山新九良

○中山新九良

○中山新九良

藤川友吉 嵐 吉三良

市川浪江 市川市藏

浅尾勇枝 大谷紫友

嵐 かなふ 三榊松五郎

嵐 富三郎 坂東七五郎

市川菊之介 市川助十郎

市川吉之介 浅尾額十郎

中村歌六 坂東壽太郎

市川團藏 市川虎藏

坂東國五郎 嵐 舍丸

大谷友右衛門 市川鰻十郎

市川團藏 市川市鶴

七月十六日市川鰻十郎死去  
行年五十一歳 蘭有秀山信士  
辭世 新升  
西入りの空ありかたき盆の月

文政十一 子歳二の替リ

座本 嵐 吉之助

正月十八日ヨリ  
けいせい素袍臺

右狂言切ニて名古屋行  
此狂言ハ濱芝居にてハ近頃も出シなれと大芝居にては餘リ  
出ぬ狂言也尤此度ハ二段目迄は寛政の頃角の座にて親市紅  
片岡嵐吉ニて出したる新狂言挾妻櫛を武場入れたるなり

三月十一日ヨリ  
鬼一法眼三略卷

戀飛脚大和往來

九月十二日ヨリ  
日本花赤城鹽竈

隅田春妓女容性

十月十二日ヨリ  
御所櫻堀川夜討

織合襪樓錦

鬼一狂言切退座△嵐來芝△淺尾内匠

市川市藏改

故人鰻十郎追善ニ

切狂言ニ出勤ス

九月より出勤

浅尾額十良

嵐 富三良

嵐 舍丸

市川重太良

中山新九良

鬼一法眼一座

藤川友吉

中村哥女

市川吉

市川友之介

中村おのへ

中村まもり

あらし三右衛門

瀬川路之助

中村松江

中村額之介

市川團藏

小川吉太郎

中村梅助

市川虎藏

中村歌七

中山文七

嵐 來芝

浅尾國五郎

中村元朝

浅尾内匠

市川鰻十良

中村歌右衛門

井筒一齋

澤嵐納老

坂東國五郎

三榊松五郎

坂東重五郎

澤村長四郎

市川市鶴

嵐 舍丸

大谷友右衛門

浅尾額十郎

嵐 富三良 嵐 橋三良

中村鶴之助 嵐 三五良

澤村にしき 嵐 雛助

嵐 吉之助 大谷紫友

嵐 かなふ 嵐 吉三良

浅尾勇枝 中山新九良

芳澤圓次郎 市川助十良

澤村國太郎 浅尾奥山

坂東壽太良

嵐 冠十良

坂東國五郎

三榊松五郎

坂東重五郎

澤村長四郎

市川市鶴

嵐 舍丸

大谷友右衛門



文政十二 丑戌二ノ替り

新うすゆき物語

右狂言角中同狂言なり奴妻平役角ハ梅玉也當座は璃寛なり  
右役璃寛ハ團あけたり町受よく男まへよく大入大當り也

角中て奴同士が喧嘩して  
挨拶したら中がよかるふ

座本 片岡嶋丸

中山一校改名

嵐 璃寛  
中山一徳 嵐 三五良  
嵐 福松 坂東重五良  
坂東榮次郎 嵐 璃三良  
藤川友之介 あらし雛助  
嵐 璃光 嵐 吉三良  
嵐 かなふ 市川助十良  
坂東彦太良 坂東壽太良  
あらし璃友 嵐 團八  
袖巻いろか 市川市鶴  
藤川友吉 澤村長四郎  
片岡蝶十良  
坂東國五良  
大谷友右衛門  
片岡仁左衛門

三月廿三日ヨリ  
けいせい 楊柳櫻

○市川團藏  
○市川虎藏  
○嵐 舍丸

五月十二日ヨリ  
ひらかな 盛衰記

五月一座改

座本 市川樹之助

夏祭 浪花鑑  
大切もどり 駕  
伊達競阿國劇場  
平井權八 花川戸  
忠孝 譽二街  
鬼若名 殘馨  
近江源氏先陣館

江戸ヨリ  
市川白猿來ル  
此狂言ヨリ  
○嵐三五郎 出勤  
市川白猿名殘相勤申

中村一徳 坂東壽太郎  
市川錦車 嵐 三五郎  
嵐 朝霧 市川重太郎  
嵐 璃光 市川虎藏  
藤川友之介 市川助十郎  
坂東榮次郎 市川白猿  
藤川友吉 嵐 團八  
坂東國五郎  
嵐 舍丸  
大谷友右衛門  
市川團藏  
並木吾輔

天保元 寅歳二の替り

座本 藤川勝三良

正月吉日ヨリ  
けいせい 鏡稻妻

江戸狂言 右看板差出しハ處白猿幸四郎角の座へ出勤  
ニ付看板斗ニて不仕ハ岩井条三郎江戸より呼戻しニ付  
中途より早々江戸へ歸ル右ニ付看板出し替ル左之通

正月廿六日ヨリ  
鏡山舊錦繪 緘合つゞき五幕

八月ヨリ一座改

座本 澤村龜吉

今川本領 猫魔館  
鏡山 舊錦繪  
閏三月三日ヨリ  
太功 艶状合  
異風 艶仲町  
彦山 權現誓助鋳  
花楓 浪花詠  
勢州 阿漕浦

△尾上菊五郎△淺尾額十郎 退座  
△尾上菊五郎△淺尾額十郎 退座  
岩井条三郎此度初舞臺右役劇出シ稽古中如何の譯合やら急に江戸へ  
引歸リ歸國ス故にお初役坂彦相勤餘之役ハ玉三郎勤前代江戸表此度大  
火ニて芝居不殘燒失ニ付玉株役者皆々登リナリ

澤村國太郎  
澤川路之助  
中村花曉  
中村まもり  
中村松三良  
嵐 富三良  
嵐 三右衛門  
澤村にしき  
中村三光  
中村哥女  
中村松江

岩井久米三良 淺尾額十良  
坂東玉三良 尾上松助  
尾上菊三良 市川高麗藏  
尾上菊藏 市川白猿  
淺尾勇次郎 松本幸四郎  
藤川友之助 尾上傳三郎  
淺尾勇枝 大谷門藏  
藤川友吉 澤村四郎五良  
尾上菊五郎 尾上菊五郎

八月十二日ヨリ  
彦山 權現誓助鋳

○坂東壽太郎  
○市川虎藏  
○あらし團八  
○同 雛介  
○中山一とく  
○大谷友右衛門

澤村にしき  
中村三光  
中村哥女  
中村松江

八月十六日  
嵐富三郎死去  
行年四十一歳

花楓 浪花詠

此狂言九月二日切相休  
角の芝居へ行

中村三光  
中村哥女  
中村松江



天保二 卯歲

座本 中村梅藏

正月十七日ヨリ  
けいせい 繁夜話  
右狂言にて角へ引越

七月廿三日ヨリ  
一の谷 嫩軍記

義經 腰越 狀

戀飛脚 大和往來 △嵐吉三良 退座

九月十五日ヨリ  
敵討 高音 鼓

平惟茂 凱陣紅葉

十月九日ヨリ  
復讐 高音 鼓

姫小松子の日遊 洞ヶ嶽

彫刻 左小刀  
右狂言廿日切一座不殘上京

七月ヨリ出勤

○浅尾額十良

○浅尾勇次良

○中村仲助

○中村歌門

○中村鶴十郎

嵐國八事當春勢州より戻り秋の比より  
難波新地野川南出口ニ草庵ヲ結び剃髪  
して鬼子母神守護して世を安ふくらす  
也

澤村國太良 市川團藏  
瀬川路之助 小川吉太郎  
坂東榮次郎 市川重太郎  
坂東彦太郎 嵐吉三郎  
中村梅花 市川虎藏  
嵐 璃光 中山新九郎  
中村哥女 中村歌七  
中村花曉 中山文七  
澤村にしき 坂東壽太郎  
中村三光 浅尾國五郎  
嵐 三右衛門 中村東藏  
中村松江 中村七右衛門  
坂東七五郎  
坂東國五郎  
嵐 舍丸  
市川蝦十郎  
中村歌右衛門

作者 並木吾輔  
西澤一鳳  
金澤龍玉

天保三 辰歲 顔見世

座本 中村鶴三良

十一月十七日ヨリ  
扇矢數 四十七本 翁 嵐

辰 春 祝 秀 顔見世 狂言

大切 おそれあり 浪花戲場

正月二ノ替リ  
けいせい 花山崎

右狂言看板斗リにて不仕

傾城 品評 林

右狂言切にて角の芝居へ引越

八月十日ヨリ  
繪本 殿下 茶屋 聚

那知山 拂曉 浦朝 霧

御利生 大切所作事

希露 惠秋 草

右狂言仕所市中風流行し  
一座風引いニ付十月十三日  
切相休申

千歳 尾上梅之丞  
小七 尾上多見藏  
三番叟 尾上多見藏

二の替リヨリ出勤仕リ

○中村歌右衛門 ○中村松江 ○小川吉太良 ○中山文七 ○中村東藏  
○中村仲介 ○嵐舍丸事大谷友右衛門 ○中村哥門 ○岩井紫若

八月より一座改 座本 嵐竹治良

座本 中村玉之助

澤村國太良 嵐 璃光  
中山南枝 坂東彦三郎  
中山みよし 片岡我當  
中村哥女 三升松五郎  
嵐 徳三良 嵐 吉三良  
澤村鐵之介 市川助十良  
岩井紫若 坂東壽太郎  
浅尾爲十良 浅尾工左衛門  
中村友三 中村友三  
坂東國五郎 坂東國五郎  
澤村長四郎 澤村長四郎  
浅尾與六 浅尾與六  
片岡仁左衛門 片岡仁左衛門

浅尾額十良 市川團藏  
浅尾延三良 市川虎藏  
あらし小七 市川團三良  
中村哥七 市川團藏  
尾上多見藏 尾上多見藏  
坂東壽太郎 坂東壽太郎  
浅尾爲十郎 浅尾爲十郎  
坂東七五郎 坂東七五郎  
坂東國五郎 坂東國五郎  
市川團藏 市川團藏  
藤川友吉 藤川友吉  
浅尾八百三 浅尾八百三  
澤村みどり 澤村みどり  
浅尾勇次郎 浅尾勇次郎  
中山南枝 中山南枝  
嵐 かのふ 嵐 かのふ  
藤川友之介 藤川友之介  
坂東榮次良 坂東榮次良  
澤村國太良 澤村國太良



天保四 巳歳顔見世

座本 嵐竹治良

十一月廿三日ヨリ

相馬太郎 葎文談

千歳 嵐徳三良

三社 三榊松五良

岩井紫若 嵐璃寛

姫小松子の日遊

中村歌女 三番叟 坂東彦三良

中村友三

澤村鐵之介 片岡崙丸

神勅嫁入小鍛冶

二ノ替リ切ニテ△岩井紫若△嵐三五郎 退座

嵐三右衛門 嵐吉三良

正月十七日ヨリ

姫競雙葉繪艸紙

淺尾改

九月一座改

座本 嵐三津桶

岩井紫若 嵐璃寛

三月廿七日ヨリ

有職鎌倉山

○實川額十郎

岩井紫若

嵐璃寛

澤村鐵之助 小川吉太良

川中島合戦

○中山南枝

ふじ川八甫

中村鶴十良

中村歌六 澤村長四良

東訛戀深川

○市川虎藏

嵐璃光

片岡我甫

中村友三 坂東彦三良

九月廿五日ヨリ

嶋廻月弓張

○尾上傳三郎

藤川友之介

淺尾工左衛門

淺尾國五郎

大經師昔曆

○淺尾與六

中村歌六

澤村長四郎

三榊松五郎

右狂言故人嵐橋三良追善狂言なり中途より嵐璃寛病氣ニ付爲朝役片岡我當相勤ム

片岡我當事初市川新之介又嵐橋次郎ト改メ璃寛の門人となる此度片岡之養子となり片岡我當ト改名ス

片岡仁左衛門

岩井紫若 嵐璃寛

天保五 午歳二ノ替リ

座本 嵐三津桶

正月十六日ヨリ

けいせい染分總

此狂言切ニテ

△中山南枝

△坂東彦三良

岩井紫若 嵐璃寛

容競出入湊

△坂東彦三良

退座

中村友三

藤川勝三郎 片岡我當

伽羅先代萩

右狂言初ハ璃寛兼鐵之介二役なりしが俄に澤村訥升這入し故頼兼役を訥升ニ譲ル目見ヘ狂言ニ葎萱ヲ付ル

十月一座改

座本 嵐勝三良

坂東榮治良 坂東壽太郎

同廿五日ヨリ

葎萱桑門筑紫轆

源之介事

嵐篤三良

嵐璃寛

澤村鐵之介 市川助十郎

五月八日ヨリ

臺頭縁色幕

○中村南枝

澤村其若

片岡我當

坂東榮治良 坂東彦三郎

ひらかな盛衰記

出勤

嵐光扇

小七

中村友三 坂東彦三良

鐘鳴今朝尊

あらし璃友

市川鯉十郎

三升松五郎

片岡仁左衛門

十月五日ヨリ

伊賀越乗掛合羽

右狂言大西にて仕所十月五日より當座へ引移り興行致し十月廿五日切ニテ相休一座不殘上京致ス

片岡市藏

嵐橋五郎

中村友三 坂東彦三良

右狂言大西にて仕所十月五日より當座へ引移り興行致し十月廿五日切ニテ相休一座不殘上京致ス

片岡市藏

嵐橋五郎

中村友三 坂東彦三良







天保七 由歳二ノ替リ

座本 中村富三良

正月廿四日ヨリ

花魁 荅 八 總

嵐璃寛病氣ニ付

中途より代り役嵐璃瑤相勤

關三十郎病氣ニ付

代り役市川鰻十郎相勤ム

淺尾爲十郎死去

代り役中村翫十郎相勤ル

- 中山南枝 嵐 璃 寛
- 中村富三良 中村歌十良
- 中村哥保世 市川新四良
- あらし璃友 あらし小七
- 山下金作 嵐 橋 五 郎
- 實川勇次郎 嵐 璃 瑤
- 藤川勝三郎 中山文七
- 中村のしほ 市川鰻十良
- 中村富十郎 坂東壽太郎
- 關 三十郎
- 作 西澤一風 淺尾爲十郎
- 山村友右衛門
- 中村翫十郎
- 關 哥 助
- 坂東七五良
- 片岡市藏
- 片岡仁左衛門

此狂言ハ東武曲亭馬琴作りたる里見八犬傳を此度一風が作しなり尤一昨年若太夫芝居にて始て此の八犬傳を金花山雪曙ト外題して坂彦一座にて出す事ありさのみ是といふ程の事なし不評にて不入なり尤狂言の書よふも此度ハ一しほ念入西澤が餘程骨を折て作ス此狂言看板出しより町受もよく評判致せし所稽古中より關三十郎病氣ニ取合夫故段々初日延引なりし所關三金快成りかたき故に俄ニ市川鰻十郎ヲ入番作ト額藏を初日出ス關三ハよう、二の切富山場段切ニ鳥渡出る斗也其上又々狂言の揃ハゆ内に璃寛病氣故替り役瑤瑤相勤又爲十郎死去ニ付替り役中村翫十郎勤ム如斯混雜故序二段目庚申塚の段番作住家の段糞六内之段圓塚山の段切にて跡は出ス日數わづかニて止ム夫より關三璃寛病氣全快して又々三ノ替リ八犬傳續ヲ書ク

三月十六日ヨリ  
續編 花魁 荅 八 總  
前編の場でアチコチ抜て済我の館の段ト芳流閣行徳村入江橋吉原對牛樓ノ段都合二幕を付ル此度も評判宜しからず不入也狂言隨分よく書てあれともいかゝの事にやはづみなく残念、是ハ始から役者に病人ありて初日延引故也

右狂言續編行徳之段小文吾内之段房八役を嵐璃寛にて書たる所右同人病氣ニ付俄ニ敵役ニ代り片市ニ致スユエ狂言ノ趣向大ニ混雜ス是はやはり璃寛ニして致さばおもしろからんニ残念、

八月一座改

座本 嵐 三津橘

八月廿三日ヨリ

頼政 鶴物 語

三代目 始瀧十良良

市川鰻十郎死去 五十五歳

九月十二日 靈雲軒龍山日騰信士

油商人 廓語

右狂言九月十九日切相休

- 中村歌六 嵐 璃 寛
- 中村のしほ 嵐 吉三郎
- 中村歌蝶 中村亦十郎
- 中村哥南女 市川新四郎
- 實川勇次郎 中村翫十郎
- 山下金作 中村哥十郎
- 藤川勝三郎 市川助十郎
- 中村哥保世 市川鰻十郎
- 澤村富三郎 嵐 璃 瑤
- 中村富三郎 三樹松五郎
- 中村富十郎 中山文五郎
- 中村友三
- 大谷友右衛門
- 片岡仁左衛門



天保八 酉ノ歳二ノ替リ

座本 中村梅太郎

二月七日ヨリ  
けいせい玉手綱 江戸戻り 三樹源之助 芝翫事 中村歌右衛門  
鶴介事 中村芝翫 歌右衛門事 中村玉助

此狂言は戀女房を題にして小六玉と元祖の奥山と團藏にてせし  
勝武草奴道成寺云狂言ヲ少々入アル 三段目慶子のジツン  
シヨのお三役ノ場都テとんく三吉を女形にて書たる様ナ物也

熊坂物見松 三樹源之介 御目見狂言

右狂言仕の處二月十九日天満より大火にて大騒動ニ付芝居休  
尤此日二段目中程迄して止ム又々三月三日ヨリ改めて口上書をそ  
へ町中へ番附を配り再ヒ初日出ヌ然れ共右大火後の市中淋しく  
一向不入ニて無程相休ム

五月廿日ヨリ

若葉開嬉心船橋

極彩色娘扇

此節茶高之時節故市中一統芝居氣にならず當五月替りも一向不入にて日數わづかにて止ム右に付  
盆替りも角中とも出来そふもなく嵐の内茶屋道頓堀川竹芝屋茶屋一統に商ひなく淋敷事故一統相  
談之上梅玉翫雀を頼み豊年辻占踊と號して十二三軒の屋臺を拵へ兩方へぼんぼりを數多つらせ踊  
り人には左之通り之役者なり

中村歌右衛門 小川吉太郎 中村歌七 淺尾與六 中村芝翫  
中村芝藏 中村蘭九良 淺尾友藏 嵐橋五郎

中村歌六 三樹源之助  
中村歌門 中村芝翫  
中村のしほ 中村壽良  
瀬川路之介 中村亦十良  
山下金作 淺尾友藏  
嵐かなふ 中村歌七  
中村富三良 小川吉太郎  
中村かほよ 中村玉助  
中村鶴之助 中村文七  
實川勇治良 中村芝藏  
中村富十良 中村蘭九郎  
作 西澤奇語 中村藤藏  
金澤龍玉 淺尾工左衛門  
中村歌右衛門

八月十六日ヨリ  
十帖 源氏物くさ太郎 四段目 まで  
五後 大方戀緘 上中下  
勢前 蒔阿漕浦 濱邊段 平二内段  
當狂言幕數多く大ニはやる全く  
時節柄ゆへ梅玉のはり込ニて受  
よし切狂言五大力ニて玉助万太  
郎役は御馳走也後ハ此役芝翫へ  
譲る也

座本 中村鶴之助

九月廿八日ヨリ

鬼一法眼三略卷

往古曾根崎村尊

會稽雪鉢木

鬼一法眼三略卷

往古曾根崎村尊

會稽雪鉢木

夕きり 伊左衛門 廓文章

右狂言十月廿七日切にて相休

中村歌六 三樹源之助  
中村のしほ 中村芝翫  
瀬川路之助 中村壽良  
山下金作 中村蘭九良  
嵐かのふ 中村歌七  
中村かほよ 中山文七  
中村哥門 中村玉助  
三樹大三良 小川吉太郎  
中村富十郎 中村芝藏  
淺尾工左衛門  
中村歌右衛門



天保九 戊戌二ノ替リ

座本 中村鶴之助

正月吉日ヨリ

けいせい 楊柳櫻

契情 反魂香

右狂言看板斗ニて不仕  
一當狂言一座角中かけ持の趣向  
にて看板出したれ共俄に翫雀江  
戸行之義出来れは止メ成委細角  
の座巻記ス

正月十四日ヨリ

假名手 本忠臣藏

同計略 花吉野山

大切 昔慕やはり七化

右狂言中村歌右衛門江戸表へ罷  
下りの名残相勤申の

三月十六日ヨリ

壁繪 箱根曙

右狂言看板出しの所初日前ニ譯  
合有て興行なし

此節柄とて芝居不景氣ニ付三月上旬梅玉の思ひつき

ニて町中へ状を配る 近年立者役者數十人ハタ

と死去し其上近年柄ニて芝居兩座とも年中興行難相

成道頓堀川竹自から不景氣ニ相成且近頃ハ大芝居之

役者共濱芝居へ年中下りて興行したり役者不人之上

猶更大芝居不座と也かたゞにていよ不雙昌之

基となる事歎敷依て此度より急度かよの義相改打

續興行仕の様致度ハ故何卒御取立ト思召以前ニ限ず

御見物の程御願申上レトの文を杉原ニツ折を裏表へ

かけて長々とした文言の状を家毎ニ配り上書ニハ

何旦那様 中村玉助

然とも程なく梅玉死去せし故

趣意も立すそのまゝに成りし

は残念

- 市川助十郎
- 中村歌十郎
- 中村亦十郎
- 中村壽郎
- 中村歌七
- 中山文七
- 中村芝藏
- 市川新四郎
- 中村友三
- 淺尾工左衛門
- 中村歌右衛門
- 山下金作
- 中村哥菊
- 中村歌六
- 中村哥門
- 中村鶴之助
- 中村巴丈
- 嵐 璃光
- 奈河一泉

戊五月八日ヨリ

けいせい 博多織 上下

苧萱桑門 筑紫鞆 三ノ切

戀陸奥 婦女盜賊 上中下

梶原平三 紅梅鞆 三ノ口切

此頃天満天神御靈其外所々の砂持大はやり市中より素人の  
ねり物美を盡し町々をひきあるき其外おどり大はづみニて  
芝居氣にならず夫故不入なり

一 七月 中村玉助死去 行年六十三歳

歌唄院宗譜日徳居士

寺ハ東高津中寺町西北角 正法寺

本葬ハ七月廿五日右正法寺へ四ツ時ニ野送り

其日ハ朝から葬禮見んと出る人嶋の内高津道頓堀邊の羣集いはんかたなし葬式の美々しき事けい

この役ハ表方皆生ひら帷子揃へにて凡二百人斗り次ニ影燈籠持百人斗り送り人ハ芝翫 慶子 歌

六を始め門人凡百人斗り其外源之介 與六 役者衆百人斗然し哥右衛門江戸行とて居合さずハ殘

念ハ斯の如く送人故羣集するも理なり

石碑は正法寺ニ存命中より見事なるを建立したり石碑の裏に梅玉自語由來書彫入てあり

又辭世に 南無さらば妙法蓮花經かきり 碑の横に彫入アル

又辭世に 嗚呼名殘おしや此世の別れ道妙法蓮華經の旅立

梅玉死去に付手向艸

- 中山よしを
- 實川勇二郎
- 中村かほよ
- 藤川勝三郎
- 嵐 三右衛門
- 嵐 かなふ
- 中村巴丈
- 瀬川路之介
- 中村富十良
- 市川助壽良
- 中村芝翫
- 中村文十郎
- 淺尾友藏
- 淺尾大吉
- 嵐 璃玉
- 中山文七
- 小川吉太郎
- 中村歌七
- 中村翫十郎
- 嵐 橋五郎
- 中村東藏
- 淺尾與六
- 中村玉助



歸る雁聞てもおもふ其秋そ  
春雨やもたれ火鉢のなつかしき  
其薫りもやと見えたり梅も哉  
夢の世や蝶の羽風の跡や先  
流れ行瀬や山吹の色なから  
友鹿や兔に角力おとし角  
臚夜や其おもかけのわすられず  
霞み行人見て立や野の小鹿  
七尺の影も尊き柳かな  
足跡の恩さへ深し苗代田  
立鳥の跡や雪解濡る袖  
跡までも光る彼岸の入り哉  
風きれてむなしき空を詠め鳥  
鳥の巢や鳥の居ぬらし臚月  
思ひきや此涅槃像おかむとは  
蛙にも耻す只なく雲雀哉  
晴かいひも今年は梅淋し  
かけるふや梅の匂ひの絶し跡  
七艸やたゝかれた夜もなつかしき  
東風かへせ西に在する梅佛  
其秋をおもへば月の臚哉  
兔角して袖の雫や春の雪

杜若 紫水 薪舎 慶幸 梅山 白猿 哥十 芝雀 翫子 慶子 梅子 梅舎 梅叶 路曉 秀調 巖獅 飛鶴 英子 芝翫 龍玉 吾斗 梅竹 人

誠に梅玉存命中抑三十歳の頃より評判を出し夫より日々  
に勢ひにて江戸行まへ後などの道頓堀の賑ひは言ふもさ  
らなり岡玉も張合て大に賑ひし岡玉死後ハ目徳璃寛と張  
合て又々賑ひし梅玉に懸て身代を潰した人又錢もふけし  
た人かずあれず此人の芝居は大序より立者を數多出しあ  
たなる場は増補をしてまじう面白く取組大序より大切迄  
見物たいくつなきよふにするゆへ見物は夜の中より詰掛  
るよふになり幕敷を多くし幕をはやふあけ狂言を陽氣ニ  
取組衣裳を花麗に飾り道具立を見事にし其身小兵なれど  
仕打に肺肝を碎きて得心させ都て見物の氣をとる事妙な  
り男前はわるし聲跡はひくし噂をきけばとるところなき  
役者なるに如何してや人氣をよせる事きゝ妙なること  
諸君子のちり給ふ所なり實に哥舞妓においては勳功あ  
る事廣大無邊よつて三都物藝頭となる後世に此道のか  
みとなるへしおしむへし

戌八月 室町容筆播筋巡り

中村玉助 一谷嫩軍記 三ノ口

追善狂言 紅筆戀取組

仇なかしくのちらし書<sup>シテ</sup>とかけた  
なそく<sup>ナソク</sup>に角力とらせて白藤源太  
右切狂言江戸作なり

前狂言ハ血屋敷の書直し也  
お菊半衛御前と拳禪の傳七を女形にてする様な狂言なり  
切狂言は江戸狂言にして當地にてはまた出ぬ狂言也文政四  
巳ノ五月京都北側にて坂三津高麗屋杜若の座組にてする白藤  
源太下駄のは入の権介町けい子お俊也それを此度役名を梶の  
長兵衛とかしくトに書替る也  
一の谷組打の段にて富十郎狂言中ニ芝翫熊谷之形にて引合し  
長々ト口上玉介死後執れも力を落し悴芝翫に早速追善狂言致  
させんと色々相談致したれと未だ若年之芝翫事故是迄大役も  
致したる事なき當惑之所芝翫幼年之中より親玉助狂言の内  
此熊谷役ハよく吞込るよしニ付及ハすなから追善の爲め相  
勤めさす故玉助か俤を見る斗りと慶子の美音にて長々と口上云

中村巴丈 中村芝翫  
藤川勝三郎 中村歌十郎  
中村梅藏 中村亦十郎  
中村鶴之助 中村鶴十郎  
嵐 璃光 中村歌七  
三樹大五郎 坂東壽太郎  
中村富十郎 小川吉太郎  
中村歌十郎 中村芝藏  
中村芝藏 中村芝藏  
浅尾大吉 浅尾大吉  
三樹松五郎 浅尾與六  
三樹源之助 三樹源之助



九月十二日ヨリ

契 情 品 評 林

蘆屋道滿大内鑑

慶子葛の葉役にて障子へ書く戀しくハの哥を此度ハ少々かへて書也  
戀しくは尋てもかな和泉路の信田の森の忍ハれぬ世に  
是ハやはり有來りの哥かよし夫故不評也

天保十 亥歳二ノ替リ

座本 三榊大三郎

ちどり 鳴 戸 白 浪  
けいせい 買指南所

染模様妹脊門松

當前狂言安達原一ツ家を書直したるよふな三段目也  
與六老女岩手役 芝翫織部本名小坂部和三郎役金齋  
ニて乳母岩手にかくまはれる所 すま代役三右衛  
門をころすまで丸で安達原一ツ家なま也後和三郎金  
齋直りて葛籠せおいは入幕切五右衛門也

中山よしを 三榊源之助  
中村哥門 實川延三郎  
中村かなめ 中村鶴十郎  
山下八百三 嵐冠十郎  
嵐かなふ 中村芝翫  
嵐三右衛門 市川助十郎  
中山一徳 中村蘭九郎  
瀬川路之助 中村東藏  
中村歌六 淺尾與六  
金澤龍玉 坂東壽三郎  
三榊大三郎

尾上多見藏 中村芝翫  
山下金作 中村歌十郎  
尾上梅之丞 中村鶴十郎  
中村鶴之介 嵐冠十郎  
中村巴丈 中村哥七  
嵐 璃光 小川吉太郎  
三榊大三郎 三榊松五郎  
中村梅花 中村芝藏  
瀬川路之助 中村友三  
中村富十良 淺尾與六  
三榊源之助

伊賀越道中雙六  
染模様妹脊門松

△坂東壽太郎  
△中村芝翫  
△中村哥門  
退座

橋五郎事 嵐冠十郎  
十 六 事 淺尾淺五郎  
初 舞 臺 市川筆五郎  
實川八百三事 市川新十郎  
中村梅枝事 坂東鳴十郎  
初 舞 臺 三榊他人  
市川はり藏事 江戸坂京藏  
初 舞 臺 尾上芙蓉  
初 舞 臺 市川森之助  
二 代 目 嵐 團 八

三月十日ヨリ

伊賀越道中雙六

○中村友三  
○片岡我童  
出勤

九月十三日ヨリ

和田合戦女舞鶴

九月一座改 座本

中村富助

伊達娘戀緋鹿子  
大道行吾妻からけ

右狂言十月五日切相休み一座上  
京ス

十一月七日 嵐舎九改

大谷友右衛門死去  
釋 全使 四十七歳

九月廿六日 嵐 璃光死去

純雄璃光信士 五十二歳

作 西澤李叟

市川森之助お七吉三狂言中途  
より退座ス替役吉三中村歌七  
右役ハ歌七の方が餘程受よし  
中村歌七始ハ嵐勝三郎といふ  
て璃寛の弟子也哥七の養子と  
なり中村勝三郎と云此度中村  
歌七と成能やつし也



天保十一歳 子の二ノ替り

座本 中村富助

正月廿二日ヨリ二月廿日マテ  
けいせい雪月花  
先年梅玉瑠寛トせしを少々ツ、増補ある三段目松浦新吾  
我童 此兩人後ニ花屋徳兵衛女房お房  
三月十五日ヨリ四月二日マテ  
蝶々曲輪日記  
と成ての世話場龍玉の書入作ナリ又四段目へ稚兒淵の茶  
屋場ヲ入ル段切ハ梅玉のせし雪月花ナリ五右衛門出口の  
大西ト張合ニ致すナリ  
柳の所の大立を取て多見藏福升屋大介  
義臣傳讀切講釋  
本名齋藤藏之介ニて参ハ替リあれと  
八月一座改  
猿曳門出 諷  
道具ハ出口の柳にして大たてをうつ  
片岡我童  
當狂言猿曳丈ケ一世一代坂東壽太郎相勤ハ口上出看板出ス  
右狂言四月二日切相休一座不殘堺へ引越 初舞臺二代目中村歌之助  
繪本殿下茶屋聚  
中村巴丈  
道中龜山嘯  
右狂言看板斗ニ不仕ハ  
一座北ノ新地へ引越  
中村大三良 市川高麗藏  
伊勢音頭戀寐劔  
一座北ノ新地へ引越  
中村巴丈 中山文七  
八月十七日ヨリ  
姫競雙葉繪艸昏  
江戸登リ市川高麗藏  
中村巴丈 市川高麗藏  
隅田川續 倂  
中村玉助追善狂言致ス  
藤川八太良 中村蘭九郎  
十月四日ヨリ  
花楓伊呂波評判  
此狂言の内へ此頃御城  
瀨川路之助 三榊松五郎  
關取二代勝負附  
同心の家ニ奉公せし下  
片岡あやめ 中山文五郎  
三榊大五良十七廻忌追善狂言仕ハ  
三榊源之助 相勤  
中村富菊 三榊源之助  
中村富十良 中村芝翫  
中村芝翫 入て二三日にてやめ申ハ

天保十二 丑歳二ノ替り

座本 中村富助

正月十八日ヨリ開正月廿五日迄  
けいせい楊柳櫻  
△三榊源之助△中村慶十郎 閉正月晦より  
△三榊大三郎△中村壽郎 文恭院様御薨  
けい事 津 汐 汲 去ニ付二月五  
△三榊松五郎△中村菊五郎 日ヨリ五十日  
△中村歌之助 退座  
四月十日ヨリ  
天満宮茶種御供  
五郎金安治川芝居表ノ所斗にて右芝居狂言にし  
て夕霧ヲ致ス也 ○市川團藏罷出ハ  
男 作 五 鴈 金 慶子 團藏 相勤  
夕きり 廓 文 章 此狂言開  
伊左衛門 廓 市川團藏 中村富十郎 浅尾工左衛門 市川新十良  
五月十二日ヨリ  
けいせい繁夜話  
市川團藏 中村巴丈 中村友三 三榊源之介 京へ行  
伊勢音頭戀寐劔  
右狂言團藏富十郎源之介など京都へ登リハニ付  
甚不座なれどその間に斯如き取組にて打故直  
段大西若太夫同直段にて見せるとの口上を富十郎出ス也  
八月三日ヨリ  
けいせい百萬國  
中村芝翫  
廓獅子花富艸 中山よしを 相勤  
敵討高砂松 中村富十良  
坂東壽太郎事去年盆替りより大西へ出勤ニて金ひら  
御利生と次ニ九月ニ妹春山又十一月ニ近江源氏ニハ  
名前斗にて出勤なく終ニ十二月廿四日死去致ス  
子十二月廿四日 本性院宗貞日壽信士 七十二歳  
坂東壽太郎



此狂言文政十歳亥閏六月十二日讃岐に於て兄の敵を討し事  
江州膳所の家小平井市郎次國元にて我家へ出入り辰藏と云  
者に討れ其弟に平井外記同九市と兩人所を尋廻り防務吉川  
殿の家黒杭才二郎ト云浪人して虚無僧となり雲龍と改ム  
是を助太刀に頼み終に右辰藏を生國讃州羽床下村にて敵に  
出合亥歳六月十二日ニ本望ヲ遂けしなり此一件風説をとり  
同年八月に大西芝居にて新狂言を出ヌ外題則高砂松にて尤  
濱芝居なれど役割あらまし記す

外記左衛門 市川瀧十郎 九一郎 澤村源之介  
市郎右衛門 山 才次郎 尾上多見藏  
圓山 大谷万作 辰次 大谷友次  
曾平 中山みよし みとり 嵐三勝  
おらん 浅尾奥次郎 吾妻や 嵐三津五郎  
奴ひわ平 中村鶴助 清兵衛

右之狂言を少々、増補して此度出ス也尤大芝居ニテハ初メナリ

切 戀女房染分手綱

右狂言十月十三日切休

中村巴丈 中村芝翫  
三榎大三郎 尾上芙蓉  
藤川八太郎 中村歌之助  
中村かほよ 中山文五郎  
實川勇次郎 中山文七  
瀬川路之助 中村歌十郎  
中村かなめ 實川延三郎  
中村哥門 中村芝藏  
中村富士郎 三榎松五郎  
浅尾友藏  
中村壽郎  
中村歌七  
中村慶十郎  
中村友三  
浅尾工左衛門  
三榎源之助

天保十三 寅歳一ノ替り

座本 中村富助

正月廿九日ヨリ二月廿九日迄  
けいせい 筑紫 歌

江戸登り 三代目万作事  
大谷友右衛門

大切けい事 傲花傾城道成寺

元祖中村野鹽五十廻忌追善 中村富士郎相勤ム  
二代目中村富十郎十三廻忌追善  
前狂言序二段目増補あり飯焚の場だけおらん役の所慶子  
の娘おしんにてする也又奥方關の戸役にて石田の局もと  
き女形での謀反人ノ狂言ナリ都て花やかな増補アリて面  
白し三段目より後ハ本文ノ通り也茶屋場ハなし宿屋場迄  
二段目にて尼子の奥方關ノ戸役にて紙子の打かけを着て  
出て一家中ニ質素を守らすの狂言なり是ハ昨秋頃より花  
美なる衣裳御公儀より差止ノ御觸出し故尤ノ趣きをふく  
んでせしなり  
切狂言道成寺ハけいせいとの姿にてする所作事也馳走ニ坊  
主役多く又さし出し持ハ巴父ト歌保世舞臺の世話やきに  
ろろそくのあんきりたり杯ニ文五郎松五郎出る都て賑ハ  
しくありし也  
△三代目大谷友右衛門事ハ初代友右衛門之弟子幼名福松と云それより万作と改メ  
濱へ出ル大西若太夫杯へ文政の頃出勤する其後江戸へ下り師名をつく此度展リ本  
座の初舞臺なり

美雀改 尾上登龍  
二代目 中村梅花  
與三郎事 浅尾哥女

此狂言ニ  
△市川助十郎  
△片岡我童  
退座

市川新車事  
可雛助ト改名ス

片岡我童  
中村巴丈 中村歌七  
中村梅花 中村慶十郎  
中村菊三良 中村哥之介  
中村富菊 浅尾奥山  
實川勇治良 尾上登龍  
中村哥きく 中村歌十郎  
藤川八太良 市川歌十郎  
瀬川路之助 市川助壽良  
中村富士郎 中山文五良  
三榎松五良  
中村芝藏  
中村友三  
大谷友右衛門  
市川團藏



寅三月三ノ替り

座本 中村富助

三月廿一日ヨリ  
鏡山再續 倂

○中村歌六○尾上松介  
○尾上菊五郎 罷出相勤申

江戸

尾上菊五良

尾上梅幸 尾上松助

中村梅花 中村慶十良

中村富菊 中村歌之助

中村巴丈 中村歌七

中村菊三郎 浅尾友藏

中村歌六 中村歌十良

實川勇次郎 可 雛助

瀬川路之助 尾上登龍

中村富十郎 中山文五郎

中村歌十良 中村芝藏

三榊松五良 中村友三

大谷友右衛門 市川團藏

伊勢音頭戀寐劔  
倂花傾城道成寺

前狂言ハ文政四歳江戸幸四郎半四郎當座にてせし  
隅田川花御所染ト云狂言を少シ増補したるなり

八月十一日ヨリ

此狂言ハ寛政三亥ノ顔見世  
振袖酒天兒ト云外題にて致  
ス雛介宗十郎嵐吉初舞臺の  
由にてせし狂言也それを少  
々ツ、増補致ス也

八月一座改

座本 市川團次郎

菊五郎事

中山よしを 尾上松介

中村千之助 市川玉藏

中村琴三良 市川惠美藏

中山一とく 中村哥十良

中村哥南女 小川吉太良

中村歌六 市川芝藏

嵐三津橋 市川宗十良

市岡和七 中村友三

並木左衛門 大谷友右衛門

市川團藏

菊新形 縺子帯地  
連 理 の 柵

尾上松介 尾上松介  
市川團藏 相勤ム  
尾上松緑 江戸表へ罷歸りハ名殘  
狂言ニ切付ル

鬼一法眼三略卷

右狂言九月九日ヨリ付ル同十七  
日迄

鬼一法眼 市川團藏  
らし若 尾上松緑  
ちへ内 三榊源之介  
皆鶴姫 中山よしを

者作 市岡和七  
並木左衛門

大谷友右衛門 市川團藏

一 昨丑年秋御公儀様ヨリ町人衣類袖限リ之御觸渡し御座ハ付芝居ハ都て其頃より是迄有來リ之古衣を  
着し興行し居たる所當四月中旬より再嚴重の御觸書にて芝居役者一切木綿限リの衣裝用ひハ様仰出され尤  
此比ハ大芝居兩座を休み居て大西興行中故俄ニ衣裝を木綿ニ仕替都テ金銀箔の摺込又ハ染込み杯ヲ用ゆ  
六月下旬涼上るリ

舞臺正面ニ大序を飾り左右霞襖にてかこひ正面の  
床前にて出語り致ス

一ひらかな 三 竹本綱太夫

一伊賀越 八 竹本氏太夫

一日蓮記 三 竹本氏太夫

一岸姫松 三 竹本氏太夫

一菅原 三 竹本氏太夫

一二代鏡 一 竹本梶太夫

一大安寺 一 竹本梶太夫

一雙蝶々引窓 一 竹本梶太夫

一沼津 一 竹本内匠太夫

一白木屋 一 竹本内匠太夫

一幡隨内 一 竹本内匠太夫

一累土橋 一 竹本越太夫

一芹屋子別 一 竹本越太夫

一ひばり山 一 竹本越太夫

其餘ハ略ス 右出物毎日替申

三味線

鶴澤寛治 鶴澤廣助 鶴澤燕三 同 源吉 同 九藏

一 前ニ記ス御觸書當盆替より大芝居木綿衣裳に  
成ル又此比芝居掛リ之者并ニ物役者不殘御役所へ  
御召出しニて此度相改嚴重の被仰渡有之よし依て  
今迄ハ達者役者共皆々駕にて通ひ身の廻り立派ニ  
競ひ女形ハ野郎帽子ニ天蓋を着し振袖の衣裝を着  
し往來せし也此度より都て相改立役女形共編笠を  
着一枚草履にて素人同様の風俗にて往來ス猶くわ  
しくハ諸君子のゑり給ふ所なれハ略ス

場棧敷直段も嚴重仰出され有し也盆替りより改左  
ニ記ス此度改まりなし今迄ハ

大歌舞妓外題年鑑 中之卷



大入にて夫より増しに高直になり場中を狭バメなどし或時は場代頂上一開ニ付増共拾五メ文もせし事ありかよふ成る事は別の沙汰なれど右に記す所の今迄の直段ハ大體を年の極直段也然れとも芝居繁昌によつて増々高價ニ成る也此度も警繁昌すといへども價過分に取事相ならざるとの事也是に順し芝居茶屋の雜費入用追々下直になる也

十月ヨリ

歸命曲輪文章

座本 市川團次良

右狂言看板斗りにて不仕仕

十月九日ヨリ

繪合太功記

指丸長者黄金笄

姫小松子の日遊

前狂言七ツ目鷲の森ノ場を抜て歸命の三段目をハメタル看板の繪出ル則役割ハ慶覺上人 岩熊霜貫(團藏) 喜多の頭(源之介)なりしが此狂言故人陶玉霜貫役ニて新九郎喜多頭ニて大當りせし其後ハ出ぬ狂言故珍らしい出し物とおもふていたに如何之譯合やら此一場止メになり外題も太功記と十段目の頃ニ是も岡玉せし奴請狀の桃山御殿の場ヲ付テ初日出すなり

中村よしを 三樹源之介  
三樹大三良 小川吉太良  
中村哥南女 尾上多丸  
中村歌門 大谷大作  
中村千之介 中村歌四郎  
中山一徳 市川惠美藏  
中村歌六 中村歌十郎  
市川友藏  
市川芝藏  
市川玉藏  
市川宗十郎  
中村友三  
大谷友右衛門  
市川團藏

天保十四歳

卯二の替り

座本 市川團二郎

花雪歌清水

延三郎一昨丑ノ年冬ヨリ眼病ニ取合色々看病致したれ共驗なき故能勢妙見宮へ籠り數月の間祈し故靈験によつて平癒し此度出勤す未だ病後故來國とし一役也清水場瀧詣の所ニて國行と親子の出合の文句に右一件交て云ふ也  
一嵐徳三郎中途より角座へ約束出來て清水場まかき丈ヶ出晝からは角の座へ出る兩座かけ持ナリおれん役中途より代り大三郎相勤ム

伽羅先代萩

大切姫山姥

木下蔭挾閒合戰

織合襪樓錦

右切狂言伊兵衛左兵衛の道行看板ハ出たれともいかゞしてやら止ニ成五月十二日より芝居夜に入て興行御差止メ仰出されニ付當狂言より早朝六ツ時より相始メ七ツ時に果すなり

三樹源之助  
實川延三郎  
市川友藏  
市川惠美藏  
尾上登龍  
尾上春五郎  
中村歌十郎  
小川鬼雀  
坂東三八  
嵐與市  
市川玉藏  
市川宗十郎  
市川友三  
市川團藏  
藤川花友  
三樹大五郎  
中村千之助  
瀬川路之助  
中村一とく  
中山竹藏  
嵐徳三郎



九月吉日ヨリ

姉妹 達 大 礎

達大木戸切

△市川團藏

退座

當狂言太平記菊水巻秋夜内之段ヲ四段目へ入レテ

又達大木戸ハ矢萩橋迄也跡ハ不出ナリ

風來三事

卯九月吉日ヨリ

前 八 陣 守 護 城

三樹源之助

嵐 璃寛

片岡市藏

中山よしを

市川團藏

片岡鐘藏事

三樹源之助  
實川延三郎  
嵐 與市  
小川 鬼雀  
嵐 冠十郎  
中山文七  
藤川鐘九郎  
尾上梅藏  
坂東八五郎  
中村友三  
片岡市藏  
市川團藏

十月七日ヨリ

假名手 本忠臣藏

十二月十三日ヨリ五日開淨瑠璃興行左ノ通り

豊竹靱太夫

竹本長門太夫

豊竹若太夫

竹本勢見太夫

陸奥茂太夫

竹本綱太夫

右連名ニテ日敷五日ノ開興行致ス

都而此節之芝居宛角不景氣ニテ不入故日數わづかにて休ム時節柄ニテ芝居に限らず物見遊山にて  
も一向客錢遣ハズ只辨當のみにて商ひ不景氣ニ付諸方之商人又出し店なども引合ス市中一統淋し  
く其上追々御觸出故市中の人皆々只此御趣意を守り仇なる錢遣ハぬ故に一向淋しうなり商人も  
大ひに隙成誠に世間一統故芝居之不入も尤也是故に初日二日直段大ニ引下ケ場一開半直段ニて見  
せる書付看板差出し初日二日程は大入致す也

實川勇次郎  
中村千之助  
中村かほよ  
藤川八藏  
中村菊三郎  
中山一とく  
三樹大三郎  
瀬川路之助  
藤川八太郎  
中山よしを

天保十五 辰歳二の替り

〔弘化元ニ改〕

座本 市川團次良

正月十八日ヨリ二月廿五日迄

けいせい 齋佳節

中山よしを病氣ニ付

大切けい事

辰り 駕色相肩

替り役中山一徳勤ル

前狂言ハ天保十亥歳角芝居ニテ嶋原染七種ノ外題ヲ替ルナリ

二月十五日ヨリ

容 競 出 入 湊

右出入湊付故前狂言茶や場扱也

菅原傳 授手習鑑

信田森 彌生葛葉

狂亂段 道行

乍 憚 口 上

座本

市川市之助

市川海老藏

口上看板ヲ出ス

一殘暑之砌御座ハ處御町中御且那様益御機嫌克被遊御座恐悅至極ニ奉存ハ隨而  
當芝居義春狂言ヨリ三ノ替り迄打續興行仕ハ處一座之内一兩人退座仕ハ付不  
都合之座ニテハ五月替り興行相成難ク相休居申ハが當盆替りハ私義も出勤致セ  
ハ様相進ラレハへとも角の芝居前狂言相極ハ莫故彼是相談ニ及ヒ則當一座之衆  
中ニテ前狂言ハけいせい品評林大序より大切迄相勤メ切狂言は私始角の芝居より一兩人召連出勤  
仕絲櫻本丁育ト夏祭浪花鑑の世界を取交織合團七嶋四幕御覽ニ入申ハ尤角之狂言には當座中より  
一兩人罷り越相勤申ハ兼而御存知之如く角中兩座とも未熟不都合之者共斗ニ御座ハ故一度輩の役  
者を入替り御覽ニ入ハハ少シハ不都合之座を補ひ御機嫌ニも叶ハハハハとの御進ニ隨ヒ興行仕ハ  
開何卒兩座共御見合御入來之程偏ニ奉希ハ

尾上多見藏  
實川延三郎  
片岡我升  
尾上多見三良  
坂東八五郎  
市川紅粉介  
坂東大八  
小川 鬼雀  
中山文七  
嵐 冠十郎  
中村歌七  
中村駒十郎  
藤川鐘九郎  
あらし與市  
中村友三  
三樹源之助  
片岡市藏  
市川團藏



辰ノ盆替リ

けいせい品評林

前狂言

織合團七縞

江戸と浪花を立抜に絲屋娘と夏祭  
お綱お棍つなかるゝ紋は一寸徳兵衛  
衛下本丁丸の綱五郎色ハ一時半時  
のちり餅も九郎兵衛と五分も透  
さぬ釣舟の三ぶか好みに取ませて  
右狂言懸持角中出勤役者

片岡市藏 嵐 璃寛 山下金作 三樹松五郎  
片岡我升 大谷万作 藤川八藏 坂東八五良  
右狂言モメ合出来て十二日切ニて休 前狂言と角の切狂言ヲ付テ  
京都四條北側へ一座引越興行ス  
九月廿二日ヨリ十月廿三日切休ム  
花街の松位 伊達姿菴燕都裙  
御國ノ伽羅 十月十九日ヨリ廿三日マデ不入  
ニ付棧敷金壹歩二百文上場八百  
文 右之通書付出ス  
右狂言二段目鹽澤丹助内ノ段書  
入新狂言ナリ 西澤書入ル

大切 山姥焼五百機錦

市川海老藏 市川鯉十郎 浅尾與六  
中山文五良 市川猿藏

十月十三日ヨリ付ル

妹春山婦女庭訓

ね太郎 市川鯉十郎 官女 小川鬼雀  
彌藤次 浅尾與二郎 玄蕃 中村桂車  
おみわ 中山南枝 求女 市川團三郎 酒やば、三樹松五郎  
橋姫 中村梅花 ぶか七 市川海老藏 入鹿大臣 浅尾與六

座本 市川市之助

伊達姿一座  
市川鯉十郎 市川團三郎 浅尾與六  
市川松五郎 中村桂車 中村鬼雀  
市川文七 藤川花友  
市川玉藏 中山由三郎  
市川義助 あらし錦子  
浅尾與二郎 市川白之介  
三樹松五良 中村梅花  
中山文五良 松本七藏  
浅尾與六 瀬川路之助  
市川海老藏 中山南枝 此一座上京ス

弘化二歳

巳ノ二ノ替リ

座本 市川米藏

正月廿三日ヨリ

けいせい英草紙

右狂言是迄致ストハ少々増補あり  
小原の場さじき兄弟ニてあり是ハ  
今迄致したる方が評判宜敷此度の  
ハ甚不評也鏡山ハ座中不殘物出也見事

三月十二日ヨリ

袖硯伊賀越日記

三月廿四日 可雛介死去  
右雛介替り役 市川鯉十郎 相勤  
四月下旬ヨリ市川小團治 江戸へ下ル

五月十八日ヨリ

勢 かな盛衰記

○片岡我童  
此狂言の開出勤  
ス

座本 中村巴丈

嵐 璃寛 市川小團次  
市川與作 浅尾與六  
中村梅花 市川義助  
中村かなめ 中山美男  
浅尾勇枝 浅尾與治郎  
中村琴三良 中山文七  
あらし璃當 實川延三良  
嵐 璃勇 可雛助  
中村歌六 市川鯉十郎  
三樹松五郎 中村桂車  
中山文五郎 中村友三  
浅尾與六 市川海老藏  
市川猿藏

宿無團七時雨傘

九月十五日ヨリ

嫁入信田妻

源平布引瀧

戀 湊博多織

右狂言ニて相休ム 十月廿日迄勤メ夫より一座上京

江戸 可雛介  
市川梅花 中山文七  
中村琴三良 嵐 璃瑤  
中村かほよ 市川宗十郎  
嵐 徳尾 市川玉藏  
三升大五良 中村友三  
中村歌六 市川海老藏

五月替り相休後若太夫芝居へ  
行十日之閒寄進として興行大  
入大當り也又十月ニは鯉十郎  
病氣全快ニ付寄進十日之閒興  
行ス是又大入にて評判よし



弘化三年 午歲

正月十二日ヨリ  
けいせい演真砂  
けい未熟つと五變化  
和切替ル田合戦女舞鶴  
三月五日ヨリ  
假名手本忠臣藏

嵐 三右衛門  
市川 市紅  
市川 宗十郎  
三樹 増五郎  
中村 歌四郎  
實川 延三郎  
中村 歌十郎  
小川 吉太郎  
小川 鬼雀  
實川 菊藏  
中村 菊五郎  
中村 友三郎  
三樹 大五郎  
源之介事

座本 市川米藏

盆替り一座

午七月ヨリ盆替り前狂言  
天満宮菜種御供  
後狂言  
國性爺合戦  
切狂言  
山 姥廓咄段  
九月十五日ヨリ  
秋葉權現廻船話  
戀女房染分手綱  
いろは鐘鳴今朝噂  
新介 嵐吉三郎 罷り出相勤い

盆替り一座  
嵐 三右衛門  
三樹 源之介  
三樹 徳三郎  
嵐 橋登  
實川 勇次良  
中村 松之助  
中村 哥江  
實川 勇枝  
中村 哥保世  
中山 南枝  
市川 市紅  
あらし與市  
實川 菊藏  
中村 哥九良  
小川 鬼雀  
市川 市友  
淺尾 國五良  
實川 延三郎  
中村 歌壽郎  
小川 吉太郎  
尾上 春五郎  
實川 鯉藏  
三樹 増五郎  
淺尾 時五郎  
中村 友三  
三樹 大五郎

弘化四年 未

正月十八日ヨリ  
花魁 荅八總  
由良 湊千軒長者  
三月十二日ヨリ  
太功記 出世染  
奥州 安達原  
桂川 連理柵  
七月十八日ヨリ  
繪本 殿下茶屋聚  
京羽 二重新雛形 上中下  
本朝 廿四孝 三ノ口切  
九月吉日ヨリ  
契情 廓源氏  
おふさ 重井 筒  
徳兵衛 重井 筒  
鬼一法眼三略卷  
男大切 作五 鴈金

延三郎 南枝 相勤申い



嘉永元 申正月吉日ヨリ

座本 中村駒之助

けいせい曾我鎌倉集 ○市川海老藏 出勤

右狂言之三段目ハ布引瀧四段目増補スル也

三月吉日ヨリ

いろは假名四十七訓

此狂言切△市川海老藏△市川市紅△中村桂車

三月廿八日ヨリ

猿 曳門出 諷

實川延三良 相勤

△市川壽美之丞△嵐三右衛門△中山文七△淺尾與作  
△中村かほよ△嵐與市△市川三藏△市川紅雀  
△市川玉藏△片岡瀧藏△尾上雷十郎△尾上松光 退座

八月吉日ヨリ

花 都 矢 敷 譽

○三樹徳二良○吾妻藤藏○尾上菊之介○中村大吉

東都産伊達雛形

尾上菊五郎事改メ 大川橋藏 角中かけ持ゆへ切狂言丈出る

義 經 千本

大川橋藏病氣ニ付稽古なしニ付ル 櫻 すしや之段  
下男彌助 實川延三郎 鮮屋彌左衛門 市川市友  
娘おさと 中山南枝 いがみの権太 片岡市藏 梶原平三 三樹大五郎

九月替り

長柄長者黃鳥墳

御所櫻堀川夜討

戀飛脚大和往來

嵐 三右衛門 實川延三良  
市川壽美之丞 市川市紅  
尾上芙蓉 淺尾與作  
中村かほよ あらし興市  
實川勇二良 片岡瀧藏  
ふし川八太良 市川玉藏  
ふし川八藏 實川菊藏  
尾上松光 三樹増五郎  
中山南枝 市川紅雀  
中山高太良  
市川海老藏  
尾上雷十郎  
市川三藏  
實川鯨藏  
小川鬼雀  
市川市友  
中村友三  
片岡市藏  
三樹大五郎

嘉永二 酉歳正月吉日ヨリ

座本 中村駒之助

二ノ替り狂言

けいせい石川染

三段目え 大和橋之段  
青陽鶴 太郎助内段 入ル  
三七のぶ高役 三樹大五郎

右大和橋之段とり手役角の芝居  
同様ニて海老藏ヲ始片市延三松壽源之介高麗藏鬼雀猿藏藏之介  
玉藏右おも役者ノとりて故ニ角中共大評判めづらしきとりて役也

三月吉日ヨリ

四天王寺伽藍鑑

此狂言ヨリ  
○小川吉太郎 出勤仕ル  
此狂言切ニ退座

櫻舞臺近江八景

此時天王寺聖徳太子千百卅三回忌開帳有之  
此狂言上るりの本の通リヲ致スえかし不入ニて残念

八月吉日ヨリ盆替り

競伊勢物語

棹歌木津川八景

可 實川延三郎  
尾上芙蓉 尾上松壽  
三樹徳二良 市川猿藏  
中村かほよ 市川玉藏  
市川壽美之丞 市川高麗藏  
藤川八藏 實川菊藏  
中村哥路之助 三樹増五郎  
實川勇二良 市川海老藏  
中山南枝 市川三藏  
片岡市九良  
小川鬼雀  
實川鯨藏  
三樹藏之介  
實川實五良  
姉川仲太郎  
片岡柳藏  
坂東大八  
片岡榮三郎  
片岡市九郎  
中山翫十郎  
中村市友  
中村市友  
市川市友  
片岡市藏  
三樹大五郎



嘉永三 戊年正月吉日ヨリ

座本 中村駒之助

けいせい 譽兩刀

此狂言ハ江戸ニ致ス伊賀越作り替の狂言ナリ

三升源之助

大切 三春翫雀躍

中村歌右衛門舊冬登る管の所延引ニ相成  
春早々乗込致早速ニの替りより相勤也

尾上芙蓉

三月吉日ヨリ

妹脊山婦女庭訓  
此狂言ヨリ○中村桂車出ル  
堂切狂言

中村梅花

堂島 救入 濱

黒舟狂言の内ニて腰越状ヲ入テ仕ル尤後藤役  
黒舟ニテ致ス

藤川八太良

伊達錦五十四郡

此狂言切ニテ△可壽 退座

中村勇二良

五月吉日ヨリ

一ノ谷 嫩軍記

實川勇三良

夏祭 浪花 鑑

此狂言ヨリ○山下金作 罷出相勤申ル  
道具屋場より大切迄

中山菊三良

兒淵 戀白 浪

此狂言丈出勤○中村歌六○小川吉太良○中村鶴助

瀨川路之介

義經 腰越 狀

中村玉助十三廻忌追善狂言  
此狂言切ニテ△片岡市藏 退座

中山とみ三

九月吉日ヨリ

花街模倣劇稻妻  
此狂言ヨリ○三榊梅舎○嵐冠十郎 相勤申ル

實川菊藏

夕きり 廊 文 章

此狂言切ニ而相休 一座上京ス

實川大八

伊左衛門

此狂言切ニ而相休 一座上京ス

實川仲五良

伊左衛門

此狂言切ニ而相休 一座上京ス

片岡當之介

伊左衛門

此狂言切ニ而相休 一座上京ス

市川友三

伊左衛門

此狂言切ニ而相休 一座上京ス

中村市藏

江戶

中村歌右衛門

嘉永四 亥正月吉日ヨリニノ替リ 一座舊冬其儘也

座本 中村駒之助

亥正月吉日ヨリ

けいせい 清船 諷

亥ノ十一月ヨリ顔見世狂言  
右顔見世座附引合久敷中絶致ル處此度中村歌右衛門久々  
ニテ顔見世興行ニ付道頓堀之賑ひ市中ニ  
評判取ル也

曾我兄弟の對面ニ一  
座揃ふて三ッ拍子古  
事をとをい昔を今宮  
に貴民も榮えまし升  
此狂言切ニ而 中山南枝 退座

初戎福徳歌  
三榊大五良  
實川延三良  
中村玉七  
相勤申ル

後 源 平 布 引 瀧

亥三月吉日ヨリ三ノ替リ狂言

花相撲蝶々紋日  
此狂言ヨリ  
○片岡市藏  
○中村千之介 出勤

式三番 翁 三榊大五郎千歳  
山下金作  
引拔 浦島景事

御 攝 惠 景 清

五月吉日ヨリ

後 鬼 一 法 眼 三 略 卷

假名手本忠臣藏

宿無團七時雨傘

三社 嵐 和 三 郎  
中村政次郎  
中村玉七

八月吉日ヨリ

ひらかな 盛衰記

古きを  
もつて  
新らし  
ふ亦古  
へニ哥  
舞妓魁

九月吉日ヨリ

菅原傳授手習鑑

梅 惠  
顔 見 勢

五 大 力 戀 緘

此狂言切ニテ退座  
○中山南枝  
此狂言切ニテ退座  
△嵐 三右衛門  
中村ふく介病氣ニ付不縁  
とす 江戸表へ歸る

山下金作  
市川新十郎  
市川助五郎  
市川和三郎  
市川助壽郎  
嵐 和 三 郎  
市川助五郎  
中村桂車  
市川新十郎  
市川新十郎  
市川冠十郎  
三榊五郎兵衛  
市川市友  
中村友三  
中村雀右衛門  
中村歌右衛門

九 月 吉 日 ヨ リ

此狂言切ニテ退座

中村千之介  
市川市友  
中村友三  
中村雀右衛門  
中村歌右衛門

此狂言切ニテ退座

中村千之介

此狂言切ニテ退座

市川市友

此狂言切ニテ退座

市川市友

此狂言切ニテ退座

市川市友

此狂言切ニテ退座

市川市友

此狂言切ニテ退座

市川市友

此狂言切ニテ退座

市川市友

此狂言切ニテ退座

市川市友



嘉永五 子正月吉日ヨリ

四海平清盛

粧六歌仙

右狂言仕の所哥右衛門二三日の病氣ニ付相休居の所追々と病氣おもり死去致は右ニ付まばらく芝居休 哥右衛門役助十郎延三玉七仕の尤右の狂言は江戸表ニて哥右衛門先年相勤の筋ハ馬琴の作繪本青砥藤綱を作り直シ見へたり中村哥右衛門二月十五日死去十九日葬式書後也見物市をなす甚賑敷事なり尤送り役者中ノ一座始哥六與六迄送る也顔にせはんこ繪おひたしく出る廿八日より芝居興行の口上看板出る也

小野小町 中山南枝  
在原業平 僧正遍昭  
喜撰法師 中村歌右衛門  
文屋康秀 相勤申  
大伴黒主

右大五良まねき 三榎大五郎  
にあれとも出勤 實川延三郎  
なし堺の芝居へ 市川新十郎  
罷出 市川助五郎  
實川實五郎

江戸

藤川友吉 中村駒助  
尾上芙蓉 中村桂車  
中村梅花 中村鸞介  
山下金作 中村金介  
中山とみさ 實川大八  
淺尾勇枝 中村雀右衛門  
中山南枝 中村榮三郎  
市川助壽郎 實川菊藏

乍 御町中御且那樣方益御き嫌克被遊御座恐悦至極ニ奉存也當芝居二ノ替り御蔭ヲ以賑々敷興行仕り難有仕合ニ奉存也折柄中村哥右衛門義病氣差重り種々醫料仕へ共養生不叶死去一同當惑仕愁傷之段乍恐御推察奉願上は然る所去る御ヒイキ御且那樣より當芝居此儘相休居而は先立の者も心残り殊ニ一同難溢に相成はへハ中村玉七ニ清盛と切六哥仙に文屋喜撰を玉七ニ勤させ其外一座併優助合めで度打納はへハ何より手向にも相成と立て御すゝめニ取すがり近々相始メハ開何とぞよしあしにかゝわらず且又哥右衛門相勤の役の面影斗供養ニ見ても思召れ相かわらす賑々敷御見物ニ御光來被下度末々は玉七義相續仕はやう哥右衛門に成替り一座之者共御最願御取立之程偏ニ奉希上は以上 惣座中

のとの守 僧正遍昭 大伴黒主(市川助十郎) 貝屋善吉 在原業平(實川延三郎) 僧雲源(市川瀧十郎)

嵐 冠十郎 中村鶴藏  
實川 鮎藏 市川瀧十郎  
市川市友 中村友三  
中村歌右衛門

鶴屋傳三(嵐冠十郎) 瀬尾十郎(中村友三)

まかし不入ニ付程なく仕舞

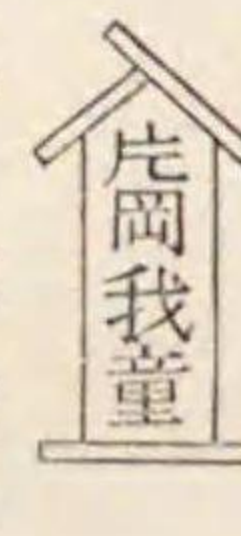
三月吉日ヨリ 前花楓小倉の色紙

後近江源氏先陣館

切伊勢音頭戀寐劔

右狂言仕の處初日出ぬ先ニ一座ニもめ合出来是により助十郎冠十郎玉七友吉退座致ス實ハ玉七之事ニ付大五郎延三郎相談の上ニて玉七を見捨たる様子也助十郎ハ玉七引立の爲少々一座のものと口論し退座するよしあかし此度の我童は入大座故定めし大入成るべしと存る處何かともめ合の義に付町請悪敷芝居不入也不座の角の芝居ハ大入とり残念也程なく休み一座不殘上京いたす京都にても不入成べし跡より角の一座登り是におさるゝ角の芝居の大入の處芝居東より大火ニ付無據相休み一座不殘上京す京とて此一座大入大評判なり瑤璃の働と見へたり何分此節大五郎が玉七を見放せしとて町中一統評判高く故ニ中の芝居ニ入少シ誠によろきをたすける當所の氣しつ故宛角京升屋ハめいわく也

四月廿一日角の芝居東より出火 角 中 大西 焼る



實川延三郎 三榎梅吉  
三榎源之介 實川大八  
嵐 三右衛門 實川實五良  
尾上芙蓉 實川實之助  
藤川八太良 實川菊藏  
淺尾勇枝 實川鮎藏  
中山一とく 三榎大二良  
片岡愛之介 大谷馬十  
中山とみ三 三榎五良兵衛  
實川勇次良 三榎増五郎  
中山南枝 淺尾爲十郎  
片岡市藏

市川瀧十郎 淺尾爲右衛門  
坂東秀朝 片岡折藏  
片岡當之助 片岡松十郎  
市川九郎 市川森助  
中山榮三郎 中山百太郎  
片岡春十郎 片岡蝶十郎  
市川市友 中村友三  
三榎大五郎



嘉永五子十月吉日ヨリ 芝居普請出來新芝居興行

座本

中村駒三郎  
片岡我童

鏡山姿寫繪

千代壽祝新舞臺

三番叟 尾上多見藏 相勤申  
引抜けい事 獅々子を谷へ落ス  
子獅子 和市 市藏 勤る

芝居直段附

一上場 壹貫九百文

一下場 壹貫三百文

一割分 三百廿四文

棧敷一開ニ付

是段直段より銀拾匁下ゲ

實川延三郎  
三樹源之助  
市川市藏  
尾上和市  
中村雀右衛門  
坂東秀朝  
實川大八  
實川實五郎  
實川實之助  
實川菊藏  
實川朝藏  
大谷馬十  
三樹増五郎  
尾上多見十郎  
中村駒介  
市川瀧十郎  
尾上多見藏

嘉永六 丑歳正月二ノ替リ

二ノ替りより出勤

前  
けいせい鄙源氏  
大切所作事  
積戀 雪 關 扉

片岡市藏  
嵐 三右衛門  
尾上松錦  
嵐冠十郎  
淺尾爲十郎  
市川壽美之丞  
あらし璃升

三樹五郎兵衛  
片岡松十郎  
中山百そら  
あらし大十郎  
中山榮三郎  
音羽次良三  
片岡蝶十郎  
市川市友  
中村友三  
三樹大五郎

丑三月吉日ヨリ三の替り狂言

假名手本忠臣藏

裏表廿五段返シ

大切所作事

中村哥右衛門  
一周忌追善 手向梅櫻道成寺

白拍子此花 中村玉七  
白拍子櫻木 中村翫雀

二人道成寺相つとめ申

乍 憚口 上

春暖之砌ニ御座也所御町中様益御機嫌克爲被遊御座恐悅至ニ存ニ隨而當三の替り狂言去ル御ヒイキ様より之御差圖ニ任せ假名手本忠臣藏大序より敵討迄幕なしニ仕大切ニ至りて中村哥右衛門追善狂言中村玉七中村翫雀藤川友吉中村雀右衛門尤其外門弟物座中罷出狂言相勤奉入御覽也尤右忠臣藏の義ハ近來名人の方々是迄仕盡し殊更當芝居にてハ中村歌右衛門相勤られいまだ年限も相立不申不熟不調法なる者共達而御進めに當惑仕折柄御なじみの片岡市藏罷り歸り此度はいよハ出勤仕へハ殊之外一座も多く人数に相成又實川延三郎中山南枝中村友三何れも歌右衛門存生の砌一座仕り手續きと申由縁もハハ哥右衛門勤置ハ狂言御覽ニ入ルもやはり追善にも相成べくと御おかりもかへり見ず右忠臣藏へ銘々傳さし加へ敵討迄幕なしに仕大切追善狂言御目見ハ翫雀を取立の玉七兩人にて相勤め物座中も罷出奉入御覽ハ開何卒御ひいき様方被仰合初日より賑々敷永當御見物御來駕之程偏ニ奉希上

三樹大五郎

所作事役割リ左之通  
所化延若坊 實川延三郎  
同 雀蓮坊 中村雀右衛門  
同 京升坊 三樹源之助  
同 音羽坊 尾上松錦  
同 我升坊 片岡市藏

所化扇木坊 市川瀧十郎  
同 市友坊 市川市友  
同 光幸坊 中村友三  
道成寺住僧 三樹大五郎

實川延三郎  
三樹源之介  
中村鶯介  
實川鯨藏  
實川實五郎  
實川實三郎  
實川實三郎  
中山榮三郎  
嵐 橋藏  
市川德之助  
中村玉七  
市川瀧十郎  
片岡市藏  
尾上松錦  
中村駒助  
中村駒助  
片岡柳藏  
片岡當之介  
實川菊藏  
實川大八  
三樹五郎兵衛  
市川市友  
中村友三  
中村雀右衛門  
三樹大五郎



嘉永六丑五月吉日ヨリ一座改メ

座本 中村駒二良

前彦山權現誓助劔

後須磨都源平躑躅

切鐘とも夢 鮫 鞘

右狂言切ニテ休ム七月廿四日盆替りまねき看板迄出し所江戸より長の御てうじ  
來り芝居ハ勿論町々晝夜自身番を致ス也尤御役人様も晝夜御廻り被成ゆ故に市  
中一統油斷なくばん致ス也尤先年大御所様よりハ嚴敷よふニ見へたり又先月江  
戸表又ハ浦賀沖ニイギリスの大船四五艘見ゆるに付大ハニ混雜いたし御上ニも  
嚴敷御手當ゆよし依之世間も何となく騒ケ敷色々の風説致ス也又長崎沖ニも二  
三艘見ゆるニ付九州御諸家様より長崎へ御詰有嚴敷御手當より大船壹艘取巻長  
崎の港へ取込みあるよし先是ハ別條なし

一盆替り一座改 狂言ハ秋葉權現ニ切五鴈金看板出也

役者ハ我童 團藏 大五良 海老藏 友吉 大吉 金作  
翫雀 玉七 雀右衛門 廣右衛門 市友 其外大一座也

右御てうじニ付看板取片付げんぢうに番致ス 右ハ諸芝居共おなじ事也  
又片岡我童事親仁左衛門借銀有之ニ付江戸表より御八判とか申事ニ付急ニ江戸表へおもむくよしなり

藤川友吉 市川鯉十良  
藤川友之介 中村翫雀  
中村友女 三榊増五良  
中村友菊 中村駒介  
中村梅花 嵐 栢藏  
山下金作 嵐 義三良  
中村鷺助  
市川瀧十良  
三榊五良兵衛  
片岡當之助  
市川松助  
中村金助  
中村歌四郎  
市川市友  
中村友三  
中村雀右衛門  
三榊大五郎

自身番九月十七日ヨリ晝丈ケハゆるみ夜分斗ニなりすこしは  
用向も出来る也廿一日より鳴物ゆるむ故に諸芝居とも看板差  
出す也當芝居は江戸表より關三十良罷り登り口上書看板まね  
き出る子供の時分に當所に居る市川團吉と申ス實翫雀の弟也  
先年兄歌右衛門同道ニテ罷登り申積之所少々故障出來跡へ殘  
るなり此度哥右衛門追善がてらに罷登り御目見え致す口上出  
る也追善ハ切ニテ七化勤る

丑九月廿六日ヨリ  
前狂言 時桔梗出請狀

座本 市川成之助

後狂言 軍法富士見西行

大切 拙やつと七變化 關三十良 相勤申

江戸 關三十郎  
藤川友吉 三榊源之助  
中村梅花 市川白藏  
木ノ村とみさ 嵐 義三郎  
市川勝三良 坂東 秀朝  
中村琴三良 嵐 栢藏  
藤川花曉 嵐 珪五郎  
中村とみ三 嵐 璃キ藏  
中村かほよ 中山百そら  
浅尾爲右衛門  
市川新十良  
市川團藏  
市川海老藏

市川助壽良  
中村翫雀  
三榊増五郎  
市川團次郎  
市川三藏  
中村駒介  
市川市友  
市川助五良  
三榊五良兵衛  
片岡蝶十郎  
浅尾爲十郎  
坂東玉三郎  
中山文五郎  
三榊大五郎



大歌舞妓外題年鑑 大西之部

名代 松本惣左衛門

寛保元年 百年ヨリ 座本 中村富十郎

申十一月朔日ヨリ顔見世

矢車館富士

十二月十二日ヨリ

三浦彈正風俗鑑

大切今様道成寺

所作事 五代目瀬川菊之丞 出勤

二月十九日ヨリ

女人堂 二月 櫻 二ノ替リ

五月廿六日ヨリ

女非人敵討

七月十八日ヨリ

闘艶武者枕軍談

當狂言大入大當りにて凡百日餘り興行  
致スなり此度江戸表ヨリ市川海老蔵市  
川團十郎高野山參詣致しニ付當所え立  
寄りの開出勤ヲ進メテ顔見世ヨリ出勤  
被致ひなり

山本京四郎  
嵐三四郎  
市の川彦四郎  
中村宗十郎  
笠谷又九良  
大谷廣八  
嵐七五良  
中村新五郎  
佐野川萬菊  
尾上菊五郎  
中村富十郎  
瀬川菊之丞  
作者 安田蛙文  
中田萬助  
者 竝木榮助



寛保 二 戌歳顔見世

座本 佐渡島長五郎

西十一月朔日ヨリ

萬國太平記

右狂言之内市川團十郎義病氣に付退座して江戸へ歸ル海老藏斗相残りて出勤ス

十二月十二日ヨリ

八的勢曾我

正月十六日ヨリ付ル

雷神不動北山櫻

右雷神狂言大入大當り正月十六日ヨリ七月六日迄古今珍敷大入にて御座也

久米彈正 鳴神上人(市川海老藏) 雲のたへま(尾上菊五郎) 奴傳内(山本京四郎)

七月十六日ヨリ

星合榮景清

七面之狂言面打役 市川海老藏 相勤ム

八月廿六日ヨリ

土佐治郎妹脊鑑

九月十六日ヨリ

東山殿旭扇 關羽振夏

市川海老藏江戸へ歸ル名殘狂言仕也 當切狂言大入大當り也

市川海老藏  
市川團十郎  
佐渡島長五郎  
坂東豊三郎  
中村治良三  
山中平十郎  
嵐七五郎  
山本京四郎  
尾上菊五郎  
大和川明石  
佐渡島幾世  
藤井花千代  
柴嶋民之助  
山下金作  
市山七十郎  
嵐秀五郎  
中島藏右衛門  
嵐三五郎  
市川助五郎

寛保 三 亥歳顔見世

座本 中村十藏

十一月三日ヨリ

工藤祐經大磯通

夫形葛葉故郷通

伊達與作龜山通

十二月十五日ヨリ

三好長慶廓總角

三月十二日ヨリ

菊水由來染

五月九日ヨリ

日本記素蓋鳴尊

生瀬川血汐筏

七月十五日ヨリ

河筋鉢かづき物語

九月十五日ヨリ

浮世又平筆勢鑑

中山新九郎  
坂東助三郎  
嵐三四郎  
榊山四良太郎  
山本小平治  
中村治良三  
鎌倉平九郎  
中村十藏  
嵐小伊三  
松嶋喜代崎  
松嶋八千代  
松島新五郎  
柴崎民之助  
富澤紋太郎  
大松百助  
平岡萬助  
市川平五郎  
藤川文藏  
作 松谷來助  
並木永助

延享 元 子歳顔見世

座本 中村十藏

亥十一月朔日ヨリ

二ツ引錦幔幕

十二月十五日ヨリ

大門口鎧襲

三月三日ヨリ

通小町 奥笏信夫石

五月七日ヨリ

丹波國出世山

七月廿一日ヨリ

源氏巢籠蛭小島

八月十一日ヨリ

敵討月の最中

九月九日ヨリ

雪催籬鉢木

浅間嶽姿起請

番獅々浪花置轢

中村富十郎 江戸下り暇乞

澤村宗十郎  
岩井半四良  
櫻山四良三郎  
三榊大五郎  
澤村宗五郎  
嵐七五郎  
中村新五郎  
中村十藏  
中村富十郎  
中村繁之丞  
澤村繁之丞  
中村喜代鶴  
柴崎民之助  
佐の川万菊  
作 松谷來助  
並木永助



延享二 一丑ノ歳顔見世 座本 嵐三十郎

十一月朔日ヨリ  
山崎與兵衛今様姿  
十二月二日ヨリ  
新うすゆき物記 (語ク)  
右狂言新物なれども古き外題を  
用ゆる也  
正月十六日ヨリ  
好色 占問 答  
三月三日ヨリ  
敵討 打出 濱  
五月十六日ヨリ  
けいせい御伽婢子  
七月十八日ヨリ  
血沙の中山 攝蒴昆陽池  
道連廻國  
大切風 流 大 踊  
九月廿五日ヨリ  
菅原傳授手習鑑  
世話仕立浪花男  
右狂言ハ黒舟ノ作り替にて面白  
し切狂言付てヨリ大ニ入る也

嵐 三右衛門  
中村傳九郎  
柳山四郎二郎  
嵐 三四郎  
澤村宗五郎  
三辨大五郎  
藤川半三郎  
嵐 三十郎  
坂田市太郎  
嵐 松之丞  
大和川明石  
佐の川ゆきゑ  
三條萬勝  
山下金作  
作 安田蛙文  
中田吾八

延享三 寅歳顔見世 座本 嵐三十郎

五月十一日ヨリ  
村上源氏金新館  
十二月十五日ヨリ  
夏祭 浪花鑑  
一團七九郎兵衛 嵐 三十郎  
一釣舟三ぶ 中村新五郎  
一寸徳兵衛 岩井半四郎  
寅正月二日ヨリ  
武道 吉原 筏  
二月朔日ヨリ  
津國 生田 淵  
七月上京退座△山中平十郎  
七月十六日ヨリ  
男作 五ツ 鷹金  
大切 風流 大 おどり

中村新五郎  
岩井半四郎  
山下金作  
中村團九郎  
坂東國五郎  
山本小平治  
山中平十郎  
嵐 三十郎  
芳澤崎之助  
花川市之丞  
柴崎民之助  
三保木七太郎  
山下又太郎  
作 澤 如平  
並木左平  
者 安田蛙文

〔延享四卯歳〕  
歌舞妓相休み

寛延元 辰歳顔見世

〔延享五改〕

顔見世極り附斗にて狂言出不申  
辰正月廿三日ヨリ顔見世座本改ル

座本 三條浪江

正月廿三日ヨリ  
日本錦紅萩大名  
八月二日ヨリ  
傾城 七小町

上村吉彌 澤村音治  
嵐 喜代十郎 濱崎磯五郎  
松島小紫 岩崎瀧右衛門  
三條浪江 坂東半五郎  
市川左團治  
杉本左梳 中村里右衛門  
松本登助 三條藤十郎  
染の井半四郎

座本片岡仁左衛門

小野川龜菊 姉川新四郎  
嵐 喜代十郎 中村歌右衛門  
大和川明石 坂田市太郎  
富澤喜代崎 山本小平治  
中村治郎三  
嵐 新平

八月ヨリ座本改ル

座本 嵐喜代十郎

喜世川長太夫 嵐 喜代十郎  
富澤哥門 澤村言治  
小野川龜菊 柴崎民十郎  
中村義左衛門  
坂田市太郎  
岩崎瀧右衛門  
中村里右衛門  
三保木藤十郎  
染ノ井半四郎

〔寛延二巳の歳〕歌舞妓休み



寛延三 午歲 額見世 座本 三樹大五郎

巳十一月六日ヨリ  
壽 黃 金 勝 軍

十二月十三日ヨリ  
大和國井手下紐

午三月廿三日ヨリ一夜付  
追 善 若緑結色權現松

五月五日ヨリ  
敵 討 三 國 志

七月十八日ヨリ  
薄 雪 極 擢 染

八月廿五日ヨリ  
頃 日 艸 卯 月 紅 葉  
右一座九月ヨリ堺へ行

寶曆元 未歲 歌舞妓休  
同 二 申年

岩井半四郎  
坂東滿藏  
松屋門十郎  
山本小平治  
桐山紋治  
村上平十郎  
中村歌右衛門  
嵐 三十郎  
三樹大五郎  
岩田染松  
大和川明石  
嵐 三五郎  
中村さの八  
三條浪江  
作 泉屋正三

寶曆三 西歲 額見世

座本 三條定助

申十一月廿六日ヨリ  
京 土 産 祭 噺

十二月十六日ヨリ  
錢 男 相 合 枕

切三ツ目四ツ目  
衆 仙 人 吉 野 櫻

三月三日ヨリ  
大 德 寺 山 門 供 養

切  
女 非 人 敵 討

四月四日ヨリ  
夏 祭 浪 花 鑑

五月十五日ヨリ  
重 草 履 口 合 花 緒

七月十六日ヨリ  
平 惟 茂 系 圖 紅 葉

大切  
都 風 流 大 お と り

八月朔日ヨリ  
寄 合 模 様 袂 白 絞

九月朔日ヨリ  
戀 女 房 染 分 手 綱

○中山喜代三郎 出勤

此狂言より○松山三十郎 出勤  
伊勢行 △中村四郎五郎 退座  
此狂言より○山下六三郎 出勤  
△市村さの八 退座  
此狂言より△山本京四郎 退座

團七 中山新九郎  
三ぶ 山本京四郎  
一寸 中山文七

太夫

和歌山新九郎  
和歌山文七  
松山茂平次  
中村四郎五郎  
竹中兵吉  
村山平十郎  
大谷廣八  
桐嶋儀左衛門  
山本京四郎  
市村さの八  
松崎喜代崎  
あらし文市  
山下岩之丞  
岩田染松  
作 高木里仲  
者 藤川茶谷



寶曆四 戌歳顔見世 座本 三條定助

西十一月十一日ヨリ  
 泰平木曾譜  
 十二月廿八日ヨリ  
 けいせい天羽衣  
 戊壬二月廿四日ヨリ  
 菅原傳授手習鑑  
 四月二日ヨリ  
 敵討出口柳  
 七月十七日ヨリ  
 三庄太夫 愛護若  
 小栗判官 荻萱五説經  
 隅田川  
 七條茶湯釜入  
 河原  
 右狂言看板斗にて不仕事ハ  
 御上より御尋ニ付狂言之元申上  
 此處不宜ニ付替り狂言出スナリ  
 八月十七日ヨリ  
 木曾海道赤城物語  
 ○坂東豊三郎 出勤  
 ○桐島儀左衛門 出勤

中村十藏  
 和歌山文七  
 中村四郎五郎  
 松山三十郎  
 山下治郎三  
 大谷廣八  
 中村哥右衛門  
 和哥山新九郎  
 三條浪江  
 姉川大吉  
 佐の川宗吉  
 中村八藏  
 三條定助  
 松島喜代崎  
 佐野川花妻  
 作 並木正三

寶曆五 亥歳顔見世 座本 和歌山文七

戌十一月三日ヨリ  
 宇多源氏曦面箱  
 十二月十九日ヨリ  
 傾城今川狀  
 此狂言切にて△佐の川宗吉△姉  
 川大吉△坂東國五郎△中村歌右  
 衛門 退座  
 ○藤川半三郎 出勤  
 七月十五日ヨリ  
 小野道風青柳硯  
 大切 都風流大踊  
 八月十四日  
 中山寺利生物語  
 九月廿五日ヨリ  
 妹脊山婦女庭訓  
 大切 景事 女鉢木  
 十月十五日ヨリ  
 ひらかな盛衰記  
 切 后月血鹽の曙

市川團藏  
 嵐三五郎  
 染山宗十郎  
 和哥山文七  
 大谷廣八  
 坂東國五郎  
 中村歌右衛門  
 和哥山新九郎  
 姉川大吉  
 佐の川宗吉  
 佐の川興市  
 松嶋喜代崎  
 芳澤崎之助  
 作 市山卜平  
 者 藤川茶谷

寶曆六 子歳顔見世 座本 姉川新四郎

亥十一月朔日ヨリ  
 源平扇子合  
 十二月十一日ヨリ  
 通神曲輪日記  
 二月三日ヨリ  
 七種節會軍談  
 江戸 坂東幾藏 出勤  
 四月七日ヨリ  
 雙蝶々曲輪日記  
 五月五日ヨリ  
 お元 龜松 一枚繪艸紙  
 七月廿五日ヨリ  
 道中雙六五十三驛  
 八月八日ヨリ  
 鳴神上人北山櫻  
 みやこ風流踊の賑

市川團藏  
 市の川彦四郎  
 嵐三四郎  
 染山宗十郎  
 藤川半三郎  
 山下紋治  
 桐山治郎三  
 山本京四郎  
 三條浪江  
 山下六三郎  
 佐の川宗吉  
 嵐小六  
 堀越文治  
 藤川茶谷

寶曆七 丑歳顔見世 座本 大松百助

子十一月十一日ヨリ  
 大松百助壽六法  
 市川八百藏 不出  
 小野川辨彌  
 丑正月二日ヨリ  
 天竺徳兵衛聞書往來  
 四月五日ヨリ  
 四天王寺伽藍鑑  
 五月十二日ヨリ  
 假名手本忠臣藏  
 七月廿八日ヨリ  
 戀飛脚大和往來  
 切 初月夜最中心中  
 九月九日ヨリ  
 三莊太夫五人娘  
 右狂言切ニ休み

市川八百藏  
 中山文七郎  
 松屋來助  
 小野川辨彌  
 竹中兵吉  
 坂東岩五郎  
 坂東國五郎  
 桐山紋治  
 中山新九郎  
 辰岡久菊  
 花桐才藏  
 中村筆之助  
 豊松勝野  
 淺尾元五郎  
 作 並木正三



寶曆八 寅歲顔見世 座本 市山助五郎

丑十一月廿六日ヨリ  
式 三番翁鑑  
寅正月十六日ヨリ  
源 平千歳松  
二月十二日ヨリ  
けいせい住吉卷  
三月三日ヨリ  
金王丸都内参詣  
五月廿八日ヨリ  
建久 五月廿八日  
四年 七月十七日ヨリ  
大和國非人敵討  
切  
都風流大踊

市の川彦四郎  
嵐吉三郎  
岩田百松  
桐の谷徳三郎  
藤川岩松  
中村四郎五郎  
あらし音松  
小佐川十九郎  
山本七藏  
桐山紋治  
市川團藏  
大和川明石  
姉川みなと  
萩野千藏  
桐ノ谷嘉藏  
桐ノ谷秀松  
岩田染松  
作 竹田次藏

寶曆九 卯歲顔見世 座本 嵐吉三郎

四天王力競  
前篇 鳴瀧 育育  
後篇 鳴川 育育  
植野櫻 敵討禱成就  
上野芝 奈頁都大佛供養  
中村余太郎 相勤  
大切 亂曲卯葉かさね  
景事 右狂言中芝居類焼ニ付  
一座北の新地へ引越ス

山下又太郎  
市の川彦四郎  
嵐吉三郎  
山下京四郎  
藤川半三郎  
染川此兵衛  
桐山紋治  
市川團藏  
中村余太郎  
姉川みなと  
あらし哥五郎  
嵐八重吉  
桐ノ谷秀松  
花澤崎之助  
作 竹田次藏

筑後芝居  
改 大西芝居ニなる

明和六 丑歲顔見世 座本 山下八百藏

十一月四日ヨリ  
新館 萬歳壽  
花かつら丹前姿嵐三右衛門  
十二月朔日ヨリ  
雙蝶々曲輪日記  
丑二月二日ヨリ  
女舞 劔紅葉  
三月十六日ヨリ  
目出度加志久傾城始  
作者 塀善平  
四月三日切付  
お八郎兵衛妻 堀江川浮名血汐  
七月廿二日ヨリ  
丹 劔爺打栗  
九月十二日ヨリ  
惠方曆大黒柱  
切  
おはん 桂川仇白浪  
長右衛門 作 寺田兵藏

名代 松本名左衛門  
小六改名  
嵐 三右衛門  
中山來助  
坂東豊三郎  
嵐吉三郎  
笠谷亦藏  
山下治郎三  
嵐七五郎  
浅尾爲十郎  
藤川八藏  
澤村國太郎  
山下八百藏  
榊山四郎太良  
あらし花松  
中村玉柏  
嵐 雛助  
作 寺田兵藏

天明元 丑歲 座本 藤川山吾

丑五月廿二日ヨリ  
時 今五月再興  
壬五月十六日ヨリ  
愛護雅名歌勝鬨  
増補心中宵庚申  
又付ル  
浪花風流大踊



天明五 巳歲

容 競 出 入 湊

南 當 惠 方 福

右狂言切ニて一座  
北の新地へ引越す

天明六 午歲

座本 坂東金二郎

四月九日ヨリ

大 湊 戀 憶 當

お元 時 鳥 血 汐 傘

四月十七日ヨリ

太平 記 忠 臣 講 釋

五月十七日ヨリ

姫 小 松 子 日 遊

藍 大 坂 名 物 英 雄

天明六 午歲

座本 嵐 市松

丹 笈 爺 打 栗 岩井半四郎

暇乞仕ル

芦屋道滿大内鑑

三國富士五郎

八重霞浪花濱萩

中村京十郎

八月吉日ヨリ一座改左之通 當狂言之開  
芝居櫓の下え東西へ哥舞妓狂言外題角力  
場の表同様にあつらひ有事も

花桐豊松

前狂言 國 性 爺 合 戰 三段目迄

加賀屋歌七

切狂言毎日替りニ仕ル  
初日ハ 三勝 舞扇 長町の だん

萩野仙次郎

二日目 在原系圖 物狂の 段

中村友三郎

三日目 日本花赤城鹽竈 元服の段

三樹大五郎

凱陣紅葉曲水 芳澤いろは 中村余太郎 山下龜之丞 市山太治郎

岩井半四郎

四日目 芋源氏三輪山焼

浅野爲十郎

一 私親嵐湖六御ひいき御取立ニ預り一世一代  
を仕ル夫より世をのかれ暮し申ゆも誠ニ各々  
且那樣方の御蔭ト申難有奉存り明暮罷り在り  
然ル處當七月廿七日ニ故人と相成申ゆ夫ゆ  
へ京都之約束も御座ゆ得共何卒御當地ニおい  
て亡父追善旁御目見へ仕度打寄相談仕ゆへ  
先年竹本大和太掾淨瑠璃外題角力之義ハ則當  
芝居にて仕ゆ得ば其吉例を以て往古より仕來  
ゆ哥舞妓外題ヲ東西へ分ケ時代世話哥舞妓狂  
言を二段三段ツ、日々に相改奉御覽入ゆ開御  
取立ニて親共追善之ため賑々敷御來駕之程偏  
ニ奉希上ゆ

あらし改

可

難 助



天明七 未歳

座本 中村糸太郎

江戸中村仲藏延着ニ付極り附番附斗ニテ顔見世興行なく  
十一月廿六日より開狂言として

姫小松子の日の遊 二ノ切  
大切毎日替りけい事

幼稚子敵討

廓九日小袖梅花  
(中村糸太郎 相勤)

江戸志賀山 壽三番 叟 江戸

梅紅葉浪花丹前  
(中村のしほ 相勤)

未正月十一日ヨリ

中村仲藏 相勤

けいせい櫻陣立 砦

當二ノ替り役割番附市川  
團藏留筆ニ致シ中村仲藏

二月廿七日ヨリ

客座ニ据置事大ニ立腹致  
不和のもとひニ相成べし

義經千本櫻

不和のもとひニ相成べし

假名手本忠臣藏

不和のもとひニ相成べし

七月十日ヨリ

不和のもとひニ相成べし

敵討寶永祀

不和のもとひニ相成べし

五穀成就御千度

不和のもとひニ相成べし

御所櫻堀川夜討

不和のもとひニ相成べし

九月十五日ヨリ

不和のもとひニ相成べし

一の谷嫩軍記序切

不和のもとひニ相成べし

往古曾根(崎)村尊

不和のもとひニ相成べし

天明八 申歳

座本 嵐 文吉

未十二月二日ヨリ

ひらかな盛衰記

正月廿四日ヨリ

切けいせい阿波鳴戸 吉田屋段

新うすゆき物語 せんぎ場

はら切場

右之狂言切ニテ一座京都へ上り正月廿九日京大火ニテ芝居興行  
なりかたく又々大坂へ歸り大西へ罷り出興行ス尤一座改ル

二月十日ヨリ (讀カ)

義臣傳 續切講釋

右狂言切ニテ一座諸方へ分ル四月ヨリ一座改興行

四月十一日ヨリ

けいせい花發船

五月五日ヨリ切付

言時花女夫振袖

大切付 蘭奢待新田系圖

右狂言切ニテ相休

右狂言切ニテ相休

〔寛政十一年迄歌舞妓なし〕



寛政十一 未歳 座本 嵐 音松

七月廿一日ヨリ  
 王代浪花入江始  
 植木屋文藏廓戀風  
 都風流大踊  
 八月十二日ヨリ  
 戀女房染分手綱  
 植木屋文藏廓戀風  
 九月十四日ヨリ  
 平假名盛衰記  
 容競出入みなと  
 ○片岡仁左衛門出勤  
 あらし雛助 江戸下り暇乞  
 梶原源太  
 ごく門庄兵衛 あらし雛助  
 はんじ物喜兵衛  
 右三役當地之名残として江戸へ下ル程なく江戸にて死去す

嵐 雛助  
 中山兵太郎  
 浅井國五郎  
 中山文藏  
 山村友右衛門  
 山村儀右衛門  
 關三十郎  
 中山一とく  
 芳澤圓次郎  
 あらし若松  
 可三右衛門  
 あらし小ひな  
 山下八百藏

司馬叟改  
 作 雄崎勝助  
 奈河七五三助

享和三 亥歳 座本 山下鶴三郎

七月廿三日ヨリ  
 繪本忠臣藏  
 八月十一日ヨリ  
 切露蝶廓名月  
 嵐吉三郎 俳名李冠  
 右の文字ニ替ル 璃寛

〔文化六巳歳迄〕  
 歌舞妓興行なし

此狂言切ニテ

中村歌右衛門  
 中山兵太郎  
 中山小三郎  
 嵐猪三郎  
 山村友右衛門  
 三樹松五郎  
 柴崎臺藏  
 浅尾友藏  
 浅尾工左衛門  
 嵐吉三郎

中村のしほ  
 中村ふせや  
 中村吉藏  
 姉川喜代八  
 あらし宇源太  
 澤村國太郎

作 奈河篤助  
 近松徳叟

文化六 巳歳 座本 桐の谷門太郎

巳八月廿四日ヨリ  
 新舞臺三番叟  
 翁 中村大吉 三番叟 中村歌六  
 三番叟 市川團三郎  
 出はやし惣女形立役不残  
 ワキ二はんめ

韓和聞書帖  
 關取千兩轍  
 楓狩劔本地  
 大切山路の曲水  
 けい事  
 是切ニテ

〔天保二年迄〕  
 歌舞妓興行なし

嵐猪三郎  
 市川團三郎  
 桐嶋儀左衛門  
 中山小三郎  
 三樹松五郎  
 柴崎臺藏  
 桐の谷權十郎  
 浅尾奥山  
 嵐吉三郎  
 中村大吉  
 藤井花松  
 藤川崎之助  
 中村歌六  
 山下里きく  
 芳澤小紫  
 三樹徳三郎  
 作 近松徳叟

天保二 卯歳 座本 浅尾桃之助

文化六巳としより廿二年振りニ  
 テ歌舞妓興行  
 泉嘉信田社寄進芝居  
 伽羅先代菴  
 右看板斗ニテ不仕仕

五月十五日ヨリ  
 伽羅先代菴  
 綺色街戀柄  
 倭假名在原系圖  
 拳禪廓大通  
 持丸長者金笄

○浅尾爲十郎 出勤  
 ○中山南枝

坂東壽太郎  
 市川虎藏  
 市川重太郎  
 山村友右衛門  
 嵐來芝  
 坂東七五郎  
 あらし理三郎  
 澤村四良五郎  
 市川團藏  
 坂東榮治郎  
 岩井扇紫  
 坂東八重菊  
 坂東彦太郎  
 片岡松江  
 中山みよし  
 作 金龜堂



天保三 辰年

座本 嵐橘之助

辰正月八日ヨリ

敵討 二 寫英勇記

五月十五日ヨリ

夏祭 浪花鑑

坂東彦三郎 出勤  
岩井紫若

三月十二日ヨリ四月廿二日迄

けいせい 筑紫歌

五月廿五日ヨリ切付六月五日迄

吉原 細見 圖

右狂言切ニテ一座上京

嵐 璃寛  
嵐 三五郎  
片岡嶋丸  
三樹松五郎  
嵐 吉三郎  
市川助十郎  
澤村長四郎  
中村友三  
浅尾與吉  
片岡仁左衛門  
嵐 璃光  
あらし璃久之助  
あらし璃勇  
嵐 徳三郎  
中山みよし  
藤川友吉  
作 近松正橋

天保四 巳とし

座本 坂東彦之助

八月八日ヨリ

東街道 茶屋娘

切 荳桑門 筑紫轢

南詠 戀抄 書

道行 戀最中

八月廿一日ヨリ

東街道 茶屋娘

荳桑門 筑紫轢

拳 輝廓 大通

坂東彦三郎  
中村歌十郎  
浅尾友藏  
中山兵太郎  
嵐 吉三郎  
浅尾國五郎  
市川虎藏  
嵐 壽之助  
坂東橋三郎  
三樹松五郎  
浅尾與六  
中村哥女  
片岡松江  
中村かをよ  
嵐 三右衛門  
中村歌六  
作 奈河泉助

天保五 午歳

座本 嵐橘之助

二月八日ヨリ

けいせい 黄金鶏

二月十七日ヨリ

持込め 絲櫻本町育

四月五日ヨリ

敵討 崇禪寺馬場

往古曾根(崎)村尊

五月六日ヨリ

本朝 廿四孝

鐘 雙恨 鮫鞞

八月一座若太夫え引越す

嵐 三五郎  
中山兵太郎  
浅尾徳治  
尾上傳三郎  
中山新九郎  
嵐 吉三郎  
あらし來助  
市川樹次郎  
浅尾三八  
浅尾工左衛門  
市川鯉十郎  
嵐 徳三郎  
瀬川菊三郎  
片岡松江  
澤村とみさ  
山下金作

一座改

八月十九日ヨリ

競 伊勢物語

隅田春妓女容性

九月廿一日ヨリ

道中 雙六驛路梅

〇市川鯉十郎 出勤

〇片岡市藏 出勤

右狂言仕ゆ處差留られ十月十日

ニテ相休 狂言其儘中へ行

嵐 璃寛  
嵐 吉三郎  
片岡我當  
あらし小七  
嵐 橘五郎  
澤村長四郎  
三樹松五郎  
中村友三  
片岡仁左衛門  
嵐 徳三郎  
澤村其答  
中村哥女  
中村哥門  
嵐 璃光  
作 奈河一洗